SONY

4-650-022-01 (1)

準備編

操作編（PCスタイル）

操作編（カメラシューティングスタイル）

拡張編

セットアップ編

困ったときは

付属ソフトウェア一覧

その他

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と本機を使う前の必要な準備について説明しています。この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ノートブックコンピューター

PCG-GT1 Series

Microsoft® Windows® Millennium Edition 搭載モデル

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

8～14ページの注意事項をよくお読みください。
製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき

❶ 電源を切る

❷ 電源コードや接続ケーブルを抜き、バッテリを取りはずす

❸ VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に修理を依頼する

データはバックアップをとる

ハードディスク内の記録内容は、バックアップをとって保存してください。ハードディスクにトラブルが生じて、記録内容の修復が不可能になった場合、当社は一切その責任を負いません。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

技術基準適合認定について

このノートブックコンピュータは、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。認証機器名は次のとおりです。
認証機器名：PCG-211B

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

漏洩電流自主規制について

この装置の本体およびディスプレイは、それぞれ社団法人日本電子工業振興協会のパソコン基準（PC-11-1988）に適合しております。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。
（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）
*充電されたバッテリ使用時には、無停電電源装置等は不要です。

- □ 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- □ 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- □ 本機の保証条件は、同梱の当社所定の保証書の規定をご参照ください。
- □ 本機に付属のソフトウェアは、本機以外には使用できません。
- □ 録画内容の補償はできません。必ず事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- □ 万一、機器やソフトウェアなどの不具合により録画・録音がされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。
- □ 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご容赦ください。

目次

準備編

操作編（PCスタイル）

基本的な使いかた（PCスタイル）

VAIOを使いこなす（PCスタイル）

操作編（カメラシューティングスタイル）

基本的な使いかた（カメラシューティングスタイル）

VAIOを使いこなす（カメラシューティングスタイル）

拡張編

他の機器とデータをやりとりする

周辺機器を接続する

本体を拡張する

セットアップ編

本機の使用環境を設定する

バッテリの消費電力を節約する

画面表示の設定を変更する

ポインティング・デバイスの設定を変更する

困ったときは

付属ソフトウェア一覧

クリエーション

オーディオ&ビジュアル

エンターテインメント

コミュニケーション

リファレンスツール

ステーショナリ

ユーティリティ

その他

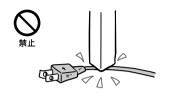
その他

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 本機と机や壁などの間にはさみこんだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に交換をご依頼ください。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に点検・修理をご依頼ください。

内部をむやみに開けない

本体および付属の機器（ケーブル含む）は、むやみに開けたり改造したりすると火災や感電の原因となります。内部の点検、修理はVAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店にご依頼ください。

指定のACアダプタ以外は使用しない

火災や感電の原因となります。

ひざの上で長時間使用しない

長時間使用すると本体の底面が熱くなり、低温やけどの原因となります。

本機は日本国内専用です

本機に内蔵されているモデムは国内専用です。
海外などでモデムを使用すると、故障・火災・感電の原因となります。

モデムは一般電話回線以外に接続しない

本機の内蔵モデムをISDN（デジタル）対応公衆電話のデジタル側のジャックや、構内交換機（PBX）へ接続すると、モデムに必要以上の電流が流れ、故障・発熱・火災の原因となります。
特に、ホームテレホン・ビジネスホン用の回線などには、絶対に接続しないでください。

運転者は走行中に操作しない

本機を車両走行中には使用しないでください。
わき見運転により事故の原因となります。
また、歩きながらお使いになるときは、周囲の状況に気を配り、安全にお使いください。

⚠警告 下記の注意事項を守らないと、健康を害するおそれがあります。

ディスプレイ画面を長時間つづけて見ない

ディスプレイなどの画面を長時間見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

キーボードを使いすぎない

キーボードやポインティング・デバイス、ジョグダイヤルなどを長時間使い続けると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
キーボードやポインティング・デバイス、ジョグダイヤルを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
特にヘッドホンで聞くときはご注意ください。
呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

⚠注意　下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、
感電の原因となることがあります。

接続するときは電源を切る

ACアダプタや接続ケーブルを接続するときは、
本機や接続する機器の電源を切り、電源コードを
コンセントから抜いてください。感電や故障の
原因となることがあります。

指定された電源コードや接続ケーブルを使う

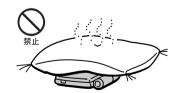
取扱説明書に記されている電源コードや接続
ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となる
ことがあります。

電源コードや接続ケーブルをACアダプタに巻き付けない

断線や故障の原因となることがあります。

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や
故障の原因となることがあります。風通しを
よくするために次の項目をお守りください。

- 毛足の長い敷物（じゅうたんや毛布など）の上に放置しない。
- 布などでくるまない。

通電中の本体やACアダプタに長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、
低温やけどの原因となることがあります。

次のページにつづく

⚠注意　下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**物品**に**損害**を与えたりすることがあります。

本体やACアダプタを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置かないでください。また、横にしたり、ひっくり返して置いたりしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

本機の上に重いものを載せない

壊れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

移動させるときは、電源コードや接続ケーブルを抜く

接続したまま移動させると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となったり、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
また、本機を落とさないようにご注意ください。

落雷のおそれがあるときは、電源プラグなどを抜く

落雷のおそれがあるときは、テレホンコードや電源プラグを抜いてください。落雷により本機が破壊され、故障の原因となることがあります。

コネクタはきちんと接続する

- コネクタの内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

レンズや液晶画面に衝撃を与えない

レンズや液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

ディスプレイパネルの裏側を強く押さない

液晶画面が割れて、故障やけがの原因となることがあります。

本体に強い衝撃を与えない

故障の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険

- 指定された充電方法以外で充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解しない。電子レンジやオーブンで加熱しない。コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- バッテリに衝撃を与えない。
  落とすなどして強いショックを与えたり、重いものを載せたり、圧力をかけないでください。故障の原因となります。
- バッテリから漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師に相談してください。
- 本体に付属または指定された別売りのバッテリ以外は使用しないでください。

⚠警告

バッテリを廃棄する場合は、以下のご注意をお守りください。

- 地方自治体の条例などに従う。
- 一般ゴミに混ぜて捨てない。

または、ソニーサービスステーションにお持ちください。

本機の発熱についてのご注意

使用中に本体の底面やACアダプタが熱くなることがあります

CPUの動作や充電時の電流によって発熱していますが、
故障ではありません。使用している拡張機器や
ソフトウェアによって発熱量は異なります。

本体やACアダプタが普段よりも異常に熱くなったときは

本機の電源を切り、ACアダプタの電源コードを抜き、
バッテリを取りはずしてください。次に、VAIO
カスタマーリンク修理窓口、または購入された販売店
に修理をご依頼ください。

付属品を確かめる

本機を初めて使うにあたって、以下のものがすべてそろっているかご確認ください。
❑ マークにチェックしながら確認すると便利です。
付属品が足りないときや破損しているときは、VAIOカスタマーリンクまたは販売店にご連絡ください。

❑ **パソコン本体（レンズキャップ付き）**（1）

❑ AC**アダプタ**（1）

❑ **電源コード**（1）

❑ **バッテリ**（1）

❑ **テレホンコード**（1）

❑ AV**接続ケーブル**（1）

❑ **予備用キャップ（スティック用、**2）

説明書およびCD-ROM

❑ 取扱説明書（本書、1）
❑ はじめてのインターネット！（1）
❑ インターネットで楽しむ バイオGT & URecSight（1）
❑「Microsoft® Windows® Millennium Edition*」クイックスタートガイド（1）

ご注意

クイックスタートガイドには、Certification of Authenticityラベルが貼付されていますので、大切に保管してください。

❑ リカバリ CD-ROM パッケージ（1）

ご注意

リカバリ CD-ROMを使うには、下記のいずれかの専用ドライブが必要です。
ドライブをお使いになるときは、各ドライブに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。
– CD-ROMドライブ PCGA-CD51 Series または PCGA-CD5
– CD-RWドライブ PCGA-CDRW5_ Series
– DVD-ROMドライブ PCGA-DVD51 Series

*以降、Windows Meと略します。

その他

❑ CyberCodeシール（1）

❑ VAIOカスタマー登録、保証書お申込書（1）

❑ VAIOサービス・サポートのご案内（1）

❑ VAIOカルテ（1）

❑ ソフトウェア使用許諾契約書（1）

❑ その他パンフレット類

本機に付属のソフトウェアについては、「付属ソフトウェア一覧」（235ページ）をご覧ください。

本書内のイラストや画面について

本書で使われているイラストや画面は実際のものと異なる場合があります。
特に指示のない限り、本文中のイラストにはPCG-GT1を使用しています。

このマニュアルの使いかた

本取扱説明書は、以下の章で構成されています。

❑ 準備編

本機を初めてお使いになるときに必要な準備について説明しています。

❑ 操作編（PCスタイル）

本機を初めてお使いになるときは、「基本的な使いかた（PCスタイル）」（50ページ）からお読みください。特にパソコンを初めてお使いになる方は、「ポインティング・デバイスを使う」（56ページ）や「キーボードを使う」（69ページ）、「文字を入力する」（76ページ）を読んで、パソコンの基本的な使いかたをマスターすることをおすすめします。
一歩進んだ使いかたは「VAIOを使いこなす（PCスタイル）」（97ページ）をご覧ください。

❑ 操作編（カメラシューティングスタイル）

本機の内蔵カメラ（MOTION EYE）での撮影のしかた（「基本的な使いかた（カメラシューティングスタイル）」（136ページ））や、静止画や動画の取り込みかた（「VAIOを使いこなす（カメラシューティングスタイル）」（143ページ））などについて説明しています。

❑ 拡張編

プリンタなどの周辺機器のつなぎかたや、PCカードの使いかたなどについて説明しています。

❑ セットアップ編

本機をお使いになる状況や好みに合わせて、本機の設定を変更できます。ここでは、付属のソフトウェアを使った設定のしかたを説明しています。

❑ 困ったときは

本機がうまく動作しないときのトラブルの解決方法について説明しています。

❑ 付属ソフトウェア一覧

本機に付属しているソフトウェアについて説明しています。

❑ その他

本機をご使用になる際のご注意やお手入れのしかたなどについて説明しています。

オンラインマニュアルの使いかた

本機には、本書のほかに、オンラインマニュアル（PDF*）があらかじめインストールされています。オンラインマニュアルの見かたについては、次ページの「オンラインマニュアルを見るには」をご覧ください。
本機に付属のソニー製のソフトウェアには、以下のオンラインマニュアルのほかにヘルプがあります。オンラインマニュアルでは基本操作を、ヘルプではソフトウェアのより詳しい使いかたを説明しています。ヘルプの見かたについては、「ヘルプを見るには」（20ページ）および、それぞれのソフトウェアのオンラインマニュアルをご覧ください。
また、「付属ソフトウェア一覧」（235ページ）では、本機に付属のソフトウェアについて説明しています。そちらもあわせてご覧ください。

本機に付属のオンラインマニュアル

❑ PCG-GT1 オンラインマニュアル
　この取扱説明書と同じ内容です。
❑「DVgate」オンラインマニュアル
❑「Media Bar」オンラインマニュアル
❑「MovieShaker」オンラインマニュアル
❑「Navin' You」オンラインマニュアル
❑「PictureGear」オンラインマニュアル
❑「Smart Capture」オンラインマニュアル

*PDF（Portable Document Format）のファイルです。

オンラインマニュアルを見るには

オンラインマニュアルを見るには、本機の電源が入っている状態で、次のように操作します。

［スタート］ボタンをクリックして［VAIO］にポインタを合わせ、［マニュアル］を選び、見たいオンラインマニュアルをクリックする。

本機に付属の「Adobe Acrobat Reader」ソフトウェアが起動し、オンラインマニュアルが表示されます。

「Adobe Acrobat Reader」を初めて起動したときは

「ソフトウェア使用許諾契約書」が表示されますので、契約書の内容を読み、［同意する］をクリックしてください。

オンラインマニュアルの見かた

サムネール（縮小表示）やしおりを見たいときは、をクリックし、それぞれのタブをクリックします。詳しくは、「Adobe Acrobat Reader」のヘルプメニューをクリックしてヘルプをご覧ください。

ヘルプを見るには

ソフトウェアによってヘルプの見かたが異なり、以下の2通りあります。本機の電源が入っている状態で操作します。お使いになるソフトウェアのヘルプの開きかたや使いかたについて詳しくは、「付属ソフトウェア一覧」（235ページ）の各ソフトウェアの「操作が分からなくなったときは」、または各ソフトウェアのオンラインマニュアルをご覧ください。

- ［スタート］ボタンをクリックして［プログラム］にポインタを合わせ、各ソフトウェアを選び、ヘルプまたはをクリックする。
- ソフトウェアを起動し、［ヘルプ］メニューをクリックする。

こんなことができます

本機のスタイルについて

本機には使用する目的に応じた2種類の「スタイル」があります。

PCスタイル

本機をノートブックコンピュータとして使用するときのスタイル

カメラシューティングスタイル

付属の「URecSight（ユーレックサイト）」ソフトウェアを使って静止画・動画を撮影したりインターネット配信するときのスタイル

本機の主な特長

本機は約1.1kg（バッテリ含む）の軽量ボディーに、本格的ズーム付きカメラやモバイル環境での便利な機能を満載したソニーならではのノートブックコンピュータです。また、別売りの大容量バッテリ（PCGA-BP54）を装着すると、外出先での使用時間も、最大で約17時間*確保できます。出張や旅行など、お気軽にどこでも持ち運べます。ここでは、本機でできることの例をご紹介いたします。

* スーパースタミナモードとオーディオドライバの省電力動作モード併用時および内蔵カメラ（MOTION EYE）を使うソフトウェア未使用時。

使用状況に応じて動作速度が自動的に切り替わる

実行しているソフトウェアが必要としている処理能力にあわせて、CPUの動作速度を自在に変化させることができます。常に効率のよい速度でCPUを動作させることにより、バッテリの駆動時間を長持ちさせます。

内蔵カメラ（MOTION（モーション） EYE（アイ））を使う

内蔵カメラ（MOTION EYE）を使って静止画や動画を撮影することができます。

本機をカメラシューティングスタイルにすると、付属の「URecSight」ソフトウェアを使って静止画や動画を撮影したり、好みの画像をインターネット上のサービス「ImageStation（イメージステーション）」にアップロードして保管したり、CastaDrive（キャスタドライブ）対応の「PercasTV（パーキャスティーヴィー）」サービスを利用して、現在撮影している動画をネット上で配信することができます。

また、本機をPCスタイルにすると、付属の「PictureGear（ピクチャーギア）」ソフトウェアで取り込んだ画像を管理したり、付属の「MovieShaker（ムービーシェーカー）」ソフトウェアで動画を簡単に編集することができます。

さらにPCスタイル時に付属の「CyberCode（サイバーコード） Finder（ファインダー）」ソフトウェアを使うと、内蔵カメラ（MOTION EYE）にCyberCodeをかざすだけで、あらかじめ登録したソフトウェアを、キーボードでの操作をせずに起動することができます。

CyberCodeとは？

CyberCodeは、ソニー独自の2次元バーコードで、約1,677万通り（24 ビット）存在します。このうち、約100万通り（20 ビット）のCyberCodeをそれぞれ、任意のプログラム起動用として登録することができます。残りのCyberCodeは、将来のサービス拡張用です。CyberCodeはそれが貼られたものから、対応するコンピュータ上の情報を引き出すためのインデックスの役割をします。

「CyberCode Finder」のファインダ画面を通して、プログラムが起動されることにより、あたかもCyberCodeが貼られたものから、対応する情報がコンピュータ上に飛び出してくるような新しいユーザーインターフェイスを提供します。

画像を取り込む

“ メモリースティック ”対応のソニー製デジタルスチルカメラやデジタルビデオカメラレコーダーで“ メモリースティック ”に画像を取り込んで、その“ メモリースティック ”を本機のメモリースティックスロットに挿入するだけで、画像データファイルを取り込むことができます。
また、本機のi.LINKコネクタにつないだi.LINK（IEEE1394）インターフェイスを持つデジタルビデオカメラレコーダーなどから、デジタル信号のままで美しい画像を取り込むこともできます。

i.LINKとは？

i.LINKは、i.LINKコネクタを持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェイスです。i.LINKについて詳しくは、「i.LINKとは？」（161ページ）をご覧ください。

ジョグダイヤルを便利に使う

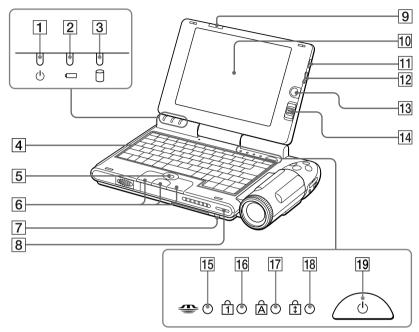
ジョグダイヤルを回したり押したりするだけで、画面のスクロールや、画面の中の項目の選択などさまざまな操作が簡単にできます。
また、付属の「VAIO Action Setup」ソフトウェアを使って、ジョグダイヤルを押すだけで好みのソフトウェアを起動させたり、タイマー機能を使って深夜に自動的に電子メールを取り込むこともできます。

バッテリを上手に使う

付属の「PowerPanel」ソフトウェアを使って、処理速度やバッテリでの使用時間を優先する動作環境に設定したり、バッテリの残量などを簡単に把握することができます。

これらの機能をお使いいただくには、最初に、本書に沿ってひと通りに準備を完了しておく必要があります。「準備編」（31ページから）の説明に従って、本機の準備を行ってください。
また、それぞれの操作について詳しくは、各ソフトウェアのオンラインマニュアルもあわせてご覧ください（18ページ）。

各部のなまえ

詳しい説明は、（　）内のページをご覧ください。

1 ⏻（パワー）ランプ（34ページ）

2 ▭（バッテリ）ランプ（51、54ページ）

3 ⌸（ハードディスク）ランプ

4 キーボード（69ページ）

5 スティック（56、200ページ）

6 左／センター／右ボタン（56ページ）

7 録画ランプ（140、149ページ）

8 IDラベル（208、293ページ）
型名が記載されています。

9 内蔵ステレオマイク（129ページ）

10 液晶ディスプレイ（61、74、191、285ページ）

11 BACKボタン（59、140ページ）

12 ジョグダイヤル（59、108、140、144、148、151ページ）

13 CAPTUREボタン（140、143、147ページ）

14 ZOOMレバー（140、144、149ページ）

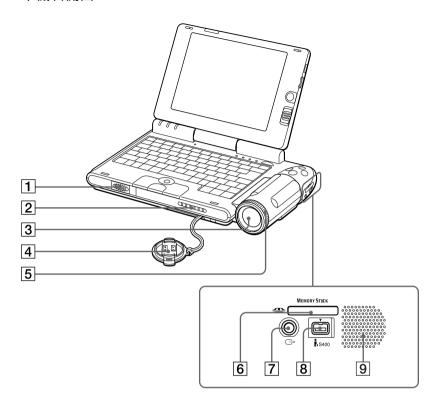
15 （メモリースティック）ランプ（92ページ）

16 （Num Lock）ランプ（71、72ページ）

17 （Caps Lock）ランプ（70ページ）

18 （Scroll Lock）ランプ

19 ⏻（パワー）ボタン（34、279ページ）

本機右側面

1 ディスプレイロックレバー（33、48、137ページ）

2 通風孔

3 内蔵カメラ（MOTION EYE）（121、124、138、143、147ページ）

4 レンズキャップ（138ページ）

ご注意

撮影以外のときは、レンズキャップは取りはずさないでください。

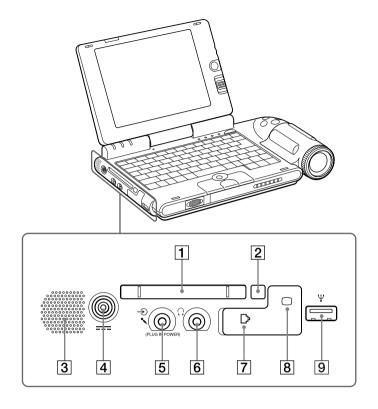
5 フォーカスリング（141、152ページ）

6 （メモリースティック）スロット（91、165ページ）

7 （AV OUT）コネクタ（170ページ）

8 S400（i.LINK）コネクタ（157ページ）

9 内蔵スピーカー（62、74ページ）

本機左側面

1 PCカードスロット（96、164、173、279ページ）

2 PCカードイジェクトボタン（174ページ）

3 内蔵スピーカー（62、74ページ）

4 ⎓（DC IN）コネクタ（33、279ページ）

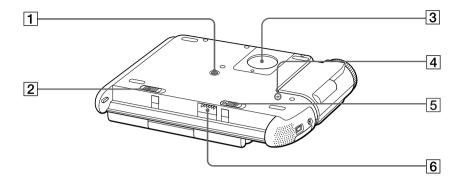
5 （マイク）／（ライン）入力コネクタ（129ページ）

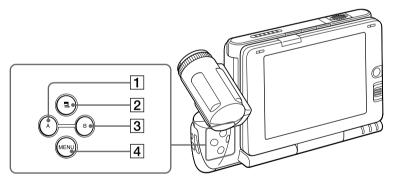
6 （ヘッドホン）コネクタ（171ページ）

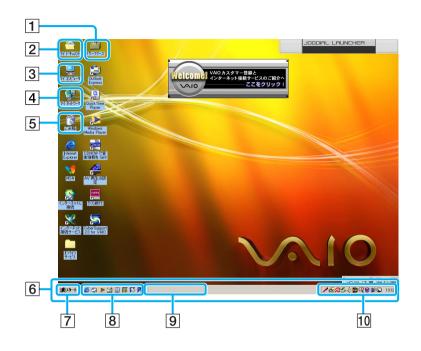
7 モジュラジャック（42、98ページ）

8 （外部ディスプレイ）コネクタ（168、171ページ）

9 Ψ（USB）コネクタ（166、167ページ）

本機底面

1. 三脚用ネジ穴（139ページ）
2. 取りはずしレバー（53ページ）
3. レンズキャップホルダー（138ページ）
4. リセットスイッチ（210、212ページ）
5. ロックレバー（32、52ページ）
6. バッテリコネクタ

カメラシューティングスタイル時

1. Aボタン（141ページ）
2. （アプリケーション）ボタン（141ページ）
3. Bボタン（141、145、149ページ）
4. MENUボタン（141、151ページ）

デスクトップ画面

1 **ブリーフケース**

他のコンピュータに文書や画像などを移動させるときに使います。

2 **マイ ドキュメント**

本機に付属のさまざまなソフトウェアで作成した文書や画像などを保存しておく場所です。マイ ドキュメントは、マイ コンピュータの中にあるC:ドライブの中にあります。

3 **マイ コンピュータ**

本機に接続されている各種の記憶装置やシステムの設定のための機能が入っている場所です。ここからソフトウェアを起動したり、作成した文書や画像をコピーしたりできます。

4 **マイ ネットワーク**

コンピュータどうしをつなぐネットワークを利用している場合、他のコンピュータと通信するときに使います。

5 ごみ箱

いらなくなった文書や画像などを捨てる場所です。ごみ箱に捨てた文書や画像などは、ごみ箱を空にするまでごみ箱の中に残っています。

6 タスクバー

本機に付属のソフトウェアやコンピュータの設定をすばやく確認し、操作できるための機能をまとめた場所です。大きく4領域があり、それぞれ［スタート］ボタン、クイック起動バー、使用中のソフトウェアや文書などを表示しておく機能をもつ領域、Windows Meに関連する機能を表示しておくタスクトレイに分かれます。

7 ［スタート］ボタン

ここをクリックすると、本機に付属のソフトウェアを起動したり、本機のさまざまな機能を使うためのメニューが表示されます。まずはここをクリックして始めてください。

8 クイック起動バー

ここに表示されているアイコンをクリックすると、登録されているソフトウェアが起動します。

9 ウィンドウのボタン表示

使用中のソフトウェアや文書などがここにボタンとして表示されます。デスクトップ画面上にソフトウェアや文書などが表示されていなくても、このボタンをクリックすると画面にそのソフトウェアや文書などが表示されます。

10 タスクトレイ

本機を起動したときに自動的に使えるようになったWindows Meの機能がここに表示されます。日本語入力システム（MS-IMEツールバー）や時計表示などがあります。

準備編

電源を入れる

以下の手順に従って、本機の電源を入れてください。

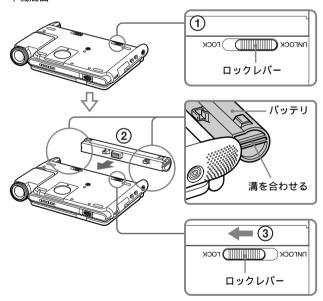
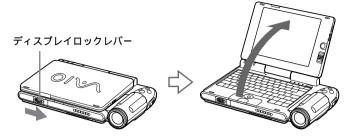
1 バッテリを取り付ける。

停電や誤ってACアダプタがはずれ、作業中のデータが失われてしまうことのないよう、付属のバッテリを取り付けます。バッテリについて詳しくは、「バッテリで使う」(50ページ)をご覧ください。

① 本機底面のロックレバーが外側(UNLOCK側)にあることを確認する。

② 本機後面とバッテリ両端の溝をあわせ、「カチッ」と音がするまでバッテリを差し込む。

③ ロックレバーを内側(LOCK側)にずらして、バッテリを固定する。

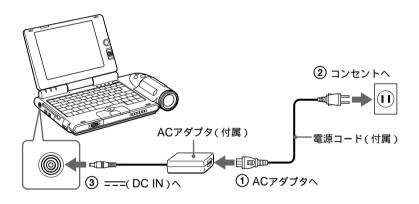
本機底面

2 ディスプレイロックレバーをRELEASE側にずらして、ディスプレイパネルを開く。

3 AC電源をつなぐ。

本機と壁のACコンセントを接続します。

① 電源コードのプラグをACアダプタに差し込む。

② 電源コードのもう一方のプラグを、壁のコンセントに差し込む。

③ ACアダプタのプラグを、本機左側面の ⎓(DC IN) に差し込む。

次のページにつづく

4 ⏻（パワー）ボタンを押して、⏻（パワー）ランプが点灯（グリーン）したら離す。

電源が入ると、⏻（パワー）ランプが緑色に点灯し、Windows Meのロゴの画面が表示され、本機が起動します。

本機の電源を初めて入れる場合は、Windows Meのロゴの画面が表示されたあと、「新しいハードウェアの設定を完了するには、コンピュータを再起動してください。今すぐ再起動しますか？」というメッセージが表示されます。このメッセージが表示されたら、そのまま長時間放置せずに、［はい］をクリックして本機を再起動してください。
再起動後に、Windows Meのロゴの画面が表示され、しばらくして「Microsoft Windows へようこそ」の画面が表示されます。次ページの「Windows Meを準備する」の手順に従って、Windows Meのセットアップを行ってください。

ご注意

⏻（パワー）ボタンを4秒以上押し続けると、電源が切れてしまいます。⏻（パワー）ランプが点灯したら指を離してください。

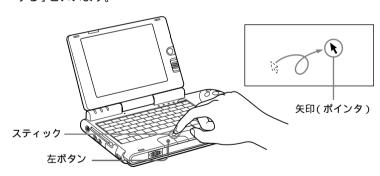
本機はエネルギースター規格に基づいて設計されており、工場出荷時の設定では、AC電源でご使用中に30分以上操作をしないと、自動的に本機の液晶ディスプレイが暗くなります。スティックを操作するか、キーボードのいずれかのキーを押すと元の状態に戻ります。

Windows Meを準備する

本機を使う前に、Windows Meを使うための準備が必要です。
Windows Meが使える状態になると、本機に付属のソフトウェアやいろいろな機能も使えるようになります。以下の手順に従って、Windows Meを使う準備をします。

- 停電や誤ってACアダプタがはずれ、作業中のデータが失われてしまうことのないよう、以下の操作を行う前に付属のバッテリを本機に取り付けてください。
  取り付けかたについては、「バッテリを取り付ける」（52ページ）をご覧ください。
- 「基本的な使いかた（PCスタイル）」（50ページ）では、ポインティング・デバイスやキーボードの使いかたについて説明しています。そちらもあわせてご覧ください。

1 「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されたら、画面右下にある［次へ］をクリックする。

スティックを指で軽く押し、次へ(N) の上までポインタを移動して左ボタンを「カチッ」と1回押してすぐに離します。これを「クリックする」といいます。

ここをクリックする。

「日本語の入力を練習しましょう」画面が表示されます。

2 ［次へ］をクリックする。

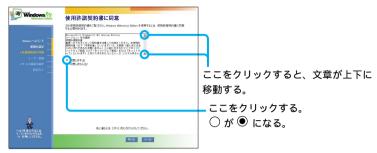
「名前を入力してみましょう」画面が表示されます。

画面の指示に従って、名前を入力する練習をしてみましょう。

日本語の入力方法をすでにご存知の方は、［省略］をクリックして手順3の画面へ進むこともできます。

3 ［次へ］をクリックする。

「使用許諾契約書に同意」画面が表示されます。

4 **画面に表示された内容を読み、内容に同意するときは［同意します］の ◯ をクリックして ◉ にし、［次へ］をクリックする。**

「登録先：Microsoft」画面が表示されます。

ご注意

［同意しません］の◯をクリックすると、Windows Meの準備作業は中止され、Windows Meと本機に入っているソフトウェアはお使いになれません。

5 「いいえ、今は登録しません」の ◯ をクリックして ◉ にし、[次へ] をクリックする。

「VAIOカスタマー登録のおすすめ」画面が表示されます。

「登録先：Microsoft」画面で「はい、オンライン登録します」を選んで［次へ］をクリックすると、マイクロソフトへのオンライン登録ができます。ただし、オンライン登録するには本機を電話回線に接続しておく必要があります。接続の手順について詳しくは、「カスタマー登録する／インターネットに接続する」（41ページ）をご覧ください。

6 [次へ] をクリックする。

「インターネット接続サービスご紹介」画面が表示されます。

インターネット接続サービスについて詳しくは、「カスタマー登録する／インターネットに接続する」（41ページ）をご覧ください。

7 ［次へ］をクリックする。

「設定が完了しました」画面が表示されます。

8 ［完了］をクリックする。

Windows Meが起動し、「VAIO 初期設定マネージャ」画面が表示されます。

9 ［OK］をクリックする。

システムの初期設定が始まります。

設定が終了すると、「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。今すぐ再起動しますか？」というメッセージが表示されます。

10 ［はい］をクリックする。

本機が再起動し、これでWindows Meが使えるようになりました。

次のページにつづく

ご注意

- 手順9で［キャンセル］をクリックしてシステムの初期設定を行わない場合は、VAIOの独自のジョグダイヤル機能や、電源管理ツール、便利なポインティング・デバイスのスクロール機能、Fnキーと組み合わせたキーボードショートカット機能など、ハードウェア機能の一部が使用できなくなります。
- 本機に付属のOS（Operating System）以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。
- ハードディスクの内容を工場出荷時の状態に戻すには、下記のいずれかの専用ドライブが必要です。ドライブをお使いになるときは、各ドライブに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。
  – CD-ROMドライブ　PCGA-CD51 Series または PCGA-CD5
  – CD-RWドライブ　PCGA-CDRW5_ Series
  – DVD-ROMドライブ　PCGA-DVD51 Series
  上記以外のドライブを使用しての本機の再セットアップの動作保証はいたしかねます。

カスタマー登録する／インターネットに接続する

ここでは、本機を電話回線につなぎ、オンラインカスタマー登録をしてから、インターネット接続サービスにオンラインで入会する手順を説明します。

ご注意

次ページからの手順を行うには、本機が一般電話回線につながっている必要があります。
カスタマー登録に使用する電話回線はISDN回線や携帯電話には対応していません。
ISDN回線をお使いになる場合は、本機のモジュラジャックとターミナルアダプタのアナログポートを接続してください。ISDN回線やターミナルアダプタについて詳しくは、NTT（局番なしの116番）またはターミナルアダプタの製造元にお問いわせください。

インターネット接続サービスとは

インターネットにつなぐためには、インターネット接続サービスを提供する会社と契約する必要があります。インターネット接続サービスはインターネットとパソコンとの間を仲介する役割を持っており、インターネット接続サービスを提供する会社と契約すると、インターネットを使っていろいろな情報を記述したホームページを簡単に見たり、電子メールを送受信したりできるようになります。

カスタマー登録すると、正規のユーザーとして登録され、登録カスタマー専用の各種アップグレードサービスなどが受けられます。サービスの内容については、VAIOホームページ（http://www.vaio.sony.co.jp/）をご覧ください。
また、本機に付属の保証書（未登録のお客様用）の保証期間はお買い上げ日から3か月ですが、ご登録後にVAIOカスタマー専用デスクから、お買い上げ日より1年間の保証書とVAIOカスタマー登録証をお送りします。
（すでに登録証をお持ちの方へは登録証は送付されません。）保証について詳しくは、「保証書とアフターサービス」（292ページ）をご覧ください。

カスタマー登録に関するお問い合わせ先
VAIOカスタマー専用デスク　　電話番号：03-3584-6651

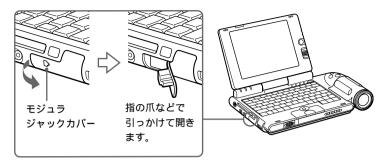
はがきでも登録できます

付属の「VAIOカスタマー登録、保証書お申込書」に記入し投函することによってカスタマー登録することができます。

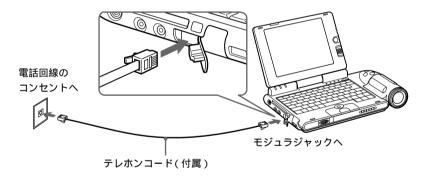
ご登録内容は、ソニーから外部へは一切開示致しません。

次のページにつづく

1 モジュラジャックカバーを開ける。

ご注意

- カバーを開く際は、強く引っ張りすぎないようにご注意ください。
  引きすぎると破損の原因となります。
- カバーを取りはずすことはできません。

2 電話回線につなぐ。

モジュラジャックは本機の横側から、モジュラプラグのツメが「カチッ」とロックするまでまっすぐに差し込みます。

モジュラジャックが2つある電話機をお使いのときは、下図のようにつなぎます。

ご注意

- テレホンコードは、「カチッ」と音がするまでモジュラジャックに差し込んでください。
- 使用可能な回線は、一般電話回線です。PBX（構内交換機）回線には接続しないでください。故障・発火の原因になります。
- 分配器を使用して電話回線を分岐すると、モデムおよび接続先の機器が正しく動作しないことがあります。なお、屋内配線の中には分配器経由で各部屋に配線されている場合があります。
- オンラインカスタマー登録は、前ページの手順1、2に従って、必ず本機のモジュラジャックを電話回線のコンセントに接続してから行ってください。

💡

- 電話回線への接続について詳しくは、「一般電話回線につなぐ」（97ページ）をご覧ください。
- 電話回線のコンセントの形状が付属のテレホンコードにあわないときは交換工事や取り付け工事が必要な場合があります。詳しくは、「電話回線のコンセントの種類」（284ページ）をご覧ください。

3 本機の電源を入れる。

「電源を入れる」（32ページ）の操作を行います。

4 画面上の [Welcome!] ボタンをクリックする。

「Welcome」の画面が表示されます。

次のページにつづく

カスタマー登録をしない、または後でするときは

[キャンセル] をクリックします。

[キャンセル] をクリックすると、「ここでこのアプリケーションを終了すると登録が完了しません。」というメッセージ画面が表示されます。[終了] をクリックすると、ODNの接続サービス画面が表示されます。

その後の手順について詳しくは、46ページの手順8をご覧ください。

5 [次へ] をクリックする。

「VAIOオンラインカスタマー登録」画面が表示されます。

1つ前の画面が見たいときは

[戻る] をクリックします。

6 [次へ] をクリックする。

カスタマー登録を開始します。

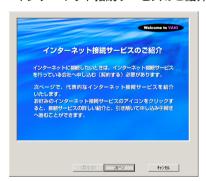
画面の指示に従って操作してください。

この画面が表示されたら

お使いの電話回線のダイヤル方法を確認し、発信方法を選びます。

- トーン式ダイヤルとは
  電話機のダイヤルボタンを押すと「ピポパ」と音がし、「カチカチ」という音がしない電話機のダイヤル方法です。
- パルス式ダイヤルとは
  ボタンではなくダイヤルを回す電話機、またはダイヤルボタンを押すたびに「カチカチ」という音がする電話機のダイヤル方式です。

7 [登録] をクリックする。

「インターネット接続サービスのご紹介」画面が表示されます。

入会手続きをしない、または後でするときは

[キャンセル] をクリックします。

8 ［次へ］をクリックする。

ODNの接続サービス画面が表示されます。

9 「今すぐCLICK!」をクリックする。

ODNの入会手続きが始まります。

［その他のインターネット接続サービスのご紹介へ］をクリックすると、「インターネット接続サービスご紹介」画面が表示されます。

10 お好みのインターネット接続サービスのアイコンをクリックする。

インターネット接続サービスに入会する手続きを開始します。

画面の指示に従って操作してください。

一部のインターネット接続サービスでは、オンラインカスタマー登録をしてから入会手続きを行うと、同じユーザー情報を何度も入力する手間が省けます。
オンラインカスタマー登録をしなくても、インターネット接続サービスへの入会手続きをすることはできます。

お好みのインターネット接続サービスのアイコンをクリックする。

インターネット接続を手動で設定する、またはLAN（ネットワーク）を使って接続するときは

画面右下の［こちらへ］をクリックします。
「インターネット接続ウィザード」画面が表示されるので、画面の指示に従って必要事項を入力してください。

入会手続きをしない、または後でするときは

画面右上の ☒ をクリックします。

入会手続きが終わると、インターネットが使えるようになります。
インターネットについてさらに詳しくは、別冊の「はじめてのインターネット！」をご覧ください。

電源を切る

以下の手順に従って、本機の電源を切ります。

ご注意

必ず以下の手順に従って電源を切ってください。手順に従って電源を切らないと本機の故障の原因となったり、作成した文書などのファイルが使えなくなることがあります。

1　[スタート] ボタンをクリックし、[スタート] メニューの [Windows の終了] をクリックする。

ここをクリックする。

「Windows の終了」画面が表示されます。

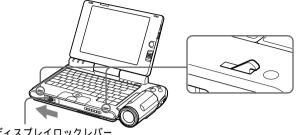
2　▼ をクリックして、一覧の中から [終了] を選び、[OK] をクリックする。

数秒後に、本機の電源が自動的に切れ、⏻（パワー）ランプ（グリーン）が消灯します。
これで、本機を使う上で必要な準備と操作はひと通り終わりました。
引き続きいろいろな操作をするためには、「基本的な使いかた（PC スタイル）」（50ページ）以降をご覧ください。

本機のMENUボタンを押して、システムメニューから「Windowsの終了」を選んでも、電源を切ることができます。

次のページにつづく

ディスプレイパネルを閉じるときは

ディスプレイロックレバーをLOCK側にずらしてツメを出してから、
「カチッ」と音がするまで確実に閉じてください。

移動するときなどしばらく作業を中断するときや、翌日まで本機を使わないときなどは、
スタンバイや休止状態を使うと便利です。
詳しくは、「バッテリの消費電力を節約する」（184ページ）、「省電力動作モードについて」（189ページ）をご覧ください。

再起動する

本機の設定を変更したり、ソフトウェアをインストールしたときなどは、
本機を再起動する必要があります。

1 ［スタート］ボタンをクリックする。
「スタート」メニューが表示されます。

2 メニューの［Windows の終了］をクリックする。
「Windows の終了」画面が表示されます。

3 ▼ をクリックして一覧の中から「再起動」を選び、［OK］をクリックする。
数秒後に本機が再起動します。

操作編（PCスタイル）

バッテリで使う

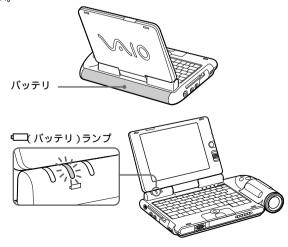
充電したバッテリを本機に装着していると、ACアダプタにつながなくても本機を使えます。別売りの大容量タイプのバッテリPCGA-BP52AまたはPCGA-BP54を取り付けることもできます。

ご注意

- 付属のバッテリは完全には充電されていないため、はじめてお使いになるときからバッテリが消耗している状態になっていることがあります。
- 本機は、バッテリの残量がわずかになると自動的に休止状態* になるよう工場出荷時に設定されていますが、ご使用中のソフトウェアや接続している周辺機器によっては、Windowsからの指示で作業を一時中断することができないため、この機能が正しく働かないことがあります。

  長時間席をはずされるときなどにバッテリが消耗した場合、自動的に休止状態にならないと、本機の電源が切れ、作業中のデータが失われてしまうおそれがあります。

  バッテリでご使用のときは、こまめにデータを保存したり、手動でスタンバイまたは休止状態にしてください。

  * 休止状態では、作業中の状態がハードディスクに保存され、本機の電源が切れます。
  操作のしかたなど詳しくは、「省電力動作モードについて」（189ページ）をご覧ください。
- ACアダプタをつながない状態で、本機がスタンバイのときにバッテリの交換を行うと、保存されていないデータは失われます。必ず、電源を切ってから交換してください。

▭（バッテリ）ランプについて

本機の動作状態を示します。

点灯	バッテリ動作中
⏻（パワー）ランプと一緒に点滅	バッテリの残量が少ない状態
2度連続点滅	バッテリ充電中
消灯	バッテリ切れ、またはAC電源で動作中

💡

- 完全に充電したバッテリでの使用時間の目安は次の通りです。
  標準タイプ（PCGA-BP51A）：約2～5時間*
  大容量タイプ（PCGA-BP52A）：約4～10時間*
  大容量タイプ（PCGA-BP54）：約7～17時間*
  *「スーパースタミナ」モードとオーディオドライバの省電力動作モード（下記参照）併用時
  ただし、内蔵カメラ（MOTION EYE）を使うソフトウェア（URecSight、Smart Captureなど）を使用すると、使用時間は短くなります。バッテリの使用時間について詳しくは、「バッテリ残量を確認する」（54ページ）をご覧ください。
- ACアダプタにつないでいるときは、バッテリを装着しているときでも、ACアダプタから電源が供給されます。
- バッテリで長時間使うには付属の「PowerPanel」ソフトウェアを使って本機のバッテリを最大限に長時間使用できるように、本機の動作状態を自動的に調節すること（スタミナモードやスーパースタミナモード）で、バッテリの使用時間をのばすことができます。詳しくは、「バッテリの消費電力を節約する」（184ページ）をご覧ください。
- バッテリの残量を確認するには付属の「PowerPanel」ソフトウェアを起動すると、バッテリの残量と予想使用時間を確認できます。詳しくは、「バッテリ残量を確認する」（54ページ）をご覧ください。

💡 オーディオドライバの省電力動作モードを設定するには

1 ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2 ［ヤマハ DS-XG設定］アイコンをダブルクリックする。
探しているアイコンが見つからない場合は、［すべてのコントロール パネルのオプションを表示する。］をクリックしてください。

3 ［省電力］タブをクリックする。

4 「電力消費の程度」で「大幅に節約」をクリックする。

5 ［OK］をクリックする。

ご注意

「大幅に節約」モードに設定すると、PCカードの検出音や内蔵モデムの通信音など一部のシステム音が出なくなります。

バッテリを取り付ける

本機後面のバッテリ取り付け部にバッテリを取り付けます。
本機の液晶ディスプレイを閉じてから行ってください。

1 **本機底面のロックレバーが外側（UNLOCK側）にあることを確認する。**

2 **本機後面とバッテリ両端の溝をあわせ、「カチッ」と音がするまでバッテリを差し込む。**

3 **ロックレバーを内側（LOCK側）にずらして、バッテリを固定する。**

本機底面

バッテリを取りはずすには

1 **本機の電源を切り、液晶ディスプレイを閉じる。**

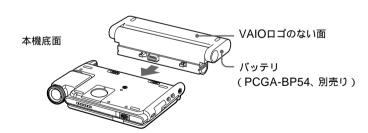
2 **ロックレバーを外側（UNLOCK側）へずらす。**

3 **取りはずしレバーを外側（UNLOCK側）へずらして、バッテリを取りはずす。**

ご注意

- ACアダプタをつながない状態で、本機の電源を入れたままバッテリを取りはずすと、作業中のデータが失われます。
- ACアダプタをつながない状態で、本機がスタンバイのときにバッテリを取りはずすと、保存されていないデータは失われます。必ず、電源を切ってから取りはずしてください。

大容量のバッテリPCGA-BP54を取り付けるには

VAIOロゴのない面を上に向けて取り付けます。取り付けかたについて詳しくは、バッテリに付属の取扱説明書をご覧ください。

バッテリを充電する

本機をACアダプタにつないでいれば、本機を使っていてもバッテリは充電されます。充電中は、（バッテリ）ランプが2度連続で点滅します。
本機の電源が入っていないとき、付属の標準バッテリの残量が空の状態から充電されるまでに約1.5時間かかります（約85 %充電、使用状況による）。
バッテリが約85 %まで充電されると、（バッテリ）ランプは消灯します。約85 %まで充電されたバッテリは、約1時間後に完全に充電され、「バッテリの充電が完了しました」のメッセージが流れます。
本機の電源が入ってるときは、その使用状況によって充電時間が長くなる場合があります。

別売りのバッテリーチャージャーPCGA-BC5で充電することもできます。詳しくはPCGA-BC5の取扱説明書をご覧ください。

バッテリ残量を確認する

本機の電源を入れると、「PowerPanel」ソフトウェアが起動し、（バッテリアイコン）がデスクトップ画面右下のタスクトレイに表示されます。
タスクトレイのをダブルクリックすると、「バッテリ情報」画面が表示され、バッテリの放電予測時間や完全に充電されるまでの予測時間を確認できます。また、「バッテリ」タブ内の［詳細］をクリックするとバッテリの製品情報などを確認できます。

バッテリアイコンの見かた

バッテリアイコン	バッテリの状態
	放電中
	充電中
	満充電
	バッテリ未装着

バッテリ情報ツールバーを表示させるときは

1 **デスクトップ画面下のタスクバーにポインタを合わせ、右クリックする。**

2 **ポップアップメニューから［ツールバー］を選び、［バッテリ情報］をクリックする。**

タスクバーにバッテリ情報ツールバーが表示されます。

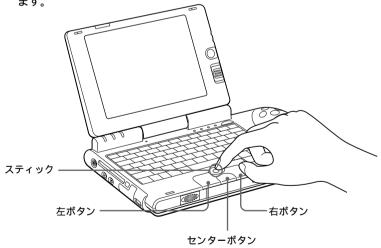
- バッテリ情報ツールバーをデスクトップ画面右側に表示させたいときは、ツールバーをドラッグし、デスクトップ画面右へ移動してください。
- 「PowerPanel」の初期設定で用意されている警告表示や警告音を変更したりすることができます。
  詳しくは、「PowerPanel」のヘルプをご覧ください。

ポインティング・デバイスを使う

スティックを指で軽く押すと、画面上のポインタは押した方向に移動します。スティックを押す力（圧力）によって動く速度を調整できます。スティックを強く押すとポインタは速く動きます。

ご注意

ポインタが自然に動くことがまれにありますが、故障ではありません。しばらくスティックから指を離していればポインタは止まります。

ポインタを目的の位置まで動かして左ボタンまたは右ボタンを押すだけで、メニューを選んだり、さまざまな命令をコンピュータに伝えることができます。

スティックの設定を変更することができます。詳しくは、「ポインティング・デバイスの設定を変更する」（200ページ）をご覧ください。

クリックする

ポインタを希望の位置に合わせて、キーボードの手前にある左ボタンを1回押します。
[OK] や [キャンセル] などのボタンを押したり、メニューを選ぶときなどに使います。

ダブルクリックする

ポインタを希望の位置に合わせて、左ボタンを2回続けて押します。
ワードプロセッサや表計算などのソフトウェアを実行したり、作成した文書などのファイルを開くときなどに使います。

ドラッグする

ポインタを希望の位置に合わせて、左ボタンを押したまま、スティックを押し、希望の位置でボタンを離します。
ファイルを移動したり、ウィンドウの大きさを変更するときなどに使います。

ドラッグアンドドロップする

ファイルなどのアイコンをドラッグし、他のフォルダやウィンドウ、ソフトウェアのアイコンなどの上で左ボタンを離します。ファイルを移動したり、コピーするときに使います。

右クリックする

ポインタを希望の位置に合わせて、右ボタンを1回押します。
押したときのポインタの位置によって、さまざまな内容のポップアップメニューが表示されます。

スクロールする

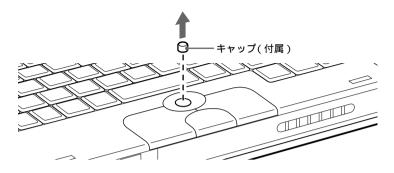
センターボタンを押しながらスティックを指で押します。ソフトウェア上のスクロールバーを上下左右に移動できます。

ご注意

スクロール機能を使うには、ソフトウェア側の対応が必要です。対応していないソフトウェアでは、この機能は使えません。

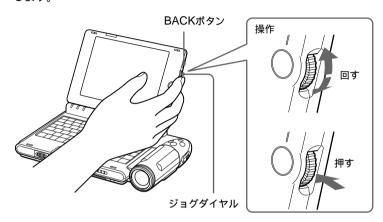
上記は工場出荷時の設定です。設定を変更したり、ポインティング・デバイスをより便利に使うには、「ポインティング・デバイスの設定を変更する」（200ページ）をご覧ください。

スティックのキャップを交換するには

スティックの先についているキャップは消耗品です。着脱式ですので、
使いにくくなった場合は付属の予備キャップと交換することができます。

ご注意

キャップはしっかりとはめてください。正しく取り付けられていないと、ディスプレイパネルを閉じたときにキャップがぶつかり、液晶ディスプレイに傷がつくおそれがあります。

ジョグダイヤルを使う

ジョグダイヤルは、回したり押したりするだけで、画面のスクロールや画面の中の項目の選択などさまざまな操作が簡単にできます。ここでは、ジョグダイヤルの使いかたやジョグダイヤルでできる操作について説明します。

デスクトップ画面上にはジョグダイヤルウィンドウが常に表示されています*（工場出荷時）。ジョグダイヤルウィンドウにはランチャー画面とガイド画面の2種類があります。それぞれの画面に対応してできる操作が異なります。
実際の使いかたについて詳しくは、以下のページをご覧ください。

- 「ジョグダイヤルランチャー」画面（60ページ）
- 「ジョグダイヤルガイド」画面（64ページ）

* 一定時間が過ぎると自動的にジョグダイヤルウィンドウを閉じるよう設定することもできます。詳しくは、「ジョグダイヤルの設定をする」（106ページ）をご覧ください。

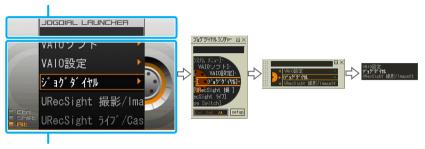
前の操作に戻るには

BACKボタンを押すと、ひとつ前に選んでいた内容を表示することができます。

次のページにつづく

ジョグダイヤルウィンドウのサイズを変更するには

ジョグダイヤルウィンドウ上でダブルクリックするたびに、ウィンドウの大きさを4段階に変更できます。

通常はこの部分のみ表示されます。（初期設定）

ジョグダイヤルを押したり、回したときにこの部分が表示されます。

ジョグダイヤルウィンドウを閉じるには

ジョグダイヤルウィンドウ上で右クリックして、[ジョグダイヤルウィンドウの非表示]をクリックしたり、ジョグダイヤルウィンドウ右上の×をクリックすると、ウィンドウが閉じます。

再度表示させたい場合は、ジョグダイヤルを操作するか、デスクトップ画面右下のタスクトレイにあるまたは をダブルクリックしてください。

「ジョグダイヤルランチャー」画面

ジョグダイヤルウィンドウがアクティブ状態（他のウィンドウが選択されていない状態）になっている場合は、「ジョグダイヤルランチャー」画面が表示されます。

操作項目について詳しくは、「ジョグダイヤルランチャーの操作」（61ページ）をご覧ください。

ジョグダイヤルランチャー画面

ジョグダイヤルを回して、操作したい項目を選び、ジョグダイヤルを押すと、「ジョグダイヤルガイド」画面に変わります。表示される項目に従って、ジョグダイヤルを回したり押すことで操作できます。

［輝度調整］を選択したときの「ジョグダイヤルガイド」画面

別の操作を実行したい場合などは、ジョグダイヤルウィンドウを「ジョグダイヤルランチャー」画面に戻してからやり直してください。「ジョグダイヤルガイド」画面になっているときは、ジョグダイヤルウィンドウまたはデスクトップ上をクリックするか、BACKボタンを押すと「ジョグダイヤルランチャー」画面に戻ります。

「VAIO Action Setup」ソフトウェアを使ってジョグダイヤルでできる操作を新たに割り当てたり、削除することができます。詳しくは、「ジョグダイヤルにソフトウェアを登録する」（103ページ）をご覧ください。

ジョグダイヤルランチャーの操作

ジョグダイヤルランチャーには、あらかじめ以下の項目が設定されています。

❑ VAIOソフト

「Smart Capture」や「Media Bar」などのソニー製ソフトウェアが起動します。

❑ VAIO設定

外部モニター設定	ジョグダイヤルを押すと、別売りのディスプレイアダプターPCGA-DA1Sを使って接続した外部ディスプレイなどと、本機の液晶ディスプレイの表示を切り替えることができます。 液晶ディスプレイのみ→液晶ディスプレイと外部ディスプレイ同時表示→外部ディスプレイのみ→液晶ディスプレイのみ→...

次のページにつづく

輝度調整	ジョグダイヤルを回して本機の液晶ディスプレイの明るさを調節することができます。ジョグダイヤルを押すと、調節した明るさに設定されます。
消音設定	ジョグダイヤルを押すと、本機の内蔵スピーカーの音量を消すことができます。
TV出力設定	ジョグダイヤルを押すと、AV OUTコネクタに接続したテレビなどの外部モニタと、本機の液晶ディスプレイの表示を切り替えることができます。 液晶ディスプレイのみ→液晶ディスプレイと外部モニタの同時表示→外部モニタのみ→液晶ディスプレイのみ→...
音量設定	ジョグダイヤルを回して本機の内蔵スピーカーの音量を調節することができます。ジョグダイヤルを押すと、調節した音量に設定されます。
録音設定	ジョグダイヤルを回して本機の録音音量を調節することができます。ジョグダイヤルを押すと、調節した音量に設定されます。
カメラ設定	ジョグダイヤルを操作して、内蔵カメラ（MOTION EYE）の画質やモードの設定ができます。
メガベース設定	メガベース（低音増幅機能、ヘッドホン使用時のみ）のオン／オフを切り替えることができます。
Sony Notebook Setup	「Sony Notebook Setup」ソフトウェアが起動して、本機起動時の設定を変更したり、ポインティング・デバイスの詳細設定などをすることができます。

❑ Window Switcher

ジョグダイヤルを使って、アクティブ状態のウィンドウを変更できます。

❑ **電源管理（PowerPanel）**

「PowerPanel」ソフトウェアを使って本機の動作モードを変更したり（185ページ）、バッテリの残量などを確認できます（54ページ）。

❑ **インターネット**

ジョグダイヤルを押すと、Microsoft® Internet Explorerが起動します。

❑ **フォルダブラウザ**

ジョグダイヤルを使って、フォルダの中を閲覧（ブラウジング）することができます。

❑［スタート］メニュー

ジョグダイヤルを使って、［スタート］メニューの表示や［スタート］メニュー内の項目の選択／実行ができます。

❑ ジョグダイヤル

ジョグダイヤルに特化したユーティリティを使用できます。

- 設定（VAIO Action Setup）
  「VAIO Action Setup」ソフトウェアが起動して、ジョグダイヤルでできる操作の設定を行ったりすることができます。
- 壁紙チェンジャー
  ジョグダイヤルを使って壁紙を変更できます。
- スクリーンセーバー
  ジョグダイヤルを使って、パスワードを設定してスクリーンセーバーにロックをかけたり、解除したりできます。
- ダイヤルアップツール
  ジョグダイヤルを使って、ダイヤルアップ先を選択し、接続することができます。

❑ URecSight 撮影/ImageStation

「URecSight」ソフトウェア*をImageStationモードで起動します。

❑ URecSight ライブ/CastaDrive

「URecSight」ソフトウェア*をCastaDriveモードで起動します。

❑ CyberSupport for VAIO

「CyberSupport」ソフトウェアが起動します。
使いかたについて詳しくは、別冊の「VAIOサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

*「URecSight」ソフトウェアについて詳しくは、「操作編（カメラシューティングスタイル）」（135ページ）および「URecSight」のヘルプをご覧ください。
ヘルプを見るには、「URecSight」を起動している状態で（アプリケーション）ボタンを押してメニューを表示させ、ジョグダイヤルで［ヘルプ］を選んでからジョグダイヤルを押します。または、［スタート］ボタンを押して、［プログラム］にポインタを合わせ、［URecSight］から［URecSight オンライン ヘルプ］を選んでクリックしても、ヘルプを見ることができます。

「ジョグダイヤルガイド」画面

起動中のソフトウェアがある場合は、「ジョグダイヤルガイド」画面が表示されます。ウィンドウサイズの変更やスクロールなど、使用中のソフトウェアによってジョグダイヤルでできる操作が異なります。

ジョグダイヤルガイド画面

ソニー製ソフトウェアの操作

各ソフトウェアに割り当てられた操作がジョグダイヤルでできます。
ジョグダイヤルに対応していないウィンドウがアクティブ状態の場合は、以下の操作はできません。
ジョグダイヤルに対応していないソフトウェアの操作については、「ジョグダイヤル非対応のソフトウェアの操作」（67ページ）をご覧ください。

ソフトウェア	操作と機能
CyberCode Finder	CyberCode Finder**ウィンドウ** Shiftキーを押しながらジョグダイヤルを操作することにより、簡易メニューと詳細メニューの切り替えができます。 • 簡易メニュー：CyberCode認識モード（通常認識、マルチサーチおよびピックアップ）を選択できます。 • 詳細メニュー：「CyberCode Finder」の基本機能を階層メニューから操作できます。詳しくは「CyberCode Finder」のヘルプをご覧ください。

ソフトウェア	操作と機能
DVgate	再生や停止など、接続しているDV機器の操作ができます（DVgate Motion/DVgate Still）。 ジョグダイヤルを回して、目的の操作項目を選び、ジョグダイヤルを押してください。リスト項目が表示されている場合は、ジョグダイヤルを回してリスト項目を選ぶこともできます。 詳しくは「DVgate」のヘルプの「その他」–「ジョグダイヤルを使う」をご覧ください。
Media Bar	ジョグダイヤルを回すと、トラックを選択できます。ジョグダイヤルを押すと、再生／一時停止ができます。
Navin' You	ジョグダイヤルを回すと、地図の拡大や縮小ができます。ジョグダイヤルを押すと、ファンクションパネルの表示／非表示の切り替えができます。
OpenMG Jukebox	ジョグダイヤルを回すと、トラックを選択できます。ジョグダイヤルを押すと、再生／一時停止ができます。
PictureGear	起動時に、PictureGearのどの領域をジョグダイヤルで操作するのかを、ジョグダイヤルウィンドウ内に表示されたリストの中から、ジョグダイヤルを回して選びます。 選択した操作領域によって、ジョグダイヤルの機能が変化します。 •「フォルダ」選択時 ジョグダイヤルを回すと、フォルダ一覧に表示されているフォルダを選択できます。ジョグダイヤルを押すと、選択されているフォルダの開閉ができます。 •「スライド」選択時 ジョグダイヤルを回すと、表示エリアのスライド上でカーソルが移動します。ジョグダイヤルを押すと、スライドの選択（解除）ができます。 上記のほかにも、メニューやナビゲータの操作ができます。また、Shiftキーや Ctrlキーを押しながらジョグダイヤルを操作すると、ジョグダイヤルの機能が変化します。詳しくは、「PictureGear」のヘルプの「ジョグダイヤルの使いかた」をご覧ください。

次のページにつづく

ソフトウェア	操作と機能
Smart Capture	Smart Capture**ウィンドウ** Shiftキーを押しながらジョグダイヤルを操作することにより、簡易メニューと詳細メニューの切り替えができます。 • 簡易メニュー：キャプチャモード（スチルモード、長時間モードまたはネットムービーモード）を選択できます。 • 詳細メニュー：「Smart Capture」の基本機能を階層メニューから操作できます。詳しくは、「Smart Capture」のヘルプをご覧ください。 Still Viewer**ウィンドウ** 表示される静止画像を選択できます。ジョグダイヤルを回すと、その前後の静止画が表示されます。 Movie Player**ウィンドウ** **停止時** 表示される動画像を選択できます。ジョグダイヤルを回すと、その前後の動画が表示されます。ジョグダイヤルを押すと、現在表示されている動画の再生／一時停止の切り替えができます。 **再生／一時停止時** 表示されている動画像のフレームを選択できます。ジョグダイヤルを回すと、その前後のフレームが一時停止状態で表示されます。 ジョグダイヤルを押すと、現在表示されているフレームの位置からの動画再生が始まります。
Smart Write	ジョグダイヤルを操作することで［jogメニュー］と［カーソル移動］を選択します。 jog**メニュー** 「Smart Write」の基本機能を階層メニューから操作できます。メニューに戻るには、BACKボタンを押すか、［戻る］を押してください。 **カーソル移動** ジョグダイヤルを回すと、カーソルが上下します。ジョグダイヤルを押すと、カーソルが文頭／文尾へ移動します。メニューに戻るには、BACKボタンを押すか、ジョグダイヤルを長く押してください。

ソフトウェア	操作と機能
VAIO Action Setup	ジョグダイヤルを操作することで、イベント設定をメニューから切り替え／選択できます。 **タブ移動** ジョグダイヤルを回すと、画面上の選択項目を移動できます。ジョグダイヤルを押すと選択項目を実行できます。メニューに戻るには、BACKボタンを押すか、ジョグダイヤルを長く押してください。
VisualFlow	ジョグダイヤルを操作することでコンテンツを選択できます。ジョグダイヤルを回してコンテンツを選び、ジョグダイヤルを押すとそのコンテンツを拡大表示、または再生できます。拡大表示の際にジョグダイヤルを操作すると、起動するソフトウェアを選択できます。起動するソフトウェアを選択してジョグダイヤルを押すと、選んだソフトウェアが起動します。ソフトウェアが選択されていないときにジョグダイヤルを押すと、元の表示サイズに戻ります。 詳しくは、「VisualFlow」のヘルプをご覧ください。

ジョグダイヤル非対応のソフトウェアの操作

使用中のソフトウェアやプログラムがジョグダイヤルに対応していない場合は、ウィンドウのサイズを変更したり、ウィンドウの中の項目を選択することができます。

一般アプリケーション

[最大化]、[最小化]、[終了]、[スクロール]、[ジョグダイヤルランチャー]、[メニュー] から選ぶことができます。

次のページにつづく

項目	操作と機能
最大化*	ジョグダイヤルを押すと、アクティブ状態のウィンドウが最大化します。もう1度押すと、元の大きさに戻ります。
最小化*	ジョグダイヤルを押すと、アクティブ状態のウィンドウが最小化します。もう1度押すと、元の大きさに戻ります。
終了*	ジョグダイヤルを押すと、アクティブ状態のソフトウェアやプログラムを終了します。
スクロール*	ジョグダイヤルを押してから上下に回すと、アクティブ状態のウィンドウがスクロールします。
ジョグダイヤルランチャー	「ジョグダイヤルランチャー」画面が表示されます。
メニュー*	ジョグダイヤルを押すと、メニューが表示されます。ジョグダイヤルを上下に回してから押すと、メニューの中の項目を選ぶことができます。

* ソフトウェアやプログラムによって、選択できない場合があります。

ダイアログ

「画面のプロパティ」などのウィンドウがアクティブ状態の場合は、「ダイアログ」が表示され、ジョグダイヤルを回して、タブやウィンドウの中の項目を選択したり、押すことによりEnterキーを押したときと同じ操作を行うことができます。
また、BACKボタンを押すことにより、Escキーを押したときと同じ操作を行うことができます。

ダイアログ画面

[スタート] メニュー

[スタート] メニューが表示されているときに、ジョグダイヤルを使って[スタート] メニュー内の項目を選択、実行できます。
また、BACKボタンを押すことにより、ひとつ前の階層に戻ります。

キーボードを使う

キーボードを使って文字や記号を入力したり、コンピュータへ命令を送ることができます。ここでは、主なキーのなまえと機能を紹介します。
文字の入力のしかたについては、「文字を入力する」（76ページ）をご覧ください。

ご注意

- キートップがはずれてしまったら、元の位置に戻してカチッと音がするまで押し込んでください。Enterキーとスペースキーがはずれたときは、「困ったときは」の「キートップがはずれた」（221ページ）をご覧ください。
- キートップを故意にはずしたり、取り付けるときに無理に力を加えると故障や破損の原因となります。取り扱いにはご注意ください。

なまえ	機能
Esc（エスケープ）キー	設定を取り消したり、実行を中止するときなどに押します。
ファンクションキー	使用するソフトウェアによって働きが異なります。 Fnキーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。詳しくは、「Fnキーとの組み合わせ」（74ページ）をご覧ください。

次のページにつづく

なまえ	機能
Back Space （バックスペース）キー	カーソルの左側の文字を消します。
Delete（デリート）キー	カーソルの右側の文字を消します。
Shift（シフト）キー	文字キーと組み合わせて使うと、大文字を入力できます。また、文字キーと他の機能キーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。
矢印キー	カーソルを動かしたり、数ページにわたる画面の次ページまたは前ページを表示できます。
Alt（オルト）キー	文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。オルタネートキーともいいます。使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは各ソフトウェアのオンラインマニュアルをご覧ください。
Windows （ウィンドウズ）キー	Windows Meの［スタート］メニューが表示されます。 他のキーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのオンラインマニュアルおよび「Windowsキーとの組み合わせ」（73ページ）をご覧ください。
Fn（エフエヌ）キー	キーボード上で紫色で表記されている機能を使うとき、このキーと組み合わせて押します。詳しくは、「Fnキーとの組み合わせ」（74ページ）をご覧ください。
Ctrl（コントロール）キー	文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは各ソフトウェアのオンラインマニュアルをご覧ください。 例）Ctrlキーを押しながら、Sキーを押す。 メニューから「保存する」を選ばずに、ファイルを保存できます。
Caps Lock （キャプスロック）キー	Shift（シフト）キーを押しながらこのキーを押し、キーボード右上にある A（Caps Lock）ランプが点灯しているときに、文字キーを押すと、アルファベットの大文字を入力できます。 もう1度、Shiftキーを押しながらこのキーを押すと、Aランプが消え、アルファベットの小文字入力に戻ります。

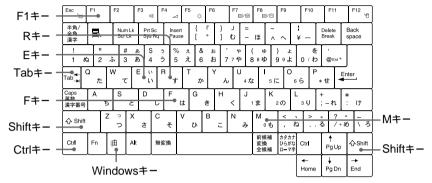
なまえ	機能
Insert（インサート）キー	文字入力モードを切り替えます。文字を入力するとき、このキーを押すごとに、カーソルの位置に文字を挿入するか、カーソルの位置から文字を上書きするか切り替えることができます。
Prt Sc（プリントスクリーン）キー	表示されている画面全体をクリップボードに取り込みます。Altキーを押しながらこのキーを押すと、選択されているウィンドウだけを取り込みます。取り込んだ画像は「ペイント」などのソフトウェアで保存、加工、印刷できます。
Num Lk（ナムロック）キー	テンキーと組み合わせて使うと、数字を入力できます。Num Lkキーを押すと、キーボード右上にある (Num Lock) ランプが点灯します。もう1度、Num Lkキーを押すと消灯します。詳しくは、「Num Lkキーの機能」（72ページ）をご覧ください。
アプリケーションキー	ポインティング・デバイスの右ボタンを押したときと同じ働きをします。

Num Lkキーの機能

なまえ	機能
テンキー	Num Lkキーを押し、キーボード右上にある (Num Lock) ランプが点灯しているときにこれらのキーを押すと、キー上に黄色で表示されている数字を入力できます。 例) Uキーを押す。 「4」が入力されます。

キーボードショートカット

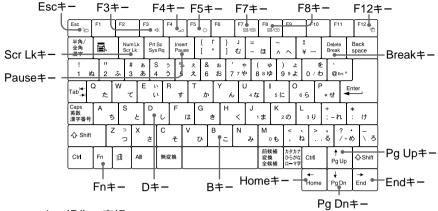
メニューを開かなくても、キーボードから各種コマンドを実行できます。

Windowsキーとの組み合わせ

キー操作の表記

例： ⊞ +F ➡ WindowsキーをしながらFキーを押す。

組み合わせ	機能
⊞ +M	表示しているすべての画面を最小化します。
Shift+ ⊞ +M	最小化したすべての画面を元のサイズに戻します。
⊞ +Ctrl+F	コンピュータの検索画面を表示します。
⊞ +F	ファイルとフォルダの検索画面を表示します。 ［スタート］メニューから［検索］の［ファイルやフォルダ…］を選んだときと同じです。
⊞ +Tab	タスクバーに表示されているボタンの選択を切り替えます。
⊞ +E	エクスプローラ*を起動します。
⊞ +R	「ファイル名を指定して実行」を表示します。 ［スタート］メニューから［ファイル名を指定して実行…］を選んだときと同じです。
⊞ +F1	Windowsの「ヘルプとサポート」を表示します。

* コンピュータの内容（ファイルやフォルダ）をツリー図で表示します。作成したファイルなどがコンピュータのどこに保存されているか、一目で確認できます。

Fnキーとの組み合わせ

キー操作の表記

例：Fn + (Esc) ➡ FnキーをおしながらEsc（エスケープ）キーを押す。

組み合わせ	機能
Fn+ (Esc)	現在の本機の状態をメインメモリに記憶させ、液晶ディスプレイとCPUの電源供給を停止して、使用電力を低減します（スタンバイ）。
Fn+ (F3)*	本機の内蔵スピーカーの音声を入／切します。
Fn+ (F4)*	本機の内蔵スピーカーの音量が調節できます。このコマンドを実行すると、数秒間だけ音量設定が表示されます。このときに↑または→キーを押すと大きくなり、←または↓キーを押すと小さくなります。
Fn+ (F5)*	液晶ディスプレイの明るさを調節できます。このコマンドを実行すると、数秒間だけ明るさ設定が表示されます。 このときに↑または→キーを押すと明るい画像になり、 ←または↓キーを押すと暗い画像になります。
Fn+LCD/VGA (F7)*	別売りのディスプレイアダプターPCGA-DA1Sを使って本機に接続した外部ディスプレイなどと、本機の液晶ディスプレイの表示を切り替えます。 液晶ディスプレイのみ→液晶ディスプレイと外部ディスプレイ同時表示→外部ディスプレイのみ→液晶ディスプレイのみ→…
Fn+LCD/TV (F8)*	本機に接続したテレビなどの外部モニタと、本機の液晶ディスプレイの表示を切り替えます。 液晶ディスプレイのみ→液晶ディスプレイと外部モニタの同時表示→外部モニタのみ→液晶ディスプレイのみ→…

組み合わせ	機能
Fn+(休止アイコン) (F12)*	本機の液晶ディスプレイとハードディスクドライブだけでなく、CPUやRAMへの電源供給も停止します（休止状態）。使用環境はハードディスクに書き込まれるので、復帰後もそのまま作業でき、電源オフからの起動よりも早く本機を起動できます。
Fn+Break（ブレイク）キー	使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのオンラインマニュアルをご覧ください。
Fn+Pg Up（ページアップ）キー	現在表示している画面の前のページを表示します。
Fn+End（エンド）キー	行の最後にカーソルを移動します。
Fn+Pg Dn（ページダウン）キー	現在表示している画面の次のページを表示します。
Fn+Home（ホーム）キー	行の先頭にカーソルを移動します。
Fn+B*	メガベース（低音増幅機能、ヘッドホン使用時のみ）のオン／オフを切り替えます。
Fn+D	本機の画面が暗くなり（LCD/Videoスタンバイモード）、内蔵カメラ（MOTION EYE）の電源も切れます。いずれかのキーを押すともとの状態に戻ります。
Fn+Pause（ポーズ）キー	使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのオンラインマニュアルをご覧ください。
Fn+Scr Lk（スクロールロック）キー	使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのオンラインマニュアルをご覧ください。

* ジョグダイヤルを使っても操作ができます。詳しくは、「「ジョグダイヤルランチャー」画面」（60ページ）をご覧ください。

ご注意

Windows Me起動後でないと作動しないものがあります。

文字を入力する

ここでは、文字の入力のしかたについて説明します。文字を入力するにはキーボードを使います。本機に付属している、「ワードパッド」という文章を作成するためのソフトウェアを使って、文字入力を練習してみましょう。
キーボード上の各キーのなまえと働きについて詳しくは、「キーボードを使う」（69ページ）をご覧ください。

日本語入力の前に

ここでは、「ワードパッド」ソフトウェアを起動して、日本語を入力できるようにするまでの手順を説明します。

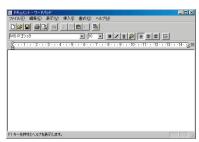
1 「ワードパッド」を起動する

まず、「ワードパッド」を起動します。

1 ［スタート］ボタンをクリックする。

スタートメニューが表示されます。

2 ［プログラム］にポインタを合わせ、［アクセサリ］から［ワードパッド］をクリックする。

「ワードパッド」が起動し、文字を入力する画面が表示されます。

2 日本語入力を選ぶ

キーボード上の各キーにはアルファベットやひらがなが印刷されていますが、ただキーを押しても、漢字やカタカナは入力できません。
日本語を入力するためには、画面に表示されているMS-IMEのツールバーを使って、入力文字を切り替える必要があります。

MS-IMEツールバー

1 MS-IMEツールバーの［␣A］をクリックする。

文字入力選択メニューが表示されます。

2 ［ひらがな］をクリックする。

画面上に表示されているツールバーの表示が［␣A］から［あ］に変わり、日本語を入力できるようになります。

［␣A］から［あ］に変わる。

次のページにつづく

ツールバーが表示されていないときは
ディスプレイ画面右下のタスクトレイにあるをクリックして、「ツールバーを表示」をクリックします。
ツールバーについて詳しくは、付属のWindows Meのクイックスタートガイドをご覧ください。

入力のしかたを選ぶ

日本語を入力する方法として、ローマ字入力方式とかな入力方式があります。お好みにあわせて、入力方法を選んでください。
なお、お買い上げ時は、ローマ字入力に設定されています。

ローマ字入力

キーボード上のアルファベットを組み合わせて、ローマ字で日本語を入力する方法です。1文字を入力するために2つのキーを組み合わせるので、操作が多少めんどうですが、英文タイプライターに慣れているかたはこちらが便利です。

かな入力

キーボード上の各キーに印刷されているひらがなを使って、日本語を入力する方法です。1文字につき1つのキーを押せばよいので操作は楽ですが、50音それぞれのキーの配置を覚える必要があります。

かな入力とローマ字入力を切り替える

MS-IMEツールバーの［KANA］をクリックするか、Ctrlキーを押しながら英数キーを押す。
ローマ字入力とかな入力とが切り替わります。

文字入力を練習する

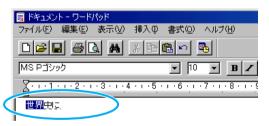
ここでは、具体的な文字の入力のしかたを説明します。
例として、「世界中にひろがったVAIOノート」という言葉を入力してみます。

1 漢字を入力する

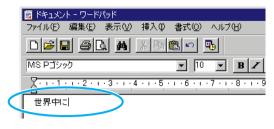
1 「世界中に」の読みを入力する。

- **ローマ字入力の場合**
  S、E、K、A、I、J、U、U、N、Iの順にキーを押します。
- **かな入力の場合**
  せ、か、い、し、゛（濁点）、ゅ（Shiftキーを押しながら「ゆ」を押します）、う、に、の順にキーを押します。

キーを押すごとに、カーソルが文字の入力位置に動きます。

2 スペースキーを押す。

入力した読みに当てはまる漢字が表示されます。
間違った漢字が表示されたときは、正しい漢字が表示されるまで、何回かスペースキーを押します。

次のページにつづく

3 Enter**キーを押す。**

変換が確定します。

間違って入力したときは

次のキーを使って修正します。

Backspace**キー**：カーソルの直前の1字を消し、カーソルの位置が戻ります。

Delete**キー**：カーソルのある位置の1字を消します。

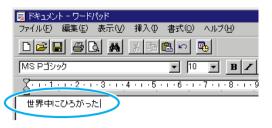
Esc**キー**：確定していない文字をすべて消去します。

2 ひらがなを入力する

1 「ひろがった」の読みを入力する。

- **ローマ字入力の場合**
  H、I、R、O、G、A、T、T、Aの順にキーを押します。
- **かな入力の場合**
  ひ、ろ、か、゛（濁点）、っ（Shiftキーを押しながら「つ」を押します）、た、の順にキーを押します。

キーを押すごとに、カーソルが文字の入力位置に動きます。

2 Enterキーを押す。

変換する必要がないので、スペースキーを押す必要はありません。

3 英字を入力する

1 MS-IMEのツールバーの［あ］をクリックして、［半角英数］を選ぶ。

ツールバーの表示が［␣A］になり、アルファベットが入力できる状態になります。

2 Shiftキーを押しながら、V、A、I、Oの順にキーを押す。

3 Enterキーを押す。

アルファベットの小文字や数字を入力するときは、Shiftキーを押す必要はありません。

4 カタカナを入力する

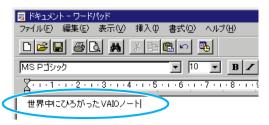
1 **MS-IMEのツールバーの［␣A］をクリックして、［全角カタカナ］を選ぶ。**

ツールバーの表示が［カ］になり、カタカナが入力できる状態になります。

2 **「ノート」の読みを入力する。**

- **ローマ字入力の場合**
  N、O、-（長音、[ー]キー）、T、Oの順にキーを押します。
- **かな入力の場合**
  の、ー（長音、[￥]キー）、と、の順にキーを押します。

キーを押すごとに、カーソルが文字の入力位置に動きます。

3 Enter**キーを押す。**

変換する必要がないので、スペースキーを押す必要はありません。

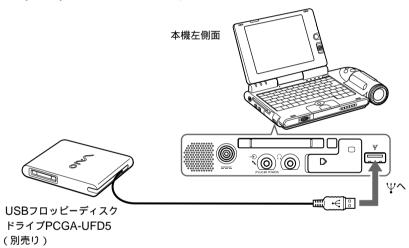
これで「世界中にひろがったVAIOノート」と入力できました。

キーボード上にない文字や記号の入力のしかたや、漢字に変換する文節の位置の調節のしかたなどについて詳しくは、Windows Meのヘルプをご覧ください。

フロッピーディスクを使う

フロッピーディスクは、薄くて軽い、手軽に取り扱うことのできる記録メディアです。
ここでは、別売りのUSBフロッピーディスクドライブPCGA-UFD5の取り付けかたや、フロッピーディスクの取り扱いについて説明します。

フロッピーディスクドライブを取り付ける

別売りのUSBフロッピーディスクドライブPCGA-UFD5を本機の
Ψ（USB）コネクタに接続します。

接続すると、USBフロッピーディスクドライブは自動的に認識されます。

USBフロッピーディスクドライブは本機の電源を入れたままで抜き差しできます。

フロッピーディスクドライブを取りはずすには

ご注意

- 本機の電源が入っているときにUSBフロッピーディスクドライブを取りはずすときは、必ず以下の手順に従ってください。誤った取りはずしかたをすると、システムが正常に動作しない可能性があります。本機の電源が切れているときは、手順1〜4の操作は不要です。
- USBフロッピーディスクドライブのアクセスランプ（86ページ）が点滅していないことを確認してから、取りはずしてください。

1 **デスクトップ画面右下のタスクトレイにある をダブルクリックする。**

2 **リストから［USBフロッピー］をクリックし、［停止］をクリックする。**

ご注意

リストから「USBディスク」を取りはずすとメモリースティックスロットが一時的に使用できなくなるので、「USBディスク」を停止しないでください。誤って「USBディスク」を停止してしまった場合は、" メモリースティック "のドライブ（S:ドライブ）を復帰させ、メモリースティックスロットを使用可能にしてください。詳しくは、「困ったときは」の『" メモリースティック "が使えない、S:ドライブにアクセスできない』（226ページ）をご覧ください。

3 **確認画面が表示されたらデバイスを確認し、［OK］をクリックする。**

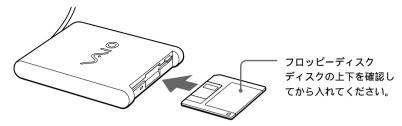
4 **['USBフロッピー' は安全に取り外すことができます。］と表示されたら［OK］をクリックする。**

5 **本機のコネクタからUSBフロッピーディスクドライブを抜く。**

フロッピーディスクドライブを持ち運ぶときは

取りはずしたあとは、ケーブルをUSBフロッピーディスクドライブ側面にはめ込むと、ケーブルが邪魔になりません。

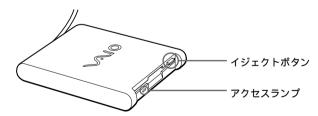
フロッピーディスクを入れる

フロッピーディスクをUSBフロッピーディスクドライブに入れます。

本機で使うフロッピーディスクは、あらかじめ初期化しておく必要があります。詳しくは、「フロッピーディスクを初期化する」(87ページ)をご覧ください。市販の「DOS/V 1.44MB フォーマット済」フロッピーディスクの場合は、あらかじめ初期化されているので、すぐに使うことができます。
その他、本機で使えるフロッピーディスクについて詳しくは、「使用できるフロッピーディスク」(89ページ)をご覧ください。

フロッピーディスクを取り出すには

USBフロッピーディスクドライブのアクセスランプが点灯していないことを確認してから、イジェクトボタンを押します。

ご注意

アクセスランプが点灯しているときにイジェクトボタンを押すと、ディスクおよびデータの破損の原因となります。

イジェクトボタンを押してもフロッピーディスクが取り出せないときは
USBフロッピーディスクドライブを取りはずして、VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

フロッピーディスクを初期化する

フロッピーディスクを使うには、「初期化」(「フォーマット」ともいう)という作業が必要です。
「DOS/V 1.44 MBフォーマット済」などと書かれた、すでに初期化されたフロッピーディスクも市販されているので、これをお買い求めになれば、すぐに使うことができます。
本機で初期化するには、以下の手順に従ってください。

ご注意

すでにデータが書き込まれているフロッピーディスクを初期化すると、そのデータは消去されてしまいます。誤って大切なデータを消すことがないようご注意ください。

1 初期化したいフロッピーディスクをUSBフロッピーディスクドライブに入れる。

入れかたについては86ページをご覧ください。

2 デスクトップ画面上の[マイ コンピュータ]をダブルクリックする。

「マイ コンピュータ」画面が表示されます。

3 [3.5インチFD (A:)]を右クリックし、[フォーマット]をクリックする。

フォーマットの画面が表示されます。

4 [開始]をクリックする。

フロッピーディスクが初期化されます。

5 [閉じる]をクリックする。

フロッピーディスクにデータを保存する

フロッピーディスクに文書ファイルなどのデータを保存するには、以下の手順に従ってください。

1 **フロッピーディスクをUSBフロッピーディスクドライブに入れる。**
入れかたについては86ページをご覧ください。

2 **デスクトップ画面上の［マイ コンピュータ］をダブルクリックする。**
「マイ コンピュータ」画面が表示されます。

3 **［3.5インチFD（A:)］をダブルクリックする。**
「3.5インチFD（A:)」画面が表示されます。

4 **フロッピーディスクに保存したいデータのアイコンを、「3.5インチFD（A:)」画面にドラッグアンドドロップする。**

フロッピーディスクのデータを誤って消さないようにする

フロッピーディスクには書き込み禁止のタブがついています。このタブを上下に動かして、フロッピーディスクを書き込み可能に、あるいは書き込み禁止にできます。

❑ **書き込み可能**
データの書き込みが可能な状態です。

❑ **書き込み禁止**
穴が見える位置にタブをスライドさせると、書き込み禁止の状態になります。データの読み出しはできますが、書き込みはできません。

フロッピーディスク裏面

使用できるフロッピーディスク

DOS/V 3.5 型フロッピーディスクには、2HD（両面高密度）タイプと2DD（両面倍密度倍トラック）タイプのものがあり、フォーマットによって2HD 1.44 Mバイト、2DD 720 Kバイト、2HD 1.2 Mバイトの3種類に分けることができます。
本機はこれらのフロッピーディスクに対応しています。

種類	本機でできること
2HD 1.44 Mバイト	フォーマット、読み書きともに可。
2DD 720 Kバイト	フォーマット、読み書きともに可。
2HD 1.2 Mバイト	読み書きともに可。

ご注意

- データを保存するときは、2HD 1.44 Mバイトまたは2DD 720 Kバイトタイプのフロッピーディスクをご使用ください。
- パソコンのフロッピーディスクドライブの種類によって、使えるフロッピーディスクが異なります。他のパソコンとデータのやりとりをする場合は、下記のフロッピーディスクをご使用ください。

データをやりとりしたいパソコンのフロッピーディスクドライブの種類	使用するフロッピーディスク
1.44 Mバイトのフロッピーディスクドライブ	2HD 1.44 Mバイトまたは2DD 720 Kバイト
1.2 Mバイトのフロッピーディスクドライブ	2HD 1.2 Mバイトまたは2DD 720 Kバイト

- 市販のアプリケーションソフトはフロッピーディスクの種類に関係なく作られていますが、一部のソフトウェアには2HD 1.44 Mバイトおよび2DD 720 Kバイト専用に作られているものがあります。これらのソフトウェアから2HD 1.2 Mバイトのフロッピーディスクに読み書きを行ったときは、一部の機能が正しく動作しない場合があります。

“ メモリースティック ”を使う

“ メモリースティック ”は、小さくて軽く、しかもフロッピーディスクより容量が大きい新世代のIC記録メディアです。“ メモリースティック ”対応機器間でのデータをやりとりするのに便利なだけでなく、着脱可能な外部記録メディアの1つとしてデータを保存するときもお使いいただけます。

“ メモリースティック ”の種類

“ メモリースティック ”には、著作権保護技術（MagicGate）を搭載した“ マジックゲート メモリースティック ”（以降、“ MG メモリースティック ”と略します）と、搭載していない一般の“ メモリースティック ”の2種類があります。
ご購入の際は、下記のマークのついた“ メモリースティック ”をお買い求めください。

ご注意

“ メモリースティック ”をお使いになるときは、以下の点にご注意ください。

- “ メモリースティック ”の端子部に手や金属で触れないでください。
- ラベルの貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- 持ち運びや保管の際は、専用の収納ケースに入れてください。
- 大切なデータはバックアップをとっておくことをおすすめします。
- メモリースティックランプが点灯中に“ メモリースティック ”を抜かないでください。
- 著作権保護されているファイルの操作を行う場合は、本機のメモリースティックスロットは使用しないでください。
- 下記の場合、記録したデータが消えたり壊れたりすることがあります。
  - メモリースティックランプが点灯中に“ メモリースティック ”を抜いたり、本機の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合

“ メモリースティック ”を入れる

“ メモリースティック ”を本機右側面の （メモリースティック）スロットに差し込みます。正しく挿入するとカチッと音がしてスロット内のコネクタに接続されます。

“ メモリースティック ”が正しく接続されると、Sドライブとして認識されます。画面上の［マイコンピュータ］をダブルクリックして、「リムーバブルディスク（S:）」と表示されていることを確認してください。「リムーバブルディスク（S:）」が表示されていないときは、「困ったときは」の『“ メモリースティック ”が使えない、S:ドライブにアクセスできない』（226ページ）の手順に従って、Sドライブを復帰させてください。
［リムーバブルディスク（S:）］をダブルクリックすると、“ メモリースティック ”の内容が表示されます。

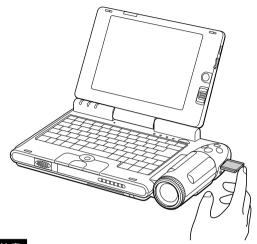
“ メモリースティック ”を挿入したときに、自動的に「VisualFlow」ソフトウェアが起動します。「VisualFlow」以外のソフトウェアが起動するように設定したいときは「VAIO Action Setup」ソフトウェアを使います。詳しくは、「メモリースティックランチャーの設定を変更する」（117ページ）をご覧ください。

ご注意

- 差し込む際は、“ メモリースティック ”の向きにご注意ください。無理に逆向きに入れようとすると、本機のメモリースティックスロットや“ メモリースティック ”本体が破損する恐れがあります。
- 省電力動作モードで「スーパースタミナ」モードを選んでいるときは、“ メモリースティック ”は使用できません。「スーパースタミナ」モード以外のプロファイルを選んでください。詳しくは、「本機の動作モードを設定する（プロファイル）」（185ページ）をご覧ください。

“ メモリースティック ”を取り出すには

（メモリースティック）ランプ（24ページ）が点灯していないことを確認してから“ メモリースティック ”を奥まで押し込みます。いったん手を離し、“ メモリースティック ”を引き抜いてください。

ご注意

- （メモリースティック）ランプが点灯しているときに“ メモリースティック ”を取り出さないでください。データが失われるおそれがあります。画像ファイルなどの大容量データの読み出しに時間がかかる場合がありますので、“ メモリースティック ”を取り出す際はご注意ください。
- 本機のメモリースティックスロットから“ メモリースティック ”を取り出すときに“ メモリースティック ”を押して指を離すと、“ メモリースティック ”が勢いよく飛び出る場合があります。最後まで指を添えて取り出すようにしてください。
- “ メモリースティック ”が取り出せないときは、もう1度奥まで押し込んでいったん離し、“ メモリースティック ”を取り出してください。

“ メモリースティック ”のデータを誤って消さないようにする

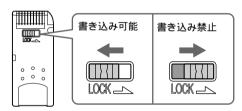
“ メモリースティック ”には書き込み禁止のタブがついています。このタブを左右に動かして、“ メモリースティック ”を書き込み可能に、あるいは書き込み禁止にできます。

❑ 書き込み可能

データの書き込みが可能な状態です。

❑ 書き込み禁止

タブを右にスライドさせると、書き込み禁止の状態になります。
データの読み出しはできますが、書き込みはできません。

“ メモリースティック ”裏面

“ メモリースティック ”を初期化する

“ メモリースティック ”は、標準フォーマットとして専用のFATフォーマットで出荷されており、すぐにお使いになれます。
フォーマット（初期化）が必要な場合は、必ず“ メモリースティック ”専用機器で行ってください。
本機で“ メモリースティック ”を再フォーマットするときは、付属の「メモリースティックフォーマッタ」ソフトウェアを使って、下記の手順に従って行ってください。
「メモリースティックフォーマッタ」ソフトウェアの使いかたについて詳しくは、このソフトウェアのヘルプをご覧ください。

ご注意

すでにデータが書き込まれている“ メモリースティック ”をフォーマットすると、そのデータは消去されてしまいます。誤って大切なデータを消すことがないようにご注意ください。

1 本機に“ メモリースティック ”を入れる。

入れかたについては91ページをご覧ください。

2 ［スタート］ボタンをクリックして［プログラム］にポインタを合わせ、［Memory Stick Utility］を選んで、［Memory Stick Formatter］をクリックする。

3 Sドライブが選択されていることを確認してから、［フォーマット開始］をクリックする。

フォーマットが始まります。

CD-ROMドライブをつなぐ

CD-ROMはコンピュータで扱うプログラムやデータを記録した、読み取り専用の記録メディアです。

本機には、本機専用の下記ドライブ（別売り）をつなぐことができます。
あらかじめ各ドライブ用のドライバがインストールされているので、接続するだけでご使用になれます。

- CD-ROMドライブ PCGA-CD51 Series または PCGA-CD5
- CD-RWドライブ PCGA-CDRW5_ Series
- DVD-ROMドライブ PCGA-DVD51 Series

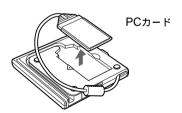
ここでは、PCGA-CD51の取り付けかたについて説明します。

ご注意

- 接続のしかたや使いかたは、お使いになるドライブによって異なります。詳しくは、ドライブに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機で音楽CDを聞くには、上記のCD-ROMドライブが必要です。CD-ROMドライブPCGA-CD5をお使いの場合は、本機の内蔵スピーカーから音は出ません。詳しくは、「音楽CD／ビデオCDを再生する」（127ページ）をご覧ください。
- CD-ROMドライブによっては本機で使用できないものもあります。詳しくは、VAIOカスタマーリンクまたは販売店にご確認ください。

CD-ROMドライブを取り付ける

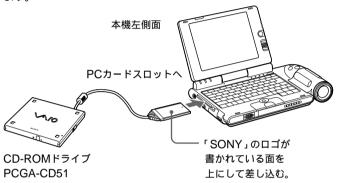
PCGA-CD51はPCカードを使って本機とやりとりします。

1 CD-ROMドライブの底面からPCカードをはずす。

2 PCカードを本機に取り付ける。

PCカードの「SONY」のロゴが書かれている面を上にして取り付けます。

スロットの奥にあるコネクタに、カードがしっかりと固定されるまで押し込みます。

カードがうまく入らない場合は、無理にカードを押し込まずに、カードの挿入方向を確認してからもう1度挿入し直してください。

「マイ コンピュータ」画面内にCD-ROMドライブのアイコンが表示されます。

CD-ROMドライブを取りはずすには

「PCカードを取り出す」（174ページ）の手順に従ってPCカードを取り出します。

ご注意

- CD-ROMドライブのトレイにディスクが入っていないことを確認してから取りはずしてください。
- イジェクトボタンを押してもディスクが取り出せないときは、CD-ROMドライブ底面のピンをマニュアルイジェクト穴に押し込んでください。詳しくは、CD-ROMドライブの取扱説明書をご覧ください。

インターネットへ接続する

本機には電話回線に接続して通信を行うためのモデムが内蔵されているので、電話回線につないでインターネットを楽しむことができます。
インターネットに接続する方法について詳しくは、「カスタマー登録する／インターネットに接続する」（41ページ）、および別冊の「はじめてのインターネット！」をご覧ください。

一般電話回線につなぐ

付属のテレホンコードを使って本機を電話回線につなぐと、インターネットを楽しんだり、ファックスを送受信できるようになります。
本機の内蔵モデム（V.90、K56flex対応）の通信速度は、データ受信時最大56 kbps、データ送信時最大33.6 kbpsです。電話回線の状況によって通信速度は変化することがあります。
お使いの電話回線のコンセントによっては、別売りのアクセサリが必要なものもあります。接続する前にコンセントの種類をご確認ください。
詳しくは、「電話回線のコンセントの種類」（284ページ）をご覧ください。

ご注意

使用可能な回線は、一般電話回線です。PBX（構内交換機）回線には接続しないでください。故障・発火の原因になります。

1 お使いの電話回線のダイヤル方法（トーン式またはパルス式）を確認する。

電話機のダイヤルボタンを押すと「ピポパ」と音がし、「カチカチ」という音がしないときはトーン式ダイヤルです。ボタンではなくダイヤルを回す電話機またはダイヤルボタンを押すたびに「カチカチ」という音がする電話機は、パルス式ダイヤルです。

次のページにつづく

2 モデムのダイヤル方法を設定する。

①［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

②［モデム］アイコンをダブルクリックする。

「モデムのプロパティ」画面が表示されます。

探しているアイコンが見つからない場合は、［すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。］をクリックしてください。

③［ダイヤルのプロパティ］をクリックする。

「ダイヤルのプロパティ」画面が表示されます。

④「ダイヤル方法」で、上記手順1で確認したお使いの電話回線のダイヤル方法に合わせて［トーン］または［パルス］を選択する。

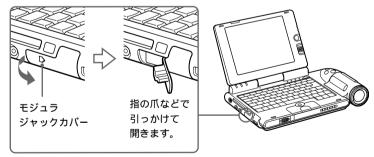
⑤ 市外局番を入力する。

外線発信番号が必要な場合は、「外線発信番号」で市内通話／市外通話ともに入力してください。

⑥［OK］をクリックする。

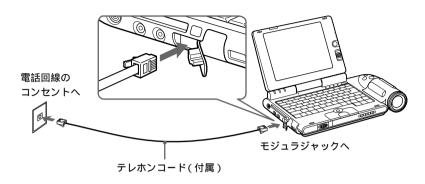
手順②の画面に戻ります。

⑦［OK］をクリックする。

3 モジュラジャックカバーを開ける。

ご注意

- カバーを開く際は、強く引っ張りすぎないようにご注意ください。引きすぎると破損の原因となります。
- カバーを取りはずすことはできません。

4 電話回線につなぐ。

モジュラジャックは本機の横側から、モジュラプラグのツメが「カチッ」とロックするまでまっすぐに差し込みます。

モジュラジャックが2つある電話機をお使いのときは、下図のようにつなぎます。

ご注意

接続後、お使いになる通信用ソフトウェアで、電話機やファックス、通信方法などの設定をする必要があります。詳しくは、それぞれのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

次のページにつづく

電話回線についてのご注意

- 使用可能な回線は、一般電話回線です。PBX（構内交換機）回線には接続しないでください。故障・発火の原因になります。
- PBXの中には、回線の電気条件がNTTの一般電話回線と同じものもありますが、接続できるかどうかは、PBXメーカーまたはPBX保守業者にお問い合わせください。
- 本機の内蔵モデムは、通信相手が応答しない場合、60秒で電話を切るように設定されています。30秒以内に電話を切るようにモデムの設定を変更することもできますが、この場合、交換機の接続遅延時間によっては接続できないことがあります。設定を変更する場合でも、30秒以上に設定するようおすすめします。
- ISDN回線などでTA（ターミナルアダプタ）をお使いのときは、TAとの接続やTAの設定を確認してください。詳しくは、TAの取扱説明書をご覧ください。
- 契約したプロバイダがV.90またはK56flexに対応している場合、最大56 kbpsで通信が可能です。ただし、電話回線の状態によって、通信速度は変化します。
  V.90、K56flexは自動的に選択されます。
- 分配器を使用して電話回線を分岐すると、モデムおよび接続先の機器が正しく動作しないことがあります。
  なお、屋内配線の中には分配器経由で各部屋に配線されている場合があります。
- モデムのプロパティから国選択ができますが、本機を使用する場合は、必ず日本国モード（工場出荷時のまま）でご使用ください。他国のモードをご使用になると、電気通信事業法（技術基準）に違反する行為となります。

なお、「困ったときは」の「インターネット」（214ページ）もあわせてご覧ください。

外出先でインターネットにアクセスする

ここでは、外出先でインターネットにアクセスする方法の概略を説明します。アクセスできるようにしておくと、外出先で電子メールを送信したいときや、電子メールを確認したいときに便利です。

外出先でインターネットにアクセスするには、4通りの方法があります。
- 公衆電話を使ってアナログ接続する
- 公衆電話を使ってISDN接続する
- デジタル携帯電話を使って接続する
- PHSを使って接続する

公衆電話を使ってアナログ接続する

本機はモデムを内蔵しているので、モジュラジャックのある公衆電話に直接つなげます。
テレホンコードとモジュラジャック付きの電話機さえあれば、どこからでもアクセスできますが、アナログ接続のため、使用する電話機によってはすぐに接続が切れてしまうことがあります。

ご注意

公衆電話のデジタルポートにはつながないでください。故障の原因となります。

1 本機と電話機のアナログポートをテレホンコードでつなぐ。

2 電話機の「データ通信」ボタンを押す。

3 テレホンカードを入れる。

4 通信用のソフトウェアを起動する。

これでインターネットにアクセスできます。

公衆電話を使ってISDN接続する

市販のISDNのTA（ターミナルアダプタ）カードを本機に装着してモジュラジャックのある公衆電話につなぐと、外出先でもISDN経由で接続できます。
通信速度が速く（最大64 kbps）、安定した状態でアクセスできますが、市販のISDNのターミナルアダプタカードが必要です。

ご注意

アクセスしようとしているプロバイダがISDNに対応しているかどうかをあらかじめ確認しておいてください。プロバイダによっては、通常のアナログ接続用とISDN接続用で異なる電話番号を用意していることがあります。

デジタル携帯電話を使って接続する

デジタル携帯電話が使えるところではどこからでも、また移動中でもアクセスできますが、携帯電話にあわせた接続キットが必要です。

ご注意

接続キットや接続のしかたについて詳しくは、お使いのデジタル携帯電話の電話会社にお問い合わせください。

PHSを使って接続する

通信速度が速く、PHSが使えるところではどこからでもアクセスできますが、PHSにあわせた接続キットが必要です。また、PIAFS（ピアフ）方式で接続するときは、契約しているプロバイダなどがPIAFSに対応している必要があります。

ご注意

- 接続キットや接続のしかたについて詳しくは、電話会社にお問い合わせください。本機のPCカードスロットに直接装着できるPHSもあります。
- PIAFS方式でアクセスするときは、接続しようとしている電話番号がPIAFS方式に対応しているかどうかをあらかじめ確認しておいてください。

通信を終了する

次の2つの方法があります。使用するソフトウェアにあわせて使い分けてください。

- デスクトップ画面右下のタスクトレイにあるを右クリックしてポップアップメニューを表示させ、［切断］を選ぶ。
- 通信用ソフトウェアで、通信を終了するコマンドを実行する。

ジョグダイヤルにソフトウェアを登録する

本機に付属の「VAIO Action Setup」ソフトウェアを使って、ジョグダイヤルに新たにソフトウェアを登録したり削除できます。

1 **ジョグダイヤルウィンドウ上で右クリックして、［ジョグダイヤル　セットアップ（VAIO Action Setup）］をクリックする。**

「VAIO Action Setup」画面が表示されます。

- ジョグダイヤルウィンドウがデスクトップ画面上に表示されていない場合は、ジョグダイヤルを操作するか、デスクトップ画面右下のタスクトレイにある　または　をダブルクリックしてジョグダイヤルウィンドウを表示させてください。
- デスクトップ画面右下のタスクトレイにある　または　を右クリックしてポップアップメニューを表示させ、［ジョグダイヤル　セットアップ（VAIO Action Setup）］をクリックして「VAIO Action Setup」画面を表示させることもできます。

2 **画面左側の［ジョグダイヤル］をクリックする。**

ジョグダイヤルの設定画面が表示されます。

3 ［ソフトウェア一覧］タブをクリックする。

ジョグダイヤルに登録されているソフトウェアの一覧が表示されます。

4 ［新規作成］をクリックする。

「ソフトウェアの選択」画面が表示されます。

5 画面左側のボタンで設定方法を選び、画面右側の一覧から登録したいソフトウェアを選ぶ。

画面左側のボタンには、以下の設定方法が用意されています。

- おすすめの設定：ソニー製のソフトウェアなどが表示されます。
- お気に入り：Microsoft Internet Explorerに登録してある「お気に入り」が表示されます。
- プログラムファイルから：［スタート］メニューの［プログラム］にあるソフトウェアが表示されます。
- すべてのファイルから：本機の内容（ファイルやフォルダ）がツリー表示されます。
- ドラッグ&ドロップ：他のウィンドウから好みのソフトウェアをドラッグアンドドロップ（57ページ）して設定できます。

6 ［次へ］をクリックする。

「ソフトウェア名の確認」画面が表示されます。

7 設定内容を確認し、［次へ］をクリックする。

「設定名の入力」画面が表示されます。

8 「設定名」と「詳細情報」を確認または入力し、［完了］をクリックする。

ジョグダイヤルウィンドウ内のソフトウェアの順番を変えるには

「ジョグダイヤルにソフトウェアを登録する」（103ページ）の手順1と2を行い、ソフトウェアの一覧でソフトウェアをドラッグアンドドロップして順番を並べかえ、［適用］をクリックします。

ジョグダイヤルからソフトウェアを削除するには

1 「ジョグダイヤルにソフトウェアを登録する」（103ページ）の手順1と2を行う。

ジョグダイヤルに登録されているソフトウェアの一覧が表示されます。

2 削除したいソフトウェアを選んでから［削除］をクリックする。

確認画面が表示されます。

3 ［OK］をクリックする。

ジョグダイヤルの設定をする

ジョグダイヤルの回転方向や、ジョグダイヤルを操作するときの効果音などを設定できます。

1 ジョグダイヤルウィンドウ上で右クリックして、[ジョグダイヤルセットアップ(VAIO Action Setup)]をクリックする。

「VAIO Action Setup」画面が表示されます。

2 画面左側の[ジョグダイヤル]をクリックする。

- **ジョグダイヤルの回転方向を設定するには**

  [詳細設定 1]タブをクリックします。

  ガイド状態およびリストビュー状態のときに、ジョグダイヤルを上下方向に回したときのウィンドウの動作を設定します。

- **一定時間後に自動的にジョグダイヤルウィンドウが閉じるよう設定するには**

  [詳細設定 2]タブをクリックします。

  「ジョグダイヤルを使用中だけ表示する。」をチェックしてから、「表示時間」を設定します。設定した時間が経過すると、自動的にジョグダイヤルウィンドウが閉じ、ジョグダイヤルを操作すると再び表示されます。

  「ジョグダイヤルを使用中だけ表示する。」のチェックをはずすと、ジョグダイヤルウィンドウは常に表示されます(工場出荷時の設定)。

• ジョグダイヤルを操作するときの効果音を設定するには

[サウンド設定] タブをクリックします。

[参照] ボタンをクリックしてWAVEファイルを選択し、好みの効果音に設定できます。また、自分で録音した音声などのWAVEファイルを効果音に設定することもできます。

さらに、「回転時に／押したときに効果音を使用する」のチェックをはずすことで、効果音が出ないように設定することもできます。

ジョグダイヤルでスクリーンセーバーを操作する

あらかじめジョグダイヤルに登録したパスワードを使って、スクリーンセーバーを解除することができます。

ジョグダイヤルにパスワードを登録するには

1 [スタート] ボタンをクリックして [設定] にポインタを合わせ、[コントロール パネル] をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 [画面] アイコンをダブルクリックする。

「画面のプロパティ」画面が表示されます。

3 [スクリーン セーバー] タブをクリックする。

4 「スクリーン セーバー」ドロップダウンリストから「JogScrLock」を選んでクリックする。

ここをクリックします。

5 **［設定］をクリックする。**

「JogDial Screen Lock for VAIO」画面が表示されます。

6 **［スクリーンロックのパスワードを設定する］をクリックする。**

「ジョグダイヤルでパスワード設定」画面が表示されます。

7 **ジョグダイヤルを押すか、または回してジョグダイヤルウィンドウを表示させ、［パスワード設定］になっていることを確認して、ジョグダイヤルを押す。**

8 **ジョグダイヤルを回してパスワードを設定し、ジョグダイヤルを押す。**

次のページにつづく

確認のために、もう1度同じパスワードを入力してから、ジョグダイヤルを押してください。
緊急回避用のパスワードを入力する画面が表示されます。

9 **キーボードを使ってパスワードを2回入力し、［OK］をクリックする。**
手順4の画面に戻ります。

10 **［パスワードによる保護］をクリックしてチェックし、［OK］をクリックする。**

登録したパスワードを使ってスクリーンセーバーを解除するには

ジョグダイヤルを回して設定したパスワードを入力し、ジョグダイヤルを押します。
間違ったパスワードを3回入力すると、「緊急回避用パスワード」画面が表示され、キーボードを使ってパスワードを入力して解除できます。
また、109ページの手順5の画面で、「動作中の［Ctrl］+［Alt］+［Delete］による強制終了を有効にできます」の「強制終了できるようにする」のチェックボックスにチェックしておくと、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押すことで、スクリーンセーバーを解除できます。

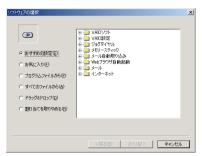
「VAIO Action Setup」で好みのソフトウェアを自動的に起動する

好みのソフトウェアを自動的に起動する（PPK機能）

電源を切った状態や省電力動作モード時にジョグダイヤルを押すだけで、好みのソフトウェアを起動したり、自動的に電子メールを取り込むことができます。

1 **ジョグダイヤルウィンドウ上で右クリックして、[ジョグダイヤルセットアップ（VAIO Action Setup）] をクリックする。**
「VAIO Action Setup」画面が表示されます。

2 **画面左側の［ジョグダイヤル］をクリックする。**
ジョグダイヤルの設定画面が表示されます。

3 **［PPK設定］タブをクリックする。**

次のページにつづく

4 をクリックする。

「ソフトウェアの選択」画面が表示されます。

5 画面左側のボタンで設定方法を選び、画面右側の一覧から登録したいソフトウェアを選ぶ。

画面左側のボタンには、以下の設定方法が用意されています。

- おすすめの設定：ソニー製のソフトウェアなどが表示されます。
- お気に入り：Microsoft Internet Explorerに登録してある「お気に入り」が表示されます。
- プログラムファイルから：[スタート] メニューの [プログラム] にあるソフトウェアが表示されます。
- すべてのファイルから：本機の内容（ファイルやフォルダ）がツリー表示されます。
- ドラッグ&ドロップ：他のウィンドウから好みのソフトウェアをドラッグアンドドロップ（57ページ）して設定できます。

6 [次へ] をクリックする。

「ソフトウェア名の確認」画面が表示されます。

7 **設定内容を確認し、[次へ] をクリックする。**

「設定名の入力」画面が表示されます。

8 **「設定名」と「詳細情報」を確認または入力し、[完了] をクリックする。**

111ページの手順3の画面にある「ソフトウェア起動前のメッセージの表示時間」で時間を設定すると、ソフトウェアが起動する前に、設定時間だけメッセージダイアログボックスが表示されます。

割り当てたソフトウェアを起動するには

電源を切った状態や省電力動作モード時にジョグダイヤルを押します。

ソフトウェアの割り当てを変更するには

「好みのソフトウェアを自動的に起動する（PPK機能）」（111ページ）の手順を行って、ソフトウェアを割り当て直します。

ソフトウェアの割り当てを無効にするには

1 **「好みのソフトウェアを自動的に起動する（PPK機能）」（111ページ）の手順1〜4を行う。**

「ソフトウェアの選択」画面が表示されます。

2 **画面左側の [割り当てを取りやめる] をクリックする。**

3 **画面右側に表示された [現在割り当てられている設定を削除します。] をクリックし、[完了] をクリックする。**

タイマーで決まった時刻にソフトウェアを起動する

タイマーを使うと好きな時刻に好みのソフトウェアを起動できます。

1 **ジョグダイヤルウィンドウ上で右クリックして、[ジョグダイヤルセットアップ（VAIO Action Setup）]をクリックする。**

「VAIO Action Setup」画面が表示されます。

2 **画面左側の［タイマー］をクリックする。**

タイマーの設定画面が表示されます。

3 **［タイマー設定］タブをクリックする。**

4 **をクリックする。**

「ソフトウェアの選択」画面が表示されます。

5 画面左側の「プログラムファイルから」を選び、画面右側の一覧から好みのソフトウェアを選び、[次へ] をクリックする。

「ソフトウェア名の確認」画面が表示されます。

6 設定内容を確認し、[次へ] をクリックする。

「タイマー起動の設定」画面が表示されます。

「日付と時刻を指定して一回だけ起動する」を選んだときは設定した1回のみ、「曜日と時刻を指定して繰り返し起動する」を選んだときは、毎週決まった時間にタイマーが起動します。

7 [次へ] をクリックする。

タイマー起動時刻を設定します。

手順6で「日付と時刻を指定して一回だけ起動する」を選んだときは日付と時刻を、「曜日と時刻を指定して繰り返し起動する」を選んだときは曜日と時刻を設定します。

8 [次へ] をクリックする。

「タイマー起動後の処理」画面が表示されます。

自動的にソフトウェアが起動したあと、一定時間後に省電力動作モードにしたいときは、[タイマー起動後の処理を設定する。] をクリックして、時間と省電力動作モードを指定します。

9 [次へ] をクリックする。

「設定名の入力」画面が表示されます。

10 「設定名」と「詳細情報」を確認または入力し、[完了] をクリックする。

💡

- タイマー起動後、実際にソフトウェアが動作を始めるまでに時間がかかることがあります。どれくらい時間がかかるかを、あらかじめ確認しておくことをおすすめします。
- 114ページの手順2の画面で［詳細設定］タブをクリックし、「ソフトウェア起動前のメッセージの表示時間」で時間を設定すると、ソフトウェアが起動する前に、設定時間だけメッセージダイアログボックスが表示されます。

ご注意

動作しているプログラムやデバイスによっては、省電力動作モードに移行できないことがあります。

ソフトウェアの割り当てを変更するには

「タイマーで決まった時刻にソフトウェアを起動する」（114ページ）の手順を行って、ソフトウェアを割り当て直します。

タイマー設定時刻などを変更するには

1 「タイマーで決まった時刻にソフトウェアを起動する」（114ページ）の手順1と2を行う。

タイマーの設定画面が表示されます。

2 ［設定］をクリックする。

「タイマー起動の設定」画面が表示されるので、タイマーの設定時刻を変更します。

3 ［次へ］をクリックする。

「タイマー起動後の処理」画面が表示されるので、タイマーが起動したあとの設定を変更します。

4 ［完了］をクリックする。

タイマー設定を無効にするには

1 「タイマーで決まった時刻にソフトウェアを起動する」（114ページ）の手順1と2を行う。

タイマーの設定画面が表示されます。

2 ［解除］をクリックする。

3 ［閉じる］をクリックする。

メモリースティックランチャーの設定を変更する

工場出荷時の設定では、本機の （メモリースティック）スロットに“メモリースティック”を挿入すると自動的に「VisualFlow」ソフトウェアが起動するよう設定されています。
下記の手順でメモリースティックランチャーの設定を変更し、他のソフトウェアを起動するよう設定できます。

1 ジョグダイヤルウィンドウ上で右クリックして、［ジョグダイヤルセットアップ（VAIO Action Setup）］をクリックする。

「VAIO Action Setup」画面が表示されます。

2 画面左側の［メモリースティック］をクリックする。

メモリースティックの設定画面が表示されます。

3 ［ソフトウェア一覧］タブをクリックする。

4 をクリックする。

「ソフトウェアの選択」画面が表示されます。

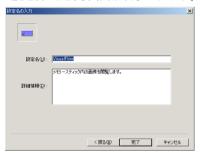
次のページにつづく

5 画面左側のボタンで設定方法を選び、画面右側の一覧から登録したいソフトウェアを選ぶ。

画面左側のボタンには、以下の設定方法が用意されています。

- おすすめの設定：ソニー製のソフトウェアなどが表示されます。
- お気に入り：Microsoft Internet Explorerに登録してある「お気に入り」が表示されます。
- プログラムファイルから：［スタート］メニューの［プログラム］にあるソフトウェアが表示されます。
- すべてのファイルから：本機の内容（ファイルやフォルダ）がツリー表示されます。
- ドラッグ&ドロップ：他のウィンドウから好みのソフトウェアをドラッグアンドドロップ（57ページ）して設定できます。

6 ［次へ］をクリックする。

「設定名の入力」画面が表示されます。

7 「設定名」と「詳細情報」を確認または入力し、［完了］をクリックする。

117ページの手順2の画面で［詳細設定］タブをクリックし、「ソフトウェア起動前のメッセージの表示時間」で時間を設定すると、ソフトウェアが起動する前に、設定時間だけメッセージダイアログボックスが表示されます。

メモリースティックランチャーを無効にするには

1 **「メモリースティックランチャーの設定を変更する」**（117ページ）**の手順**1**と**2**を行う。**
メモリースティックの設定画面が表示されます。

2 **［詳細設定］タブをクリックする。**

3 **「メモリースティックランチャー機能を有効にする」の［本機搭載のメモリースティックスロット］をクリックして、チェックをはずす。**

ご注意

省電力動作モードで「スーパースタミナ」モードを選んでいるときは、“ メモリースティック ”は使用できません。「スーパースタミナ」モード以外のプロファイルを選んでください。詳しくは、「本機の動作モードを設定する（プロファイル）」（185ページ）をご覧ください。

制限事項について

電話回線を使用するソフトウェアを起動する場合は

通信状態やサーバーの状態によっては、正常に回線を切断できないことがあります。プログラム実行中は実行状態を監視して、異常が発見された場合には手動で回線を切断してください。

電話回線自動接続機能を持つ電子メールソフトウェアを使うときは

電子メールソフトウェアには、「Microsoft Outlook Express」などの電話回線に自動的に接続する機能を持つものもあります。
このような機能を持った電子メールソフトウェアを使用するときは、「VAIO Action Setup」ソフトウェアのダイヤルアップ機能（スクリプトなど）を使ってインターネットに接続するよりも、電子メールソフトウェアの機能を使ってインターネットに接続したほうが、接続不良などの異常事態が発生したときに、安定して回線を切断できる可能性が高くなります。
「VAIO Action Setup」ソフトウェアの簡易設定では、電子メールソフトウェアなどの起動前にダイヤルアップネットワークに自動的に接続します。そのため、電子メールソフトウェア側でダイヤルアップできるときは、電子メールソフトウェア側でダイヤルアップするように設定を変更するようおすすめします。

CyberCodeを体験する

CyberCodeを本機の内蔵カメラ（MOTION EYE）の前でかざすことでソフトウェアを起動させたり（124ページ）、ホームページを表示させたり、音声や画像でメッセージを作ったりすることができます。
本書裏表紙の内側にあるCyberCodeカードを内蔵カメラ（MOTION EYE）にかざしてCyberCodeを体験してみましょう。
ここではCyberCode取扱説明カードを使って、CyberCodeの特長や使いかたを説明します。

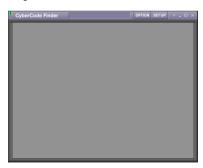
ご注意

- 内蔵カメラ（MOTION EYE）のレンズに触らないでください。
- 電源の入／切にかかわらず、内蔵カメラ（MOTION EYE）を太陽に向けないでください。内蔵カメラ（MOTION EYE）の故障の原因となります。
- 内蔵カメラ（MOTION EYE）は取りはずせません。
- 「CyberCode Finder」は、内蔵カメラ（MOTION EYE）を使う他のソフトウェア（URecSight、Smart Captureなど）と同時に使用することはできません。「CyberCode Finder」を使うときは、内蔵カメラ（MOTION EYE）を使用する他のソフトウェアを終了してください。

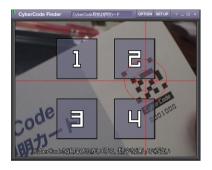
1　［スタート］ボタンをクリックして［VAIO］にポインタを合わせ、［CyberCode Finder］をクリックする。

「CyberCode Finder」画面が表示されます。

次のページにつづく

操作編（PCスタイル）

2 CyberCode取扱説明カードのCyberCodeをカメラにかざす。

メニュー画面が表示されます。

CyberCode取扱説明カード

3 見たい内容の数字にCyberCodeが映るように、位置を合わせる。

ここでは「1」を選んでみます。

「1」の内容が再生されます。

各数字の内容は以下のとおりです。

1：CyberCodeのしくみ

2：旅でも活躍CyberCode

3：CyberCodeで写真を整理

4：CyberCodeでパーティーも楽しく！

「CyberCode Finder」を終了するには

画面右上の ☒ をクリックします。

内蔵カメラ（MOTION EYE）で
ソフトウェアを起動する

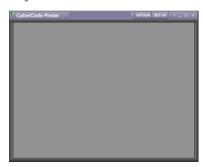
付属のCyberCodeシールを使って、よく使うソフトウェアやホームページなどを記憶させておくと、記憶させたCyberCodeシールを内蔵カメラ（MOTION EYE）にかざすだけで起動させることができます。

ご注意

- 内蔵カメラ（MOTION EYE）のレンズに触らないでください。
- 電源の入／切にかかわらず、内蔵カメラ（MOTION EYE）を太陽に向けないでください。内蔵カメラ（MOTION EYE）の故障の原因となります。
- 内蔵カメラ（MOTION EYE）は取りはずせません。
- 「CyberCode Finder」は、内蔵カメラ（MOTION EYE）を使う他のソフトウェア（URecSight、Smart Captureなど）と同時に使用することはできません。「CyberCode Finder」を使うときは、内蔵カメラ（MOTION EYE）を使用する他のソフトウェアを終了してください。

CyberCodeにソフトウェアやホームページを記憶させるには

1 **［スタート］ボタンをクリックして［VAIO］にポインタを合わせ、［CyberCode Finder］をクリックする。**

「CyberCode Finder」画面が表示されます。

2 **何も登録していないCyberCodeシールを内蔵カメラ（MOTION EYE）にかざす。**

「CyberCode Setup」ソフトウェアが起動し、内蔵カメラ（MOTION EYE）にかざしたCyberCodeが表示されます。

3 **「タイトル」入力欄にタイトルを、「ファイル名」入力欄に登録するファイル名をそれぞれ入力したあと、［OK］または［適用］をクリックする。**

表示されたCyberCodeに、選んだファイルが登録されます。

［最近使ったファイルを参照］をクリックして、「最近使ったファイル」リストからファイルを選ぶこともできます。

CyberCodeに登録したソフトウェアやホームページなどを起動するには

「CyberCode Finder」を起動して、登録したCyberCodeシールを内蔵カメラ（MOTION EYE）にかざします。

CyberCodeシールの登録内容を変更したり、取り消すには

Ctrlキーを押しながら、登録済みCyberCodeシールを内蔵カメラ（MOTION EYE）にかざします。「CyberCode Setup」が起動して、登録内容の変更や削除を行うことができます。

CyberCodeのID番号は0～1048575番まで使用できます。

CyberCode 3Dカードを使うには

この取扱説明書には、裏表紙の内側にCyberCode3Dカードと CyberCodeサーキットが印刷されています。

CyberCode3Dカードを内蔵カメラ（MOTION EYE）にかざすと、3次元のキャラクターが表示され、カードの角度を変えるとキャラクターもその向きに回転して、いろいろな角度から楽しむことができます。

CyberCodeサーキット中央のCyberCodeを内蔵カメラ（MOTION EYE）にかざすと、3次元のレーシングカーがサーキット上を走るのを楽しむことができます。

ご注意

- CyberCodeが斜めになったり、ぶれたりしないように、しっかり固定して持ち、まっすぐ内蔵カメラ（MOTION EYE）に向けて映してください。
- CyberCodeが内蔵カメラ（MOTION EYE）から遠すぎたり、内蔵カメラ（MOTION EYE）のピントがずれたりすると、登録したソフトウェアやホームページなどを起動させることができないことがあります。適度な距離（10 cm程度）をおいて、内蔵カメラ（MOTION EYE）に映してください。
- 逆光や反射でCyberCodeがファインダに正しく映らない場合は、起動しにくいことがあります。
- 内蔵カメラ（MOTION EYE）を使う他のソフトウェア（URecSight、Smart Captureなど）をCyberCodeに登録し、起動させることはできません。
- CyberCode 3Dカードを内蔵カメラ（MOTION EYE）にまっすぐ向けたまま、持ち続けてください。CyberCode 3Dカードを内蔵カメラ（MOTION EYE）から遠ざけると、メッセージが途中で終了します。

音楽CD／ビデオCDを再生する

本機に付属の「Media Bar」ソフトウェアを使って、音楽CDやビデオCDの再生を楽しむことができます。
本機で音楽CDなどの再生を楽しむには、下記のいずれかの専用ドライブが必要です。接続のしかたや使いかたについて詳しくは、「CD-ROMドライブをつなぐ」（95ページ）およびお使いのドライブに付属の取扱説明書をご覧ください。

- CD-ROMドライブ PCGA-CD51 Series
- CD-RWドライブ PCGA-CDRW5_ Series
- DVD-ROMドライブ PCGA-DVD51 Series

音楽CDを再生して音楽を聞きながら、他のソフトウェアを操作することもできます（一部ソフトウェアを除きます）。

1 デスクトップ画面上の［AV再生の設定］アイコンをダブルクリックする。

「Media Bar」を設定するための画面が表示されます。

2 画面の指示に従って必要な項目を設定する。

設定が終了すると、「Media Bar Launcher」の操作画面が表示されます。

3 再生する。

「Media Bar Launcher」の使いかたについては、「Media Bar」のオンラインマニュアルまたはヘルプをご覧ください。

一度上記の手順に従って設定を終了すると、「AV再生の設定」アイコンは表示されず、2回目以降はすぐに再生を楽しむことができます。
再度設定を行いたい場合は、次のように操作します。

1［スタート］ボタンをクリックして［プログラム］にポインタを合わせる。

2［Media Bar］から［AV再生の設定］をクリックする。

次のページにつづく

PCGA-CD5で音楽CDを聞くには

別売りのCD-ROMドライブPCGA-CD5をお使いの場合、本機の内蔵スピーカーから音は出ません。音楽CDを聞くには、前ページの手順を行う前に、以下の手順に従って設定してください。

1 CD-ROM**ドライブを本機につなぐ。**
2 **ヘッドホンや外部スピーカーなどを**CD-ROM**ドライブにつなぐ。**
3 **［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロール パネル］をクリックする。**
4 **［システム］アイコンをダブルクリックする。**
   探しているアイコンが見つからない場合は、［すべてのコントロール パネルのオプションを表示する。］をクリックしてください。
5 **「デバイス マネージャ」タブの**［CD-ROM］**をダブルクリックする。**
6 **「**CD-ROM**」の下に表示されたお使いのドライブ名をダブルクリックする。**
7 **［プロパティ］タブをクリックし、「この**CD-ROM**デバイスでデジタル音楽**CD**を使用可能にする」のチェックボックスをクリックしてチェックをはずす。**

マイクやオーディオ機器から録音する

本機の🎤（マイク）／⊸（ライン）入力コネクタは、ひとつのコネクタでマイク入力（ステレオ、プラグインパワー方式）とライン入力（ステレオ）の両方に対応しています。このコネクタにマイクやオーディオ機器をつなぐことにより、さまざまなアナログ録音を楽しむことができます。

ステレオ／モノラル録音を切り替える

内蔵ステレオマイクや、本機に接続した外部マイクから録音する音声のモノラル／ステレオを切り替えることができます。
本機は工場出荷時には、モノラル録音されるように設定されていますが、以下の操作でステレオ録音できるようになります。

1 デスクトップ画面右下のタスクトレイにある 🔊 をダブルクリックする。
「Volume Control」画面が表示されます。

2 ［オプション］メニューの［プロパティ］をクリックする。
「プロパティ」画面が表示されます。

3 「音量の調整」の［録音］を選び、［OK］をクリックする。
「Recording Control」画面が表示されます。

4 ［Stereo Mic］の［選択］をクリックしてチェックし、［オプション］メニューの［ボリュームコントロールの終了］をクリックする。

ご注意

上記手順1の「Volume Control」画面で「Microphone」や「Line」の調節をすると、スピーカーやヘッドホンから聞こえる音量を調節することはできますが、録音には反映されません。録音レベルなどを調節する際は、必ず上記手順3の「Recording Control」画面で行ってください。

マイク入力とライン入力を切り替える

1 デスクトップ画面右下のタスクトレイにある をダブルクリックする。

「Volume Control」画面が表示されます。

2 ［オプション］メニューの［プロパティ］をクリックする。

「プロパティ」画面が表示されます。

3 「音量の調整」から［録音］を選び、［OK］をクリックする。

「Recording Control」画面が表示されます。

4 「Microphone」または「Line」の［選択］をクリックしてチェックし、［オプション］メニューの［ボリュームコントロールの終了］をクリックする。

マイクからの音を録音したり、音声認識ソフトウェアなどでマイクを使う場合は、「Microphone」を選択します。

オーディオ機器などからの音を録音する場合は、「Line」を選択します。

録音レベルを調節するには、音量スライダを上下に動かしてください。

ご注意

上記手順1の「Volume Control」画面で「Microphone」や「Line」の調節をすると、スピーカーやヘッドホンから聞こえる音量を調節することはできますが、録音には反映されません。録音レベルなどを調節する際は、必ず上記手順3の「Recording Control」画面で行ってください。

「Recording Control」画面で「Microphone」や「Line」が表示されないときは

1 ［オプション］メニューの［プロパティ］をクリックする。

2 「表示するコントロール」から表示させたい項目をクリックする。

3 ［OK］をクリックする。

ご注意

「マイク入力とライン入力を切り替える」の手順1の「Volume Control」画面で「Microphone」や「Line」の調節をすると、スピーカーやヘッドホンから聞こえる音量を調節することはできますが、録音には反映されません。録音レベルなどを調節する際は、必ず「マイク入力とライン入力を切り替える」の手順3の「Recording Control」画面で行ってください。

マイクの音量が小さいときは

下記の設定を行うと、マイク音量が10倍に増幅されます。

1 デスクトップ画面右下のタスクトレイにある をダブルクリックする。

「Microphone」が表示されていない場合は、［オプション］メニューの［プロパティ］をクリックして、「表示するコントロール」画面から［Microphone］を選び、［OK］をクリックします。

2 ［オプション］メニューの［トーン調整］をクリックする。

「Microphone」画面に［トーン］が表示されます。

3 「Microphone」の［トーン］をクリックする。

「Microphone の詳細設定」画面が表示されます。

4 「そのほかの調整」の［Mic 20dB］をクリックして、［閉じる］をクリックする。

再生音量を調節する

1 デスクトップ画面右下のタスクトレイにある 🔈 をダブルクリックする。

「Volume Control」画面が表示されます。

2 各サウンドデバイスの再生音量を調節する。

表示されないサウンドデバイスがある場合は、

① ［オプション］メニューの［プロパティ］をクリックする。

②「音量の調整」の［再生］を選ぶ。

③「表示するコントロール」から項目を選んでチェックする。

④ ［OK］をクリックする。

サウンドデバイス	機能
Volume Control	スピーカーやヘッドホンから聞こえる音の全体の調整をします。
WAVE	「.wav」ファイルの再生時やWindowsの各種効果音の調整をします。
PC Beep	PCカードを抜き差しするときなどに聞こえるビープ音を調整します。
Telephony[1)	モデムや電話回線の音を調整します。
Microphone[2)	内蔵ステレオマイクや、本機に接続した外部マイクの音を調整します。
Line	本機に接続したオーディオ機器の音量を調整します。
CD Audio	CD-ROMドライブ PCGA-CD51 Series などによるCDのデジタル再生音量を調整します。
Midi Out[3)	MIDIの音量を調整します。
3D Wide	効果音に広がりをもたせます（ゲームなどに適しています）。

1) 回線の音はデジタル化しているので、会話の聞き取りには適しません。

2) マイクにエコーをかける場合は下記の手順で操作します。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロール パネル］をクリックする。

2 ［ヤマハ DS-XG設定］アイコンをダブルクリックする。

探しているアイコンが見つからない場合は、［すべてのコントロール パネルのオプションを表示する。］をクリックしてください。

3 ［エコー］タブをクリックする。

4「有効」をクリックし、好みに合わせて「遅延時間」などを設定する。

5 ［OK］をクリックする。

ご注意

録音時や音声を扱うソフトウェアでマイクエコーを使用する場合、機能の一部に制限があります。

3) MIDI音源に効果をかけるには、下記の手順で操作します。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロール パネル］をクリックする。

2 ［ヤマハ DS-XG設定］アイコンをダブルクリックする。

探しているアイコンが見つからない場合は、［すべてのコントロール パネルのオプションを表示する。］をクリックしてください。

3 ［シンセ］タブをクリックする。

4 好みのエフェクトを選び、［OK］をクリックする。

録音音量を調節する

1 **デスクトップ画面右下のタスクトレイにある 🔈 をダブルクリックする。**

「Volume Control」画面が表示されます。

2 **［オプション］メニューの［プロパティ］をクリックする。**

「プロパティ」画面が表示されます。

3 **「音量の調整」の［録音］を選び、［OK］をクリックする。**

「Recording Control」画面が表示されます。

4 **各サウンドデバイスの録音音量を調節する。**

表示されないサウンドデバイスがある場合は、

①［オプション］メニューの［プロパティ］をクリックする。
②「音量の調整」の［録音］を選ぶ。
③「表示するコントロール」から項目を選んでチェックする。
④［OK］をクリックする。

サウンドデバイス	機能
Telephony	モデムや電話回線の音を調整します。
Microphone	内蔵ステレオマイクや、本機に接続した外部マイクの音を調整します。入力される音はモノラルになります。
Line	本機に接続したオーディオ機器の音量を調整します。
CD Audio	CD-ROMドライブ PCGA-CD51 Series などによるCDのデジタル再生音量を調整します。
Stereo Out	「Volume Control」で調整し出力されるすべての音を調整します（ただし、メガベース機能は働きません）。
Stereo Mic	内蔵ステレオマイクや、本機に接続した外部マイクの音を調整します。入力される音はステレオになります。

操作編
（カメラシューティングスタイル）

カメラシューティングスタイルでこんなことができます

静止画や動画を撮影する

付属の「URecSight」ソフトウェアを使って、静止画や動画を撮影することができます。画像にエフェクト（特殊効果）を加えて撮影したり、動画を長時間撮影したりすることもできます。

画像を撮影しながらインターネット上にアップロードする

付属の「URecSight」ソフトウェアを使って、画像（静止画や動画）を撮影しながらインターネット上の「ImageStation」サービスにアップロードして保管することができます。
「ImageStation」について詳しくは、別冊の「インターネットで楽しむバイオGT & URecSight」をご覧ください。

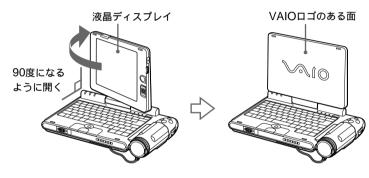
撮影している動画をネット上で配信する

付属の「URecSight」ソフトウェアを使って、CastaDriveに対応した「PercasTV」サービスを利用して現在撮影している動画をネット上で配信することができます。
「PercasTV」について詳しくは、別冊の「インターネットで楽しむバイオGT & URecSight」をご覧ください。

カメラシューティングスタイルにする

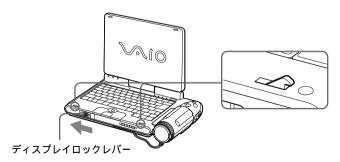
撮影のためには、本機をカメラシューティングスタイルにする必要があります。

1 ディスプレイパネルを左側に回し、VAIOロゴのある面が正面になるように裏返す。

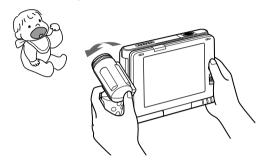
液晶ディスプレイに手が触れないようにしてください。また、ディスプレイパネルを回すときは、キーボードと液晶ディスプレイの角度が90度になるように開いてから回転してください。

ご注意

ディスプレイパネルを回すときは、キーボードと液晶ディスプレイの角度が90度になるようにしてください。ディスプレイパネルを斜めにして回すと、液晶ディスプレイとキーボードが接触して、本機に傷がついたり故障するおそれがあります。

2 ディスプレイロックレバーをLOCK側にずらしてツメを出す。

次のページにつづく

3 **液晶ディスプレイを上にして、ディスプレイパネルを閉じる。**

「カチッ」と音がするまで確実に閉じてください。

4 **両手で本機を持ち、レンズキャップをはずして内蔵カメラ（MOTION EYE）を下図のように被写体に向ける。**

手前側の被写体（自分など）を撮るときは

内蔵カメラ（MOTION EYE）を手前に向けます。

これで撮影する準備ができました。静止画や動画の撮影について詳しくは、「静止画を取り込む」（143ページ）または「動画を取り込む」（147ページ）をご覧ください。

レンズキャップを収納する

レンズキャップは、下図のようにレンズキャップホルダーに収納しておくと、邪魔になりません。

ご注意

- 内蔵カメラ（MOTION EYE）を使わないときは、必ずレンズキャップを内蔵カメラ（MOTION EYE）に取り付けておいてください。
- 撮影時以外は、本機はPCスタイルにしてください。

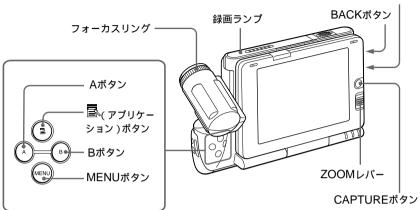
三脚を取り付ける

お手持ちの三脚に取り付けて撮影することもできます。

ご注意

- 三脚を取り付けたまま、本機を持ち歩かないでください。本機が落下して、故障の原因となります。
- 三脚は、ネジの長さが6.5mm未満のものをお使いください。ネジの長い三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。
- 取り付けるときは、本機が地面と水平になるように取り付けてください。本機が傾いていると転倒の原因となります。
- 本機の向きを調整するときは、三脚のハンドルおよび本機を手で支えて、本機が転倒しないようにしてください。
- 本機の内蔵カメラ（MOTION EYE）や液晶ディスプレイの角度を調整するときは、必ず本機を手で支えて行ってください。
- 本機のキーボードやポインティング・デバイスなどを操作するときは、必ず本機を手で支えて行ってください。
- 本機を取り付けた三脚が転倒しないよう、充分に大きい三脚をお使いください。

カメラシューティングスタイルで使用するボタン

カメラシューティングスタイルでは、下図のボタンなどを使います。

録画ランプ

動画を録画中に点灯（アンバー（赤褐色））します。

BACK**ボタン**

ひとつ前に選んでいた内容を表示したり、エフェクトのメニューをキャンセルします。

ジョグダイヤル

操作パネルのモードやエフェクトの種類を選びます。

CAPTURE**ボタン**

「URecSight」ソフトウェアを起動したり、画像を取り込んだりします。また、省電力動作モードのスタンバイ、休止状態のときに、元の状態に戻します。さらに電源オフ時には、パワーボタンとして、本機の電源を入れることもできます。

ZOOM**レバー**

画像の倍率を変えます。レバーを下にすると広角、上にすると望遠になります。

（アプリケーション）ボタン

現在選択されているメニューを表示させます。「URecSight」ではアプリケーションメニューを表示します。

Aボタン

「URecSight」など、Aボタンに対応したソフトウェアで使用します。

Bボタン

「URecSight」など、Bボタンに対応したソフトウェアで使用します。

フォーカスリング

画像のピントを合わせます。工場出荷時はオートフォーカスに設定されていますが、マニュアルに設定を変更したときに使います。（152ページ）

MENUボタン

システムメニューを表示します。システムメニューには以下の項目があります。

❏ **URecSight 撮影/ImageStation**

ジョグダイヤルを操作して、「URecSight」で静止画や動画を撮影したり、その画像を「ImageStation」サービスにアップロードすることができます。

「ImageStation」について詳しくは、別冊の「インターネットで楽しむバイオGT & URecSight」をご覧ください。

❏ **URecSight ライブ/CastaDrive**

ジョグダイヤルを操作して、「URecSight」で本機の内蔵カメラ（MOTION EYE）で撮影している動画を「PercasTV」サービスなどを利用してネット上で配信することができます。

「PercasTV」について詳しくは、別冊の「インターネットで楽しむバイオGT & URecSight」をご覧ください。

次のページにつづく

❑ **カメラ設定**

ジョグダイヤルを操作して、内蔵カメラ（MOTION EYE）の画質やモードの設定ができます。（151ページ）

❑ VAIO**設定**

- 録音設定

  ジョグダイヤルを回して本機の録音音量を調節することができます。ジョグダイヤルを押すと、調節した音量に設定されます。

その他の設定については、「ジョグダイヤルランチャーの操作」（61ページ）をご覧ください。

❑ **便利ツール**

- Window Switcher

  ジョグダイヤルを使って、アクティブ状態のウィンドウを変更できます。
- ダイヤルアップツール

  ジョグダイヤルを使って、ダイヤルアップ先を選択し、接続することができます。
- フォルダブラウザ

  ジョグダイヤルを使って、フォルダの中を閲覧（ブラウジング）することができます。
- [スタート] メニュー

  ジョグダイヤルを使って、[スタート] メニューの表示や [スタート] メニュー内の項目の選択／実行ができます。

❑ **手前のウィンドウを閉じる**

ジョグダイヤルを押すと、手前のウィンドウを閉じることができます。

❑ **スタンバイ**

ジョグダイヤルを操作して、本機の動作モードをスタンバイに変更することができます。（187ページ）

❑ **休止状態**

ジョグダイヤルを操作して、本機の動作モードを休止状態に変更することができます。（187ページ）

❑ Windows **の終了**

ジョグダイヤルを押して、Windowsを終了することができます。

静止画を取り込む

「URecSight」ソフトウェアを使って、内蔵カメラ（MOTION EYE）で静止画を撮ることができます。

ご注意

- 内蔵カメラ（MOTION EYE）のレンズに触らないでください。
- レンズが汚れている場合は、やわらかい布などで汚れを拭き取ってください。汚れたままだと、取り込む画像が劣化します。
- 電源の入／切にかかわらず、内蔵カメラ（MOTION EYE）を太陽に向けないでください。内蔵カメラ（MOTION EYE）の故障の原因となります。
- 内蔵カメラ（MOTION EYE）は取りはずせません。
- 「URecSight」は、内蔵カメラ（MOTION EYE）を使う他のソフトウェア（Smart Capture、CyberCode Finderなど）と同時に使用することはできません。「URecSight」を使うときは、内蔵カメラ（MOTION EYE）を使用する他のソフトウェアを終了してください。
- 本機から「Smart Capture」をアンインストール（削除）すると、「URecSight」は正常に使用できなくなります。「Smart Capture」をアンインストールしないでください。

重要な記録をする際は、実際に画像を取り込む前にためし撮りをし、正常に動作するか確認することをおすすめします。万一、本機の不具合などにより画像が取り込めなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

1 **本機をカメラシューティングスタイルにする。**
詳しくは、137ページをご覧ください。

2 **CAPTUREボタンを押し込む。**
「URecSight」が起動し、ファインダウィンドウが表示されます。

次のページにつづく

3 ジョグダイヤルを回して「Function」の［撮る］を選び、ジョグダイヤルを押す。

4 ジョグダイヤルを回して「Camera」の［STILL］を選び、ジョグダイヤルを押す。

5 必要に応じて撮影の設定をする。

設定について詳しくは、「URecSight」のヘルプをご覧ください。
ヘルプを見るには、（アプリケーション）ボタンを押してメニューを表示させ、ジョグダイヤルで［ヘルプ］を選んでからジョグダイヤルを押します。

6 ZOOMレバーで倍率を合わせる。

レバーを下にすると広角、上にすると望遠になります。

7 **画像にエフェクトを加えるときは、Bボタンを押してメニューを表示させ、ジョグダイヤルを回してエフェクトの種類を選び、ジョグダイヤルを押す。**

操作について詳しくは、「URecSight」のヘルプをご覧ください。
ヘルプを見るには、（アプリケーション）ボタンを押してメニューを表示させ、ジョグダイヤルで［ヘルプ］を選んでからジョグダイヤルを押します。

8 CAPTURE**ボタンを軽く押す。**

画像が一時的に静止します。
画像を選び直すときは、CAPTUREボタンを離してから選び、もう1度軽く押します。

9 CAPTURE**ボタンを押し込む。**

画像が取り込まれ、画面右上のプレビュー画面に静止画が表示されます。

取り込まれた静止画

- 手前側（自分など）撮影時、ファインダウィンドウに映る画像は鏡のように映りますが、取り込まれた画像は左右正しくなります。
- 「URecSight」で取り込んで表示される静止画は、「URecSight」を終了したり、本機の電源を切った後も、あらかじめ設定された「静止画像記録フォルダ」に保存されています。詳しくは、「URecSight」のヘルプをご覧ください。ヘルプを見るには、（アプリケーション）ボタンを押してメニューを表示させ、ジョグダイヤルで［ヘルプ］を選んでからジョグダイヤルを押します。

ご注意

- 「URecSight」で取り込める静止画のサイズは、640×480、320×240、160×120、80×60 の4種類です。
- 動きの速い被写体をファインダウィンドウに表示させると画面に水平方向に段差のようなものが発生する場合がありますが、これは故障ではありません。

撮影した静止画の一覧を見るには

「Function」の［見る・送る］を選び、ジョグダイヤルを押します。
詳しくは、「URecSight」のヘルプをご覧ください。ヘルプを見るには、（アプリケーション）ボタンを押してメニューを表示させ、ジョグダイヤルで［ヘルプ］を選んでからジョグダイヤルを押します。

「URecSight」を終了するには

（アプリケーション）ボタンを押してメニューを表示させ、ジョグダイヤルで［URecSightの終了］を選んでからジョグダイヤルを押します。

動画を取り込む

「URecSight」ソフトウェアを使って、内蔵カメラ（MOTION EYE）で動画を撮ることができます。

ご注意

- 内蔵カメラ（MOTION EYE）のレンズに触らないでください。
- レンズが汚れている場合は、やわらかい布などで汚れを拭き取ってください。汚れたままだと、取り込む画像が劣化します。
- 電源の入／切にかかわらず、内蔵カメラ（MOTION EYE）を太陽に向けないでください。内蔵カメラ（MOTION EYE）の故障の原因となります。
- 内蔵カメラ（MOTION EYE）は取りはずせません。
- 「URecSight」は、内蔵カメラ（MOTION EYE）を使う他のソフトウェア（Smart Capture、CyberCode Finderなど）と同時に使用することはできません。「URecSight」を使うときは、内蔵カメラ（MOTION EYE）を使用する他のソフトウェアを終了してください。
- 本機から「Smart Capture」をアンインストール（削除）すると、「URecSight」は正常に使用できなくなります。「Smart Capture」をアンインストールしないでください。

重要な記録をする際は、実際に画像を取り込む前にためし撮りをし、正常に動作するか確認することをおすすめします。万一、本機の不具合などにより画像が取り込めなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

1　本機をカメラシューティングスタイルにする。

詳しくは、137ページをご覧ください。

2　CAPTUREボタンを押し込む。

「URecSight」が起動し、ファインダウィンドウが表示されます。

3 ジョグダイヤルを回して「Function」の［撮る］を選び、ジョグダイヤルを押す。

4 ジョグダイヤルを回して「Camera」の［NET MOVIE］（ネットムービー）または［LONG MOVIE］（長時間）を選び、ジョグダイヤルを押す。

- NET MOVIE
  – 最大99分間の動画を録画できます。
  – 録画した動画のデータはインターネット上の「ImageStation」サービスにアップロードできます。
  – 録画するときにエフェクトを加えることができます。
- LONG MOVIE
  – 録画時にハードウェアを使って圧縮するので、高解像度、高フレームレートでの録画が行えます。
  – 録画時間の制限はありません。ディスクの空き容量に応じて最大1Gバイトまでのファイル容量の動画を録画できます。

5 必要に応じて撮影の設定をする。

画面サイズや画質などを設定できます。設定について詳しくは、「URecSight」のヘルプをご覧ください。
ヘルプを見るには、（アプリケーション）ボタンを押してメニューを表示させ、ジョグダイヤルで［ヘルプ］を選んでからジョグダイヤルを押します。

6 ZOOM**レバーで倍率を合わせる。**

レバーを下にすると広角、上にすると望遠になります。

7 **画像にエフェクトを加えるときは、**B**ボタンを押してメニューを表示させ、ジョグダイヤルを回してエフェクトの種類を選び、ジョグダイヤルを押す。**（NET MOVIE**のみ）**

操作について詳しくは、「URecSight」のヘルプをご覧ください。

ヘルプを見るには、（アプリケーション）ボタンを押してメニューを表示させ、ジョグダイヤルで［ヘルプ］を選んでからジョグダイヤルを押します。

8 CAPTURE**ボタンを押す。**

録画が開始し、録画中の動画が表示されます。

録画ランプが点灯（アンバー（赤褐色））します。

9 CAPTURE**ボタンを再度押して、録画を終了する。**

録画ランプが消灯します。

- 手前側（自分など）撮影時、ファインダウィンドウに映る画像は鏡のように映りますが、取り込まれた画像は左右正しくなります。
- 「URecSight」で取り込まれる動画のフォーマットは、次のようになります。

NET MOVIE**時**

– 非圧縮時

ビデオ形式：320×240 または 160×120 ピクセル、24ビット、最大10フレーム／秒（非圧縮）オーディオ形式：16ビットPCM、11.025KHz、モノラル

– MPEG1形式での圧縮時

ビデオ形式：MPEG1、320×240 または 160×112 ピクセル、最大30フレーム／秒（実質最大10フレーム／秒相当）

オーディオ形式：MPEG1、44.1KHz（実質11.025 kHz相当）、モノラル

LONG MOVIE**時**

ビデオ形式：モーションJPEG、640×480 ピクセル、最大15フレーム／秒、またはモーションJPEG、320×240 ピクセル、最大30フレーム／秒

オーディオ形式：16ビットPCM、22.05KHz、ステレオまたはモノラル

ご注意

NET MOVIEでは、録画できる時間は最大99分間です。

取り込んだ動画を見るには

「Function」の［見る・送る］を選び、ジョグダイヤルを押します。
詳しくは、「URecSight」のヘルプをご覧ください。ヘルプを見るには、（アプリケーション）ボタンを押してメニューを表示させ、ジョグダイヤルで［ヘルプ］を選んでからジョグダイヤルを押します。

「URecSight」を終了するには

（アプリケーション）ボタンを押してメニューを表示させ、ジョグダイヤルで［URecSightの終了］を選んでからジョグダイヤルを押します。

動画を編集する

本機の内蔵カメラ（MOTION EYE）で撮影した動画にさまざまな特殊効果を加えるなど、楽しく簡単に編集することができます。
この操作は本機をPCスタイルにして行ってください。

内蔵カメラ（MOTION EYE）で動画を撮影する

「URecSight」の NET MOVIE および LONG MOVIEで撮影した動画を編集できます。

↓

「MovieShaker」ソフトウェアを起動する

「MovieShaker」ソフトウェアを使って動画を編集します。
「MovieShaker」の使いかたについて詳しくは、「MovieShaker」のオンラインマニュアルおよびヘルプをご覧ください。

内蔵カメラ（MOTION EYE）の画質などを設定する

「カメラ設定ユーティリティ」を使って、内蔵カメラ（MOTION EYE）の画質やモードを設定できます。

1 MENU**ボタンを押す。**

2 **ジョグダイヤルを回して「カメラ設定」を選び、ジョグダイヤルを押す。**

「カメラ設定ユーティリティ」画面が表示されます。

- ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］から［MOTION EYE］アイコンを選んでも、「カメラ設定ユーティリティ」を起動できます。
- 他のソフトウェアで内蔵カメラ（MOTION EYE）を使用していると、ファインダ画面は表示されませんが、カメラ設定を行うことはできます。

3 **設定を変更する。**

変更したい設定項目をクリックして、設定を変更してください。

項目	内容
明るさ	• オート：画像の明るさを自動的に調整します。 • マニュアル：スライダを動かして手動で調節します。

次のページにつづく

項目	内容
ホワイトバランス	撮影時の光量に応じて、自然な色あいの画像になるように設定します。 • オート：光量に応じて自然な色合いになるよう、自動的に調節します。 • 屋内：屋内での撮影に適したモードです。 • 屋外：屋外（自然光のもと）での撮影に適したモードです。 • ホールド：直前のホワイトバランスの状態を保持し、設定が自動的に変化しないようにします。
フォーカス	• オート：フォーカスを自動的に調整します。 • マニュアル：フォーカスリングを回して、手動でピントを合わせます。
デジタルズーム	• ON：ズーム倍率は40倍までになります。 • OFF：デジタルズームを解除します。ズームは10倍までになります。
手ぶれ補正	• ON：手ぶれ補正します。 • OFF：手ぶれ補正を解除します。三脚に取り付けて撮影するときなどは、自然な画像になります。
逆光補正	• ON：被写体の後ろに光源があり、被写体が暗く写るときなどに自動的に明るさを補正します。 • OFF：逆光補正を解除します。
フィールド／フレーム	被写体の動きに応じて設定します。 • フィールド：動きの激しい被写体の撮影に適したモードです。 • フレーム（補間）：フィールドモードとフレームモードの中間のモードです。 • フレーム：静止している被写体の撮影に適したモードです。

- 撮影条件や被写体によって、適切なモードは異なります。
- ホワイトバランスを「ホールド」にしたまま屋内外を行き来すると、色あいが正しくならない場合があります。いったん「オート」にして、白っぽい被写体を10秒程度撮影すると、よりよい色あいに調節されます。
- 手ぶれ補正がONになっていても、手ぶれが大きすぎると補正しきれないことがあります。
- デジタルズームを使うと、画像をデジタル処理するため、画質が低下します。デジタルズームを使う必要がないときは、「デジタルズーム」を「OFF」にすることで、デジタルズームになることを防ぐことができます。

4 ［OK］をクリックする。

設定が有効になります。

［標準に戻す］をクリックしてから［OK］をクリックすると、工場出荷時の設定に戻ります。

拡張編

i.LINK対応機器とデータをやりとりする

i.LINK対応機器をつないでできること

下記のi.LINK対応機器に接続し、データをやりとりしたり、画像をデジタルのまま取り込むことができます。
(2000年9月10日現在)

- i.LINKコネクタを持つソニーパーソナルコンピュータ
- i.LINKコネクタを持つソニーノートブックコンピュータ *
  * 別売りのポートリプリケーターを取り付ける必要があるモデルもあります。詳しくは、お使いのノートブックコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
- ソニーが2000年8月末日までに日本国内で発売したDV端子付きの家庭用DV機器(メディアコンバーターおよびDigital 8デジタルビデオカメラレコーダーを含む。ツーリストモデルは除く。)
  ただし、ソフトウェアによっては一部のDV機器が動作対象外になる場合があります。詳しくは、各ソフトウェアのオンラインマニュアルやヘルプ、Readmeファイルなどをご覧ください。

ご注意

本機はDTLAコピー・プロテクション技術に対応していないため、デジタルCSチューナーやD-VHSデッキなどのDTLAコピー・プロテクション技術に対応した機器に接続しても操作することはできません。

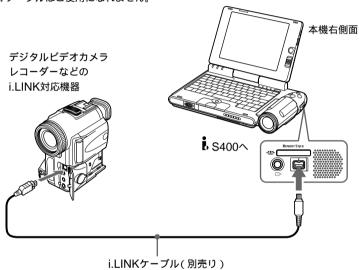
i.LINK対応機器をつなぐ

本機で操作できるi.LINK対応機器に付属のi.LINKケーブルまたは、ソニー製i.LINKケーブル「VMC-IL Series」（別売り）をお使いください。

主なケーブル

- VMC-IL4415A（4ピン ←→ 4ピン、1.5 m）
- VMC-IL4615A（4ピン ←→ 6ピン、1.5 m）

ご注意

DVケーブルはご使用になれません。

i.LINK対応機器をつないだときに、自動的に好みのソフトウェアが起動するように設定することができます。詳しくは、「VAIO Action Setup」のヘルプをご覧ください。

次のページにつづく

拡張編

ご注意

- 省電力動作モードで「スーパースタミナ」モードを選んでいるときは、i.LINK対応機器からデータを取り込むことはできません。「スーパースタミナ」モード以外のプロファイルを選んでください。詳しくは、「本機の動作モードを設定する（プロファイル）」（185ページ）をご覧ください。
- 一度に接続できるデジタルビデオカメラレコーダーは1台のみです。ソフトウェアの制限により、同時に2台のデジタルビデオカメラレコーダーを接続することはできません。
- 本機のi.LINKコネクタは、i.LINK対応機器に電源を供給しません。i.LINKコネクタからの電源供給が必要な一部の機器は、正しく使用できないことがあります。
- 本機のi.LINKコネクタは最大400 Mbpsのデータ転送に対応していますが、実際の転送速度は接続したi.LINK対応機器の転送速度により変わります。
- 接続のしかたや画像の取り込みかたは、接続するi.LINK対応機器や使用するソフトウェアによって異なります。詳しくは、i.LINK対応機器の取扱説明書や、本機に付属している「DVgate」などの各ソフトウェアのオンラインマニュアルおよびヘルプをご覧ください。

i.LINK接続でデータをやりとりする

本機と「Smart Connect Ver.3.0」ソフトウェアに対応したVAIO、またはWindows Meを搭載したVAIOを別売りのi.LINKケーブルで接続すると、お互いのファイルをコピーしたり、削除、編集などを行うことができます。また、接続先のVAIOにつないだプリンタを使って印刷することもできます。
i.LINK接続について詳しくは、「i.LINK対応機器をつなぐ」（157ページ）をご覧ください。

Windows Meを搭載したVAIOと本機をつなぐ場合

i.LINKケーブルで接続するだけでデータのやりとりができます。

「Smart Connect」を搭載したVAIOと本機をつなぐ場合

接続先の「Smart Connect」バージョンをご確認ください。

「Smart Connect Ver.3.0」以降の場合

「Smart Connect Ver.3.0」の通信モードを「STDモード」にする必要があります。設定方法は、「Smart Connect Ver.3.0」のヘルプの「通信モードを切り替える」をご覧ください。

「Smart Connect Ver.2.2」以前の場合

「CyberSupport 2.3 for VAIO」ソフトウェアを使って下記の手順で検索し、表示される内容に従って操作してください。

1 デスクトップ画面上の［CyberSupport 2.3 for VAIO］アイコンをダブルクリックして「CyberSupport 2.3 for VAIO」を起動する。

2 検索対象のリストボックスから「Smart Connect」を選択する。
探しているアイコンが見つからない場合は、［すべてのコントロール パネルのオプションを表示する。］をクリックしてください。

3［質問文例］をクリックする。

4 一覧から「以前のバージョンのSmart Connect搭載のパソコンとの接続について」という文例をクリックする。

次のページにつづく

ご注意

i.LINKケーブルを接続してから実際にデータをやりとりできるようになるまでにしばらく時間がかかる場合があります。

接続先のコンピュータを探すには

接続先のコンピュータが、ネットワークコンピュータにすぐには表示されないことがあります。そのときは、デスクトップ画面上の［マイ ネットワーク］を右クリックして［コンピュータの検索］を選択し、接続先のコンピュータ名を入力して検索してください。

接続先から自分のコンピュータを利用できるようにするには

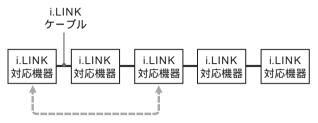
本機のフォルダや接続しているプリンタを接続先のコンピュータから利用できるようにするには、ネットワーク共有サービスのインストールおよび設定が必要です。
デスクトップ画面上の［マイ ネットワーク］をダブルクリックし、「ホーム ネットワーク ウィザード」で設定することもできます。
詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。

i.LINKとは？

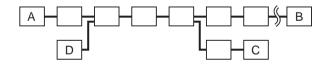
i.LINKは、i.LINKコネクタを持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェイスです。
i.LINK対応機器は、i.LINKケーブル1本で接続できます。多彩なデジタルAV機器を接続して、さまざまな操作やデータのやりとりができます。
また将来、さらに多様な機器を接続して、操作やデータのやりとりができることが考えられています。
複数のi.LINK対応機器を接続した場合、直接つないだ機器だけではなく、他の機器を介してつながれている機器に対しても、操作やデータのやりとりができます。このため、機器を接続する順序を気にする必要はありません。
ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

- i.LINK（アイリンク）はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。
  IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。
- 著作権保護に対応したi.LINK対応機器には、デジタルデータのコピー・プロテクション技術が採用されています。
  この技術のひとつは、DTLA（The Digital Transmission Licensing Administrator）というデジタル伝送における著作権保護技術の管理運用団体から許可を受けているものです。
  このDTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器間では、コピーが制限されている映像／音声／データにおいて、i.LINKでのデジタルコピーができない場合があります。
  また、DTLAのコピー・プロテクション技術を搭載している機器と搭載していない機器との間では、i.LINKでデジタルの映像／音声／データのやりとりができない場合があります。

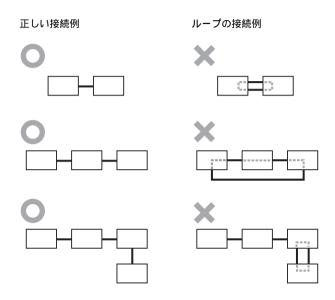
i.LINKでの接続について

i.LINK対応機器は、i.LINKケーブルで数珠つなぎにして接続します。このような接続のしかたを「デイジーチェーン」と呼びます。

2つの機器の間に他の機器がつながれていても、操作やデータのやりとりを行うことができます。

途中から分岐してつなぐこともできます

- i.LINKコネクタを3つ以上持つ機器の場合、途中から分岐してつなぐこともできます。
- i.LINKの規格上、i.LINK対応機器は本機を含めて63台まで接続できます。ただし、一番長い経路の接続は17台までです。（i.LINKケーブルは、一番長い経路に対して連続して16本まで使用することができます。）
  ひとつの経路に対して使用したi.LINKケーブルの数を「ホップ」と呼びます。例えば、下図のA→Cの経路は6ホップ、A→Dの経路は3ホップとなります。

A→B、A→C、A→D、B→C、B→D、C→D、いずれの経路も最大17台の機器を接続できます（最大16ホップ）。

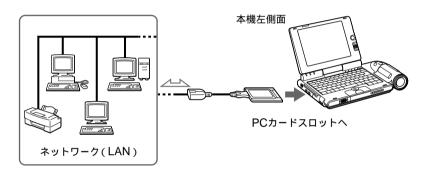
接続が輪にならないようにご注意ください

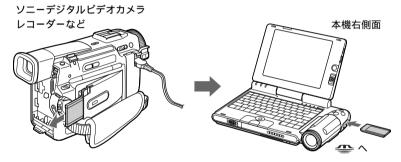
デジタル信号は、接続したすべてのi.LINKケーブルに流れます。信号を出力した機器に同じ信号が戻らないよう、接続が輪にならないようにつないでください。接続が輪（環状）になることを「ループ」と呼びます。

接続についてのご注意

- パソコンなど一部のi.LINK対応機器の中には、電源が切られているとデータを中継しない機器があります。i.LINKでの接続の際は、接続する機器の取扱説明書もご覧ください。
- i.LINK対応機器には、その機器が対応している最大データ転送速度がi.LINKコネクタの周辺に表記されています。i.LINKの最大データ転送速度は、約100／200／400 Mbpsが定義されており、200 MbpsのものはS200、400 MbpsのものはS400と表記されます。
  最大データ転送速度が異なる機器を接続した場合や、機器の仕様により、実際の転送速度が表記と異なることがあります。

拡張編

ネットワーク（LAN）につないでデータをやりとりする

本機を職場などのネットワーク（LAN）に接続して、ネットワーク内の他の機器とデータをやりとりできます。
本機とネットワークをつなぐには、接続したいネットワークに合わせた種類のネットワークPCカードが必要です。PCカードの使いかたについて詳しくは、「PCカードを使う」（172ページ）をご覧ください。
ネットワークに接続するために必要な周辺機器や設定については、職場などのネットワークのシステム管理担当者にご相談ください。

“ メモリースティック ”を使ってデータをやりとりする

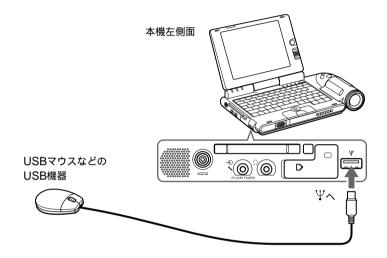
ソニーデジタルビデオカメラレコーダーやデジタルスチルカメラなどの“ メモリースティック ”対応機器で“ メモリースティック ”に動画や静止画を取り込み、その“ メモリースティック ”を本機のメモリースティックスロットに差し込むことにより、画像データファイルとして取り込むことができます。本機に取り込んだ画像を、付属の「PictureGear」ソフトウェアを使って編集することができます。
詳しくは、お使いになる機器の取扱説明書および、「PictureGear」のオンラインマニュアルまたはヘルプをご覧ください。

“ メモリースティック ”を挿入したときに、自動的に「VisualFlow」ソフトウェアが起動します。“ メモリースティック ”を挿入したときに、他のソフトウェアが起動するように設定したいときは「VAIO Action Setup」ソフトウェアを使います。
詳しくは、「メモリースティックランチャーの設定を変更する」（117ページ）をご覧ください。

ご注意

省電力動作モードで「スーパースタミナ」モードを選んでいるときは、“ メモリースティック ”は使用できません。「スーパースタミナ」モード以外のプロファイルを選んでください。詳しくは、「本機の動作モードを設定する（プロファイル）」（185ページ）をご覧ください。

拡張編

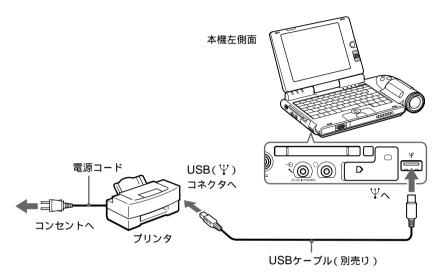
USB機器をつなぐ

本機のUSBコネクタを使って、USBマウスなどのUSB機器をつなぐことができます。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

- 別売りのソニー製USBマウスPCGA-UMS1 SeriesやUSBフロッピーディスクドライブPCGA-UFD5などを接続できます。本機にはあらかじめドライバがインストールされているので、接続するだけでご使用になれます。
- USB機器をつないだときに、自動的に好みのソフトウェアが起動するように設定することができます。詳しくは、「VAIO Action Setup」のヘルプをご覧ください。

ご注意

- PCGA-UMS1 Series以外のUSBマウスは本機で使用できないものがあります。詳しくは、マウスの販売元または販売店にご確認ください。
- シリアルマウスおよびPS/2マウスは使用できません。

プリンタをつなぐ

USB対応のプリンタを本機につないで、作成した書類などを印刷できます。

ご注意

- Windows Meに対応していないプリンタを本機につないでも、正常に動作しないことがあります。
- プリンタの取扱説明書などでUSBコネクタの形状をご確認の上、USBケーブルをご購入ください。
- プリンタドライバのインストールおよび設定方法については、お使いのプリンタの製造元にお問い合わせください。

プリンタを使用するには

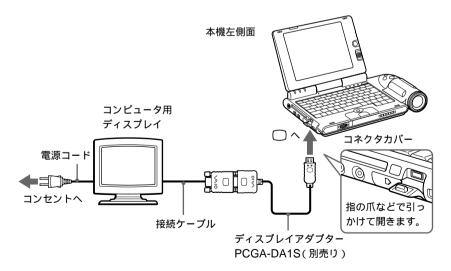
プリンタに付属のドライバを本機にインストールする必要があります。
詳しくは、プリンタの取扱説明書をご覧ください。

外部ディスプレイをつなぐ

大きな画面で内容を確認したいときなどは、別売りのディスプレイアダプターPCGA-DA1Sを使って、本機に外部ディスプレイを接続します。本機のコネクタカバーを開けて、接続してください。

ご注意

- 本機と接続する機器の電源を切り、コンセントからACアダプタや電源コードを抜いてから接続してください。
- 電源コードは、すべての接続が終わってからつないでください。
- 電源を入れるときは、外部ディスプレイなどの周辺機器の電源を入れてから本機の電源を入れてください。
- 外部ディスプレイやプロジェクタの種類によっては、本機の液晶ディスプレイと同時表示できないものもあります。
- カバーを開く際は、強く引っ張りすぎないようにご注意ください。
  引きすぎると破損の原因となります。
- カバーを取りはずすことはできません。

スピーカーなどが内蔵されていない通常のディスプレイにつなぐときは、ディスプレイの他に外部アクティブスピーカーなどをつなぐことでAV環境をよりお楽しみいただけます。

ディスプレイに表示するには

下記のいずれかの操作によって、本機のディスプレイと、接続した外部ディスプレイなどとの表示を切り替えられます。

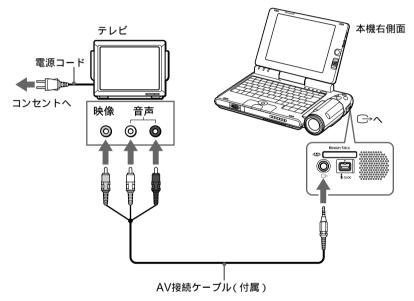
- ジョグダイヤルを操作する（61ページ）。
- 「画面のプロパティ」画面で設定する（193ページ）。
- Fnキーを操作する（74ページ）。

また2つのディスプレイを使って、ひとつの大きな仮想デスクトップを作ることができます。詳しくは、「2つのディスプレイを使って仮想デスクトップを構築する（デュアルディスプレイ）」（194ページ）をご覧ください。

テレビをつなぐ

内蔵カメラ（MOTION EYE）を使って取り込んだ静止画や動画をテレビ画面に表示することができます。

ご注意

- 本機と接続する機器の電源を切り、コンセントからACアダプタや電源コードを抜いてから接続してください。
- 電源コードは、すべての接続が終わってからつないでください。
- 電源を入れるときは、周辺機器の電源を入れてから本機の電源を入れてください。

テレビに表示するには

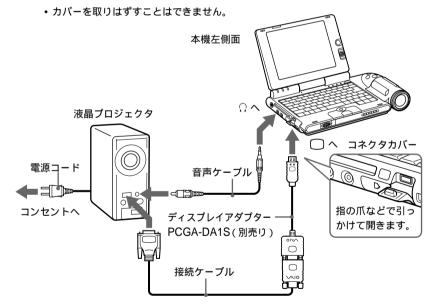
テレビの入力切替を「外部入力」に合わせて、下記のいずれかの操作によって本機のディスプレイと接続したテレビとの表示を切り替えられます。

- ジョグダイヤルを操作する（62ページ）。
- 「画面のプロパティ」画面で設定する（193ページ）。
- Fnキーを操作する（74ページ）。

液晶プロジェクタをつなぐ

液晶プロジェクタを使うと、プレゼンテーションをするときなどに便利です。接続のしかたは機器によって異なります。詳しくは、液晶プロジェクタの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 本機と接続する機器の電源を切り、コンセントからACアダプタや電源コードを抜いてから接続してください。
- 電源コードは、すべての接続が終わってから接続してください。
- 電源を入れるときは、周辺機器の電源を入れてから本機の電源を入れてください。
- 外部ディスプレイやプロジェクタの種類によっては、本機の液晶ディスプレイと同時表示できないものもあります。
- カバーを開く際は、強く引っ張りすぎないようにご注意ください。引きすぎると破損の原因となります。
- カバーを取りはずすことはできません。

液晶プロジェクタに表示するには

下記のいずれかの操作によって、本機のディスプレイと接続した液晶プロジェクタなどとの表示を切り替えられます。

- ジョグダイヤルを操作する（61ページ）。
- 「画面のプロパティ」画面で設定する（193ページ）。
- Fnキーを操作する（74ページ）。

メモリを増設する

別売りの専用メモリを増設すると、データの処理速度や、複数のソフトウェアを同時に起動したときの処理速度が向上します。

ご注意

専用メモリの増設は、弊社の指定サービス窓口にて行ってください。
ご自分で増設されて故障が発生した場合は、保証期間中であっても有償修理となります。

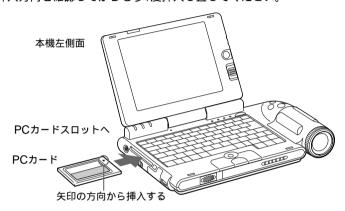
PCカードを使う

本機には、PC CardタイプIとタイプIIに準拠したPCカードを挿入できるPCカードスロットがあります。また、本機のPCカードスロットは16ビットCardおよびCard Busに対応しています（ZV（Zoomed Video）Portには対応していません）。

ご注意

- PCカードによっては本機で使用できないものや、機能が制限されるものがあります。
- PCカードによってはドライバを最新のものにすることによって、不具合が改善される場合があります。PCカードの製造メーカーから最新のドライバを入手してお使いください。

PCカードを取り付ける

PCカードを取り付けるときに本機の電源を切る必要はありません。
下図のように、スロットの奥にあるコネクタに、カードがしっかりと固定されるまで押し込みます。
カードがうまく入らない場合は、無理にカードを押し込まずに、カードの挿入方向を確認してからもう1度挿入し直してください。

取り付けたあとの使いかたについては、PCカードの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- PCカードによっては本機で使用できないものや、機能が制限されるものがあります。
- PCカードの製造メーカーから最新のドライバを入手してお使いください。
  PCカードによっては、ドライバを最新のものにすることによって不具合が改善される場合があります。
- 以下の手順で「デバイス マネージャ」画面を表示し、PC カードに「！」が付いている場合は、ドライバを削除してインストールし直してください。
  1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。
  2［システム］アイコンをダブルクリックする。
  探しているアイコンが見つからない場合は、［すべてのコントロール パネルのオプションを表示する。］をクリックしてください。
  3［デバイス マネージャ］タブをクリックする。
- PCカードスロットからはみ出るPCカード（ワイヤレスLANカードなど）を挿入した状態で、本機を移動しないでください。
  移動時にPCカードに強い衝撃を与えると、本機が破損するおそれがあります。

拡張編

PCカードを取り出す

ご注意

本機の電源が入っているときにカードを取り出す場合は、必ず以下の手順に従ってください。誤った取り出しかたをすると、システムが正常に動作しない可能性があります。本機の電源が切れているときは、手順1〜4の操作は不要です。

1 **デスクトップ画面右下のタスクトレイにある をダブルクリックする。**

2 **リストから取り出したいPCカードをクリックし、［停止］をクリックする。**

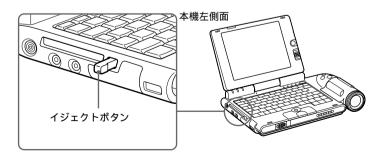
ご注意

リストから「USBディスク」を取りはずすとメモリースティックスロットが一時的に使用できなくなるので、「USBディスク」を停止しないでください。誤って「USBディスク」を停止してしまった場合は、“メモリースティック”のドライブ（S:ドライブ）を復帰させ、メモリースティックスロットを使用可能にしてください。詳しくは、「困ったときは」の『“メモリースティック”が使えない、S:ドライブにアクセスできない」（226ページ）をご覧ください。

3 **確認画面が表示されたらデバイスを確認し、［OK］をクリックする。**

4 **「……は安全に取り外すことができます。」と表示されたら［OK］をクリックする。**

5 **PCカードスロットのイジェクトボタンを押してボタンを出し、もう1度イジェクトボタンを押してPCカードを取り出す。**

カードの端を持って、スロットから引き抜いてください。

💡
タスクトレイに が表示されていないときは下記の手順に従って操作してください。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2［PC カード（PCMCIA）］アイコンをダブルクリックする。
探しているアイコンが見つからない場合は、［すべてのコントロール パネルのオプションを表示する。］をクリックしてください。

3 リストから取り出したいPCカードをクリックし、次に［停止］をクリックする。

4「このデバイスは安全に取りはずせます。」と表示されたら［OK］をクリックする。

5 PCカードを取り出す。

拡張編

セットアップ編

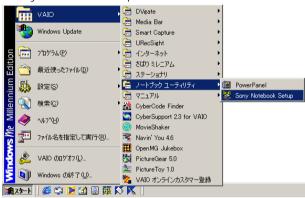
本機の使用環境を設定する

本機に付属の「Sony Notebook Setup」ソフトウェアを使って、本機の製品情報を確認したり、使用環境の設定を変更できます。
また、本機のジョグダイヤルを使っても操作できます。

本機の情報を確認する

本機の製品情報や、メモリの容量などのシステム情報を確認することができます。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［VAIO］にポインタを合わせ、［ノートブック ユーティリティ］から［Sony Notebook Setup］をクリックする。

「Sony Notebook Setup」画面が表示されます。

2 ［システム情報］タブをクリックする。

本機の製品情報やハードウェア情報を確認できます。

確認が終わったら

［OK］をクリックします。

メガベースの設定を変更する

メガベース（低音増幅機能、ヘッドホン使用時のみ）の設定変更や効果の確認ができます。

1 **［スタート］ボタンをクリックして［VAIO］にポインタを合わせ、［ノートブック ユーティリティ］から［Sony Notebook Setup］をクリックする。**

「Sony Notebook Setup」画面が表示されます。

2 **［メガベース］タブをクリックする。**

メガベースの設定項目が表示されます。

3 **好みにあわせて設定を変更する。**

メガベースのオン／オフの切り替えができます。また、「サウンドファイル」のリストからサンプルを選び、再生しながら切り替えると、メガベースによる低音増幅機能の効果を確認できます。

4 **［OK］をクリックする。**

ジョグダイヤルを使ったり（62ページ）、Fnキーを押しながらBキーを押しても（75ページ）、メガベースのオン／オフを切り替えることができます。

セットアップ編

起動時の設定を変更する

起動ドライブや、起動時に流れる音楽の音量の設定を変更できます。

1 **［スタート］ボタンをクリックして［VAIO］にポインタを合わせ、［ノートブック ユーティリティ］から［Sony Notebook Setup］をクリックする。**

「Sony Notebook Setup」画面が表示されます。

2 **［起動時設定］タブをクリックする。**

設定画面が表示されます。

3 **好みにあわせて設定を変更する。**

– 起動デバイスの優先順位：順序を変更したいドライブを上下にドラッグします。
  リスト表示中の上にあるドライブから先に本機が起動します。
– 初期化時の音量：スライダを使って、起動時に流れる音楽の音量を設定できます。
– 起動時にロゴアニメーションを表示する：起動時にVAIOロゴを表示するように設定できます。

4 **［OK］をクリックする。**

次に電源を入れるときは、手順3で設定した順位の高いドライブから本機が起動し、設定した音量で音楽が流れます。

本機をCD-ROMドライブから起動するには

本機専用の下記のいずれかのドライブが必要です。お使いになるときは、各ドライブに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

• CD-ROMドライブPCGA-CD51Series または PCGA-CD5
• CD-RWドライブPCGA-CDRW5_ Series
• DVD-ROMドライブPCGA-DVD51 Series

パスワードを登録する

パスワードを登録して、パスワードを知っているユーザーだけが本機を使えるようにできます。大切なデータを守りたいときなどに便利です。
ここで登録したパスワードは、本機を起動してSONYのロゴマークが表示されたあとに入力します。

ご注意

パスワードを忘れると、本機を起動することができなくなります。
パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
万一パスワードを忘れてしまったときは、修理（有償）が必要となります。
VAIOカスタマーリンクまでご相談ください。

1 **［スタート］ボタンをクリックして［VAIO］にポインタを合わせ、［ノートブック ユーティリティ］から［Sony Notebook Setup］をクリックする。**

「Sony Notebook Setup」画面が表示されます。

2 **［パワーオンパスワード］タブをクリックする。**

パスワードの設定項目が表示されます。

3 **［新規登録］をクリックする。**

確認画面が表示されます。

次のページにつづく

4 **［はい］をクリックする。**

5 **登録したいパスワードを入力してから、［OK］をクリックする。**

パスワードは半角の英数字7文字以内で入力します。1文字入力するごとに、「＊」が表示されます。

6 **手順5で入力したパスワードをもう1度入力してから、［OK］をクリックする。**

7 **［OK］をクリックする。**

入力したパスワードが登録されます。

パスワードの登録をやめるときは

手順4で、［いいえ］をクリックします。

パスワードを変更する

1 **「パスワードを登録する」（181ページ）の手順1と2を行う。**

2 **「パスワード入力」をクリックする。**

パスワード入力画面が表示されます。変更前のパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

3 **［変更］をクリックする。**

パスワード入力画面が表示されます。

4 **登録したいパスワードを入力してから、［OK］をクリックする。**

5 **手順4で入力したパスワードをもう1度入力してから、［OK］をクリックする。**

パスワードが変更されます。

6 **［OK］をクリックする。**

パスワードを削除する

1 **「パスワードを登録する」**（181ページ）**の手順**1**と**2**を行う。**

2 **「パスワード入力」をクリックする。**

パスワード入力画面が表示されます。登録してあるパスワードを入力し、[OK] をクリックします。

3 **[削除] をクリックする。**

確認画面が表示されます。

4 **[はい] をクリックする。**

パスワードが削除されます。

削除をやめるときは、[いいえ] をクリックします。

5 [OK] **をクリックする。**

工場出荷時の設定に戻す

「Sony Notebook Setup」を工場出荷時の設定に戻します。

なお、下記の操作を行っても、登録したパスワードの設定は戻りません。

1 **[スタート] ボタンをクリックして** [VAIO] **にポインタを合わせ、[ノートブック ユーティリティ] から** [Sony Notebook Setup] **をクリックする。**

「Sony Notebook Setup」画面が表示されます。

2 **[デフォルト] をクリックする。**

バッテリの消費電力を節約する

バッテリで本機を使用しているときは、本機のハードディスクや液晶ディスプレイを自動的に停止させたり、バッテリでの動作時間をのばすことができます（パワーマネージメント機能）。
詳しくは、「省電力動作モードについて」（189ページ）をご覧ください。

PowerPanelを使って設定を変更する

本機を起動すると、（バッテリアイコン）がデスクトップ画面右下のタスクトレイに表示されます。バッテリアイコンについて詳しくは、「バッテリ残量を確認する」（54ページ）をご覧ください。
「PowerPanel」はジョグダイヤルを使って操作します。ジョグダイヤルの操作について詳しくは、「ジョグダイヤルを使う」（59ページ）をご覧ください。

CPUアイコンの見かた

タスクトレイに表示される「PowerPanel」のCPUアイコンで、CPUのパフォーマンスを知ることができます。

CPUアイコン	CPUのパフォーマンス
	最高CPUパフォーマンス：パワーマネージメントオフ選択時
	最低CPUパフォーマンス：スーパースタミナ選択時
	LongRunパワーマネージメント：CPUのクロック周波数および動作電圧を変化させます。ACアダプタ、バッテリ使用時*。

* 工場出荷時はこの設定になっています。

電源管理ツールバーを表示するには

1 **デスクトップ画面下のタスクバーにポインタを合わせ、右クリックする。**

2 **ポップアップメニューから［ツール バー］を選び、［電源管理］をクリックする。**
タスクバーに電源管理ツールバーが表示されます。
電源管理ツールバーをデスクトップ画面右側に表示させたいときは、ツールバーをドラッグし、デスクトップ画面右へ移動してください。

本機の動作モードを設定する（プロファイル）

ジョグダイヤルウィンドウがランチャー状態になっていることを確認してから、ジョグダイヤルを回して「電源管理（PowerPanel）」を選び、ジョグダイヤルを押します。さらに、「パワープロファイル」を選びジョグダイヤルを押すと、下記のようなプロファイルが表示されます。

プロファイルを変更するには、ジョグダイヤルを回して設定したいプロファイルを選び、ジョグダイヤルを押して確定します。

AC

ACアダプタをつないで使用するとき、ここで設定した状態になります。ACアダプタをはずすと、バッテリで使用していたときに選んでいた状態に戻ります。

ノーマル

消費電力を節約しつつ、できるだけ通常の動作状態を保つよう、自動的に調整します。

スタミナ

バッテリを長時間使用できるように動作状態を自動的に調節します。工場出荷時の設定では、バッテリ動作時には自動的に「スタミナ」が選択されます。

スーパースタミナ

バッテリを最大限に長時間使用できるように動作状態を自動的に調節します。「スーパースタミナ」を選んでいるときは、バッテリ動作時にi.LINK対応機器や“ メモリースティック ”を本機に接続して使用することはできません。

次のページにつづく

カメラ

内蔵カメラ（MOTION EYE）を使用するのに適した動作状態を保つように自動的に調節します。

パワーマネージメントオフ

パワーマネージメント機能を無効にします。このプロファイルの内容は変更できません。

- バッテリ動作時にいずれかのプロファイルを選択すると、そのプロファイルのパワーマネージメント機能が有効になり、以後バッテリ動作時には自動的にそのプロファイルが選択されます。
- プロファイル選択メニューには上記の他にもいろいろなプロファイルが用意されています。お使いになるソフトウェアに合わせてプロファイルを選択することができます。
- 「プロファイル自動選択」を選択すると、使用中のソフトウェアに合わせて自動的にプロファイルが切り替わります。
- 工場出荷時の設定では、バッテリ動作時（「スタミナ」モード）の液晶ディスプレイの明るさは、暗めの設定になっています。液晶ディスプレイの明るさを調節するには、Fnキーを押しながらF5キーを押すか（74ページ）、プロファイルの設定を変更してください（187ページ）。
- 省電力動作モードで「スーパースタミナ」モードを選んでいるときは、"メモリースティック"やi.LINK対応機器を使用して本機にデータを取り込むことはできません。また、お使いになるソフトウェアによっては、正しく動作しないことがあります。この場合は、「スーパースタミナ」モード以外のプロファイルを選んでください。

特定のデバイスの電力供給をコントロールする

ジョグダイヤルウィンドウがランチャー状態になっていることを確認してから、ジョグダイヤルを回して「電源管理（PowerPanel）」を選び、ジョグダイヤルを押します。設定したい省電力動作モードを選びジョグダイヤルを押すと、省電力動作モードに移行します。

スタンバイ

現在の本機の状態をメインメモリに記憶させ、液晶ディスプレイとCPUの電源供給を停止して、使用電力を低減します。
システムを元の状態に戻すには、キーボードのいずれかのキーを押します。ちょっと席をはずすときなどに便利です。「省電力動作モードについて」（189ページ）もご覧ください。

カメラシューティングスタイルでお使いのときにシステムを元の状態に戻すには、CAPTUREボタンを押します。

休止状態

現在のシステムの状態をハードディスクに書き込んでから、自動的に本機の電源を切ります。本機の電源を入れると、休止状態前の状態に戻ります。
この機能を使って電源を切ると、「電源を切る」（47ページ）の手順で電源を切ったときよりも、次回電源を入れたときに短時間で本機を使用できます。2～3日、本機を使わないときなどに便利です。

カメラシューティングスタイルでお使いのときに休止状態前の状態に戻すには、CAPTUREボタンを押します。

LCD/Video スタンバイ

本機の画面が暗くなります。キーボードのいずれかのキーを押すと元の状態に戻ります。

プロファイルのパワーマネージメント設定を変更する

使用環境に合わせて、プロファイルのシステムタイマーや画面の輝度などのパワーマネージメント設定を変更することもできます。
以下の手順に従って設定を変更してください。
ジョグダイヤルを使ってもこの操作ができます。詳しくは、「「ジョグダイヤルランチャー」画面」（60ページ）をご覧ください。

1 デスクトップ画面右下のタスクトレイの を右クリックして、選択メニューから［プロファイルの編集／作成］をクリックする。

「プロファイルエディタ」が起動します。

2 設定を変更したいプロファイルをクリックする。

3 変更したい項目をダブルクリックする。

設定値のリストが表示されます。
現在有効な設定値がチェックされています。

4 好みの設定値をクリックする。

5 「ファイル」メニューをクリックし、［保存］をクリックする。

6 「ファイル」メニューをクリックし、［終了］をクリックする。

「プロファイルエディタ」が終了し、手順4で選んだ設定値が有効になります。

新しくプロファイルを作成して追加することもできます。詳しくは、「PowerPanel」のヘルプをご覧ください。

省電力動作モードについて

バッテリでの使用時間を延ばすため、本機にはいくつかの省電力動作モードが用意されています。モードごとに特長がありますので、使用状況に合わせて使い分けてください。

通常モード

（⏻（パワー）ランプ点灯：グリーン）
通常の動作モードですが、液晶ディスプレイやハードディスクなど、特定のデバイスの電源だけを切って、消費電力を節約することもできます。
バッテリの残量がわずかになると、自動的に休止状態になります（工場出荷時の設定）。

省電力動作モード

本機では以下の2つの省電力動作モードがあります。より使用状況に合った使い分けをしてください。

❑ **スタンバイ**

（⏻（パワー）ランプ点滅：アンバー（赤褐色））
現在作業中の状態を保持したまま、液晶ディスプレイとCPUの電源供給を停止して、使用電力を低減します。ちょっと席をはずすときなどに便利です。バッテリの残量がわずかになると、自動的に休止状態になります（工場出荷時の設定）。

- **スタンバイにするには**

  Fnキーを押しながらEscキーを押します（74ページ）。または、⏻（パワー）ボタンを押したり（工場出荷時の設定）、ジョグダイヤルで「電源管理（PowerPanel）」ソフトウェアを使って設定することもできます（187ページ）。

- **通常モードに戻すには**

  キーボードのいずれかのキーを押すか、⏻（パワー）ボタンを一瞬押します。

カメラシューティングスタイルでお使いのときにシステムを元の状態に戻すには、CAPTUREボタンを押します。

❑ 休止状態

（⏻（パワー）ランプ消灯）

現在作業中の状態をハードディスクに保存して、本機の電源を切ります。2〜3日本機を使わないようなときに便利です。

- **休止状態にするには**

Fnキーを押しながらF12キーを押す（75ページ）と、画面表示が消え（(ハードディスク）ランプは点灯)、しばらくしてから ⏻（パワー）ランプが消灯します。または、ジョグダイヤルで「電源管理（PowerPanel)」ソフトウェアを使って設定します（187ページ)。

ご注意

⏻（パワー）ランプが消灯するまで、本機を動かさないでください。

（バッテリ）ランプが ⏻（パワー）ランプといっしょに点滅するか、「バッテリが少なくなりました」というメッセージがあったら、休止状態にすることをおすすめします。

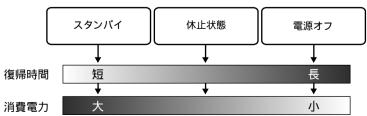
- **通常モードに戻すには**

⏻（パワー）ボタンで本機の電源を入れ直します。電源を入れると、前回の作業状態に戻ります。

カメラシューティングスタイルでお使いのときに休止状態前の状態に戻すには、CAPTUREボタンを押します。

ご注意

本機は、バッテリの残量がわずかになると、自動的に休止状態になるよう工場出荷時に設定されていますが、ご使用中のソフトウェアや接続している周辺機器によっては、Windowsからの指示で作業を一時中断することができないため、この機能が正しく働かないことがあります。
長時間席をはずされるときなどに、バッテリが消耗した際、自動的に休止状態にならないと、本機の電源が切れ、作業中のデータが失われてしまうおそれがあります。
バッテリでご使用のときは、こまめにデータを保存したり、手動でスタンバイ、または休止状態にしてください。

復帰時間と消費電力について

ディスプレイの設定を変更する

本機の解像度は、標準では1024×768 ドット（32ビット）に設定されています。ディスプレイの解像度と色数の設定の変更をするには、以下の手順に従ってください。
Windows Meのヘルプもあわせてご覧ください。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 ［画面］アイコンをダブルクリックする。

「画面のプロパティ」画面が表示されます。

次のページにつづく

3 ［設定］タブをクリックする。

4 「色」リストで色数を、「画面の領域」のスライダで解像度をそれぞれ設定する。

5 ［OK］をクリックする。

設定が更新されます。

ご注意

設定によっては本機を再起動する必要がある場合があります。画面に表示される指示に従ってください。

色数について

手順4の「色」リストの設定と実際に表示される色数は以下の通りです。

High Color（16 ビット）→ 65,536色

True Color（24 ビット）→ 約1,677万色*

True Color（32 ビット）→ 約1,677万色*

*（グラフィックアクセラレータのディザリング機能により実現）

表示するディスプレイを選ぶ

別売りのディスプレイアダプターPCGA-DA1Sを使って本機に外部ディスプレイなどをつないでいる場合には、ATIビデオコントローラを使って、どのディスプレイに表示するか設定できます。

1 [スタート] ボタンをクリックして [設定] にポインタを合わせ、[コントロール パネル] をクリックする。

「コントロール パネル」画面が表示されます。

2 [画面] アイコンをダブルクリックする。

「画面のプロパティ」画面が表示されます。

3 [設定] タブをクリックする。

4 [詳細] をクリックする。

「MOBILITY-M1 PCIのプロパティ」画面が表示されます。

5 [画面] タブをクリックして、表示するディスプレイを設定する。

ディスプレイの左上にある緑色のボタン を押すと、どのディスプレイに表示させるかを設定できます。

詳しくは画面右下の [ヘルプ] をクリックし、表示されるヘルプをご覧ください。

ご注意

- 外部ディスプレイやプロジェクタの種類によっては、本機の液晶ディスプレイと同時表示できないものもあります。
- 外部ディスプレイで動画やDVDビデオ、内蔵カメラ（MOTION EYE）のファインダなどを表示できない場合は、以下の手順で表示させたいディスプレイをプライマリに設定してください。

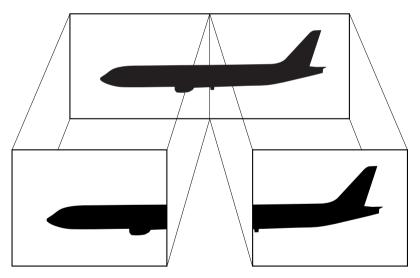
  1 上記手順1〜4を行う。

  2 [画面] タブをクリックし、「モニタ」または「テレビ」の「セカンダリ」の をクリックしてチェックをはずし「プライマリ」にする。
- 電源を入れるときは、外部ディスプレイなどの周辺機器の電源を入れてから、本機の電源を入れてください。

2つのディスプレイを使って仮想デスクトップを構築する（デュアルディスプレイ）

デュアルディスプレイとは

デュアルディスプレイとは、複数のディスプレイを使って、ひとつの大きな仮想デスクトップを実現する機能です。

仮想デスクトップの例

画面が広く使えるだけでなく、片方の画面にソフトウェア本体を置き、
もう片方の画面にツールパレットやアイコンバーを置くなど、工夫次第で
画面を効率よく使うことができます。

デュアルディスプレイを設定する

本機では、液晶ディスプレイと外部ディスプレイの組み合わせで、デュアルディスプレイを利用できます。

ご注意

- 外部ディスプレイと本機の液晶ディスプレイの色数を異なる設定にした場合、ウィンドウを両方のディスプレイにまたがるように配置すると、ソフトウェアが正しく動作しないことがあります。色数を異なる設定にする場合は、ウィンドウを両方のディスプレイにまたがるように配置しないでください。
- デュアルディスプレイを使用しているときは、本機がスタンバイや休止状態に入らないようにご注意ください。本機が通常の動作モードに戻らないことがあります。
- デュアルディスプレイの解像度や色数の設定によっては、内蔵カメラ（MOTION EYE）を使うソフトウェア（URecSight、Smart Captureなど）で画像が正しく表示されないことがあります。その場合は、解像度を下げたり色数を減らしてください。
- 設定によっては本機を再起動する必要があるものもあります。画面に表示される指示に従ってください。

1 **［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。**

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 **［画面］アイコンをダブルクリックする。**

「画面のプロパティ」画面が表示されます。

3 **［設定］タブをクリックする。**

4 **「2」と書かれているモニタの絵をクリックする。**

5 **［はい］をクリックする。**

次のページにつづく

セットアップ編

ご注意

ソフトウェアによっては、両方のディスプレイをご使用になれないことがあります。

画面の色と解像度を変更するには

仮想デスクトップを構成する各ディスプレイごとに、画面の色数と解像度を設定できます。

1 **[スタート] ボタンをクリックして [設定] にポインタを合わせ、[コントロールパネル] をクリックする。**
「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 **[画面] アイコンをダブルクリックする。**
「画面のプロパティ」画面が表示されます。

3 **[設定] タブをクリックする。**

4 **変更したいモニタの絵をクリックし、「色」リストで色数を、「画面の領域」のスライダで解像度を設定し、[OK] をクリックする。**

5 **「画面のプロパティ」画面が表示されたら [OK] をクリックする。**

6 **「モニタの設定」が表示されたら [はい] をクリックする。**
設定が反映されます。

仮想デスクトップのつながりを変更するには

1 **[スタート] ボタンをクリックして [設定] にポインタを合わせ、[コントロールパネル] をクリックする。**
「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 **[画面] アイコンをダブルクリックする。**
「画面のプロパティ」画面が表示されます。

3 **[設定] タブをクリックする。**

4 **「2」と書かれているモニタの絵をドラッグし、「1」と書かれているモニタと接するように移動させ、[OK] をクリックする。**

デュアルディスプレイを解除するには

1 **［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。**

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 **［画面］アイコンをダブルクリックする。**

「画面のプロパティ」画面が表示されます。

3 **［設定］タブをクリックする。**

4 **「2」と書かれているモニタの絵を右クリックする。**

5 **ポップアップメニューの［使用可能］をクリックしてチェックをはずす。**

6 **［OK］をクリックする。**

ウィンドウのデザインを変更する

「UI Design Selector」に対応したソニー製ソフトウェアのインターフェイスデザインを好みに合わせて変更することができます。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 ［UI Design Selector］アイコンをダブルクリックする。

「UI Design Selector」画面が表示されます。
探しているアイコンが見つからない場合は、［すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。］をクリックしてください。

3 ［<<］または［>>］をクリックして、デザインを選ぶ。

4 ［適用］をクリックする。

「UI Design Selector」画面のデザインが変わります。ソニー製ソフトウェアのウィンドウもこの画面と同じデザインになります。

5 デザインを選び直すときは、［<<］または［>>］をクリックする。

6 ［OK］をクリックする。

ソニー製ソフトウェアのウィンドウのデザインが変更され、「UI Design Selector」が閉じます。

アクティブデスクトップを非表示にする

本機の初期設定では、「アクティブデスクトップ」が標準のデスクトップ画面になっています。
このアクティブデスクトップ画面を、Windows Meのデスクトップ画面に表示しないように変更することもできます。

1 **［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。**
「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 **［画面］アイコンをダブルクリックする。**
「画面のプロパティ」画面が表示されます。

3 **［Web］タブをクリックする。**

4 **［Active DesktopにWeb コンテンツを表示］をクリックして、チェックをはずす。**

5 **［OK］をクリックする。**
Windows Meのデスクトップ画面からアクティブウィンドウがはずれます。

選択されている壁紙がアクティブデスクトップを必要とする場合に上記の手順を行うと、「選択された壁紙はActive Desktopが有効になっている場合のみ表示されます。有効にしますか？」というメッセージが表示されます。［いいえ］をクリックするとアクティブデスクトップをはずすことができます。

スティックの設定を変更する

スティックの感度などの設定を好みに合わせて変えることで、スティックをより便利に使えます。次の機能を使って、ほとんど手やポインタの位置を動かさずに片手だけで本機を快適に操作できます。

- プレスセレクト機能
- スクロール／拡大機能

プレスセレクト機能を使う

左ボタンをクリックする操作をスティックを軽くたたく動作で代用できます。右ボタンをクリックする操作の代用にすることもできます。
また、スティックを押さえながら動かして希望の位置で離すとドラッグすることができます。

プレスセレクト機能を使うには

1 ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 ［スティック］アイコンをダブルクリックする。

「スティックのプロパティ」画面が表示されます。
探しているアイコンが見つからない場合は、［すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。］をクリックしてください。

3 ［プレス・セレクト］タブをクリックする。

4 **［プレス・セレクト – オン］のチェックボックスをクリックし、チェックする。**

5 **［OK］をクリックする。**

変更した設定が有効になります。

スティックの感度を調節する

スティックとプレスセレクト機能の感度を同時に調節します。
感度を低く（重く）すると、強く押さなければプレスセレクト機能が効かなくなります。同時にポインタの動きも鈍くなります。感度を高く（軽く）すると、軽く押すだけでプレスセレクト機能が効くようになります。同時にポインタの動きも速くなります。

1 **［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。**

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 **［スティック］アイコンをダブルクリックする。**

「スティックのプロパティ」画面が表示されます。
探しているアイコンが見つからない場合は、［すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。］をクリックしてください。

3 **［感度］タブをクリックする。**

4 **スティックの感度を調節する。**

5 **［OK］をクリックする。**

変更した設定が有効になります。

スクロール／拡大機能を使う

センターボタンを押したときに働く機能を選択します。

- **スクロール機能**
  センターボタンを押しながらスティックを動かすとスクロールバーに触らずに、スクロールバーを動かすことができます。ホームページの下の方を見たいときや、長い文章を読んでいるときなどにこの機能を使うと便利です。
- **拡大機能**
  拡大機能を使うと、画面に四角い虫メガネが現れます。
  虫メガネを移動するには：
  センターボタンを押しながらスティックを動かします。
  虫メガネの倍率を変えるには：
  センターボタンを押しながらクリックします。
  虫メガネのサイズを変えるには：
  センターボタンを押しながら右クリックします。

ご注意

工場出荷時にはスクロール機能に設定されています。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

2 ［スティック］アイコンをダブルクリックする。

「スティックのプロパティ」画面が表示されます。
探しているアイコンが見つからない場合は、［すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。］をクリックしてください。

3 ［スクロール機能］タブをクリックする。

4 ［スクロール］または［拡大表示］のチェックボックスをクリックし、チェックする。

どちらも使わないときは、［オフ］をチェックします。

5 ［OK］をクリックする。

変更した設定が有効になります。

困ったときは

トラブルを解決するには

本機を操作していて困ったときや、トラブルが発生したときは、あわてずに下記の流れに従ってください。
また、メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

手順1　オンラインマニュアルやヘルプで調べる

- 「主なトラブルとその解決方法」（209ページ）をチェックする。
- ソフトウェアのオンラインマニュアルやヘルプ
- Windows Me のヘルプ
  デスクトップ画面左下の［スタート］ボタンをクリックし、［ヘルプ］をクリックして、「ヘルプとサポート」をご覧ください。
- 「サイバーサポート（CyberSupport2.3 for VAIO）」ソフトウェア
  付属の「CyberSupport 2.3 for VAIO」ソフトウェアを使うと、上記のマニュアルかVAIOカスタマーリンクに寄せられたFAQ（よくある質問とその回答）などから自動的に解決方法を検索できます。
  使いかたについて詳しくは、別冊の「VAIOサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

手順2　VAIOカスタマーリンクのホームページを確認する

VAIOカスタマーリンク ホームページでは、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ情報やサービスを掲載しています。
VAIOカスタマーリンク ホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

手順3　VAIOカスタマーリンクに電話で問い合わせる

208ページのお問い合わせ先にご相談ください。

「CyberSupport for VAIO」をはじめてお使いになるときは

VAIO カスタマーリンクのホームページにアクセスし、「CyberSupport 2.3 for VAIO 」ソフトウェアで検索できる情報を更新してください。
更新するには、インターネットに接続した状態で、［最新のデータに更新］をクリックします。自動的に情報が更新されます。最初に更新するときは数十分時間がかかることがありますので、ご注意ください。
操作について詳しくは、別冊の「VAIO サービス・サポートのご案内」をご覧ください。
また、この機能を使うには、あらかじめインターネットに接続していることが必要です。インターネット接続について詳しくは、別冊の「はじめてのインターネット！」をご覧ください。

「ImageStation」や「PercasTV」についてのお問い合わせは

別冊の「インターネットで楽しむ バイオGT & URecSight」をご覧ください。

VAIOカスタマーリンク お問い合わせ先

VAIOカスタマーリンク

電話番号　(0466) 30-3000

受付時間

平日　10時～20時

土、日、祝日　10時～17時

(年末年始は除く)

一般的にお電話は午前中より午後の方がつながりやすくなっております。

- お電話は音声認識を用いた自動音声のアナウンスに従って、ご希望のメニューをお選びください。各メニューの担当オペレーターが対応いたします。
- 付属のソフトウェアについては、「付属ソフトウェア一覧」(235ページ)をご覧になり、各ソフトウェアのお問い合わせ先へお電話ください。

お電話の前に以下の内容をご用意ください

① お客様のVAIOカスタマーID

② 本機の型名：IDラベル (24ページ) または、保証書に記載されています

③ 本機の製造番号：保証書などに記載されている7桁の番号です

④ カスタマー登録していていただいたときの電話番号、または登録予定の電話番号

発信者番号通知でお電話していただくとよりスムーズに担当者につながります。

⑤ 本機に接続している周辺機器名：メーカー名と型名

⑥ 表示されたエラーメッセージ

⑦ 本機に付属していないソフトウェアを追加した場合は、そのソフトウェアの名前とバージョン

⑧ トラブルが発生する前または直前に行った操作

⑨ トラブルがどのくらいの頻度で再現するか

⑩ その他お気づきの点

修理の場合は

⑪ VAIOカルテ：修理をお申し込みになるとき

⑫ 筆記用具：修理を受付する際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です

主なトラブルとその解決方法

ここでは、本機の主なトラブルとその解決方法を説明します。

ご注意

再起動または電源を入れ直す場合は、必ず「電源を切る」（47ページ）の手順に従い、いったん電源を切ってください。
他の方法で本機の電源を切ると、作成したファイルが使えなくなることがあります。

- 電源（210ページ）
- Windowsの起動（212ページ）
- インターネット（214ページ）
- 液晶ディスプレイ・外部ディスプレイ（218ページ）
- ポインティング・デバイス（219ページ）
- キーボード（220ページ）
- 内蔵カメラ（MOTION EYE）（222ページ）
- ソフトウェア（223ページ）
- フロッピーディスク（224ページ）
- CD-ROM・DVD-ROM（225ページ）
- " メモリースティック "（225ページ）
- DV機器・i.LINK機器（227ページ）
- プリンタ（228ページ）
- PCカード（228ページ）
- スピーカー（229ページ）
- マイク（231ページ）
- パスワード（231ページ）
- 省電力動作モード（232ページ）
- ハードディスク（233ページ）
- 文字入力（234ページ）

電源

電源が入らない。（⏻（パワー）ランプがつかないとき）

電源が入らないときの状況によって対処方法が異なります。ACアダプタや、バッテリが正しく接続されていることを確認した上で、以下のいずれかの操作を行ってください。

→ プログラム動作中に異常が発生したので電源を切った場合

プログラムの異常で、電源を制御するコントローラが停止している可能性があります。クリップなどの細い棒で本機底面のリセットスイッチ（27ページ）を押してから、電源を入れ直してください。シャープペンシルの芯など折れやすいものは、本機の故障の原因となりますので使用しないでください。
それでも電源が入らない場合は、ACアダプタとバッテリをはずして1分ほど待ってから再度取り付け直し、電源を入れてください。

→ 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、または湿度の高い場所で使用する場合

本機内部に結露が生じている可能性があります。その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。また、湿度の高い場所（80%以上）でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

電源が入らない。（⏻（パワー）ランプ（グリーン）が点灯するとき）

電源が入らないときの状況によって対処方法が異なります。ACアダプタや、バッテリが正しく接続されていることを確認した上で、以下のいずれかの操作を行ってください。

→ プログラム動作中に異常が発生したので電源を切った場合

クリップなどの細い棒で本機底面のリセットスイッチ（27ページ）を押してから、電源を入れ直してください。シャープペンシルの芯など折れやすいものは、本機の故障の原因となりますので使用しないでください。
それでも電源が入らない場合は、ACアダプタとバッテリをはずして1分ほど待ってから再度取り付け直し、電源を入れてください。

→ 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、または湿度の高い場所で使用する場合

本機内部に結露が生じている可能性があります。その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。また、湿度の高い場所（80%以上）でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

→ 外部ディスプレイに表示が切り替えられている。Fnキーを押しながら、F7キーまたはF8キーを何回か押してください。詳しくは、「Fnキーとの組み合わせ」（74ページ）をご覧ください。ジョグダイヤルを使ってもこの操作ができます。詳しくは、「「ジョグダイヤルランチャー」画面」（60ページ）をご覧ください。

電源が切れない。

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。以下の点を確認した上で、それぞれの操作を行ってください。

→ 新しくインストールしたプログラムやデータ、その操作などを確認してください。

→ 使用中のソフトウェアをすべて終了してください。

→ PCカードをお使いの場合は、「PCカードを取り出す」（174ページ）の手順に従ってPCカードを取り出してください。

→ USB機器を接続しているときは取りはずしてください。

→ 周辺機器を接続している場合やネットワークを使用している場合には、それらを使用しない状態にしてから電源を切る操作を行ってください。Windows Meは、周辺機器やネットワークと通信を行っている間は、電源が切れないしくみになっています。また、周辺機器のデバイスドライバによっては、OSの強制的なプログラムの終了に対応していないものもあります。

→ **「電源を切る」（47ページ）の操作をしても、「Windowsを終了しています」または「電源を切る準備ができました」と表示されたまま動かない場合**

まず、Enterキーを押します。それでも電源が切れない場合は、本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにして、⏻（パワー）ランプが消灯するか確認してください。

→ **「スタート」メニューから［Windowsの終了］を選んでも電源が切れない場合**

Altキーを押しながらF4キーを数回押して「Windowsの終了」画面を表示させます。▼をクリックし、［終了］を選んでから、［OK］をクリックしてください。
Altキーを押しながらF4キーを数回押しても「Windowsの終了」画面が表示されない場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、「プログラムの強制終了」画面が表示されたら、［シャットダウン］をクリックしてください。
それでも電源が切れない場合は、本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにして、⏻（パワー）ランプが消灯するか確認してください。

次のページにつづく

→ **本機の ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにしても、電源が切れない場合**

クリップなどの細い棒で本機底面のリセットスイッチ（27ページ）を押してください。
シャープペンシルの芯など折れやすいものは、本機の故障の原因となりますので使用しないでください。

→ **上記の操作を行っても電源が切れない場合は、ACアダプタとバッテリをはずして電源を切ってください。**

これらの操作を行うと、作成中のデータが破壊されるおそれがあります。また、本機の電源を入れ直した際、「スキャンディスク」ユーティリティが実行されたり、Safe modeで起動することがあります。その場合は、Windowsのデスクトップ画面が表示されるまで画面の指示に従って操作し、その後「電源を切る」（47ページ）の手順に従っていったん本機の電源を正しく切ってください。

省電力動作モードに移行せず、すぐに戻ってしまい、Windowsの動作状態が不安定になる。

→ 使用中のソフトウェアを終了して、本機を再起動してください。再起動できない場合は、⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにして電源を切ってください。

電源が勝手に切れた。

→ バッテリの残量がわずかになると、自動的に休止状態になり、電源が自動的に切れます。

Windowsの起動

電源を入れると、「No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.」や「Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.」、「NTLDR is missing. Press any key to restart.」というメッセージが出て、Windowsが起動できない。

→ フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っているときは、イジェクトボタンを押して、取り出す。その後、キーボードのいずれかのキーを押す。

電源を入れると、「Operating system not found**」と表示され、**Windows**が起動できない。**

→ 再起動してもこのメッセージが表示されWindowsが起動しない場合は以下の項目を確認してください。

- USBフロッピーディスクドライブに起動ディスク以外のフロッピーディスクが入っている場合は、ディスクを取り出してからCtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して本機を再起動する。
- 再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。本機に付属のリカバリ CDを使って、パーティションサイズを変更し、本機を再セットアップしてください。詳しくは、「パーティションサイズを変更する」（282ページ）をご覧ください。

電源を入れると「System Disable**」と表示され、**Windows**が起動しない。**

→ パワーオンパスワードを3回間違えて入力すると、「System Disable」と表示されWindowsが起動しません。本機の ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにして、⏻（パワー）ランプが消灯するか確認してください。
その後、再度本機の電源を入れ、正しいパスワードを入力してください。
パスワードを入力する際は、(Num Lock) ランプや (Caps Lock) ランプが点灯していないか確認してください。点灯してる場合は、Num LkキーまたはShiftキーを押しながらCaps Lockキーを押してランプを消灯させてから入力してください。

ハードディスクから起動できない。

→ USBフロッピーディスクドライブに、フロッピーディスクが入っているとハードディスクから起動できません。フロッピーディスクが入っていないか確認してください。

CD-ROM**から起動できない。**

→ 下記のいずれかの専用ドライブ以外のドライブからは、本機を起動できません。

- CD-ROMドライブ PCGA-CD51 Series または PCGA-CD5
- CD-RWドライブ PCGA-CDRW5_ Series
- DVD-ROMドライブ PCGA-DVD51 Series

なお、ドライブをお使いになるときは、各ドライブに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

電源を入れたあと、「Press <F1> to resume, <F2> to Setup」と表示され、Windowsが起動しない。

→ 内蔵バックアップバッテリが消耗している。

以下の操作を行ってください。

1 電源を入れ、SONYのロゴマークが表示されてから、F2キーを押す。

画面左下に「Entering Setup...」と表示されたあと、BIOSセットアップ画面が表示されます。「Entering Setup...」と表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

2 日時を確認する。

「System Date」、「System Time」に正しい日時が表示されているか確認する。間違った日時が表示されている場合は次の操作をしてください。

①「System Date」の項目に月／日／年（西暦）を入力する。

例：2000年1月31日と設定するには、1＋Enterキー＋31＋Enterキー＋2000＋Enterキーの順で入力します。

② ↓キーで「System Time」を選び、時刻を24時間表示で入力する。

例：午後2時35分00秒と設定するには、14＋Enterキー＋35＋Enterキー＋00＋Enterキーの順で入力します。

3 Escキーを押す。

4 ↓キーで［Get Default Values］を選択し、Enterキーを押す。

5 「Load default configuration now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。

6 ［Exit(Save Changes)］が選ばれていることを確認してEnterキーを押す。

7 「Save configuration changes and exit now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。

上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

インターネット

ダイヤルできない。

→ テレホンコードの接続を確認する。

「発信音が聞こえません」とメッセージが表示されたときは、本機のモジュラジャックと壁側の電話回線のコンセントの接続を確認します。
「カチッ」と音がするまでモジュラジャックに差し込んでください。また、予備のテレホンコードがあれば、テレホンコードを交換して試してみます。
詳しくは、「インターネットへ接続する」（97ページ）をご覧ください。

→ 分配器を使わずに、電話回線のコンセントにテレホンコードを直接接続しているか確認する。また、テレホンコードが長すぎないか、電話機の子機に接続していないか確認する。詳しくは、「インターネットへ接続する」（97ページ）をご覧ください。

→ 3分以内に3回以上同じところにダイヤルした場合はリダイヤル規制がかかり、連続してダイヤルすることができません。3分以上時間をおいてからリダイヤルしてください。

→ モデムがWindowsに正しく認識されているか確認します。

1［スタート］ボタンをクリックし、［設定］を選択して［コントロール パネル］をクリックする。

2［モデム］アイコンをダブルクリックする。

はじめてモデムを使用するときは、「所在地情報」の入力をしてください。

探しているアイコンが見つからない場合は、［すべてのコントロール パネルのオプションを表示する。］をクリックしてください。

3［検出結果］タブをクリックする。

4「Conexant HCF PCI Modem**」が表示されているポートを選択し、［詳細］をクリックする。**

「詳細...」画面が表示されたら、モデムは正しく認識されています。

正しく認識されていないときは次の点を確認してください。

COMポートのリソース（IRQなど）が他のデバイスと競合していないか確認します。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロール パネル］をクリックする。

2［システム］アイコンをダブルクリックする。

探しているアイコンが見つからない場合は、［すべてのコントロール パネルのオプションを表示する。］をクリックしてください。

3［デバイス マネージャ］タブをクリックする。

デバイスのアイコンに「！」がついているものは、他のデバイスと競合を起こしています。

競合している場合は

競合しているデバイスをダブルクリックしてプロパティを開き、［全般］タブの「デバイスの使用」で［このハードウェア プロファイルで使用不可にする］をクリックしてチェックを付け、［OK］をクリックします。
また、競合しているデバイスが着脱可能な場合は、本機から取りはずせば競合は解消します。

→ **ダイヤルトーンを待たずにダイヤルする。**

外線発信番号を設定している場合などは、ダイヤルトーン（受話器を上げたときの「ツー」という音）を待たずにダイヤルするよう、以下の手順で設定します。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2［モデム］アイコンをダブルクリックする。

探しているアイコンが見つからない場合は、［すべてのコントロール パネルのオプションを表示する。］をクリックしてください。

3［全般］タブに表示されているモデムから使用したいモデムを選択し、［プロパティ］をクリックする。

4［接続］タブをクリックし、「トーンを待ってからダイヤルする」のチェックボックスをクリックしてチェックをはずす。

5［OK］をクリックする。

6「モデムのプロパティ」画面の［閉じる］をクリックする。

モデムはダイヤルしているが、接続できない。

うまく接続できないときは、以下の項目を確認してください。

→ お使いの電話回線がトーン式ダイヤルかパルス式ダイヤルかを確認し、モデムのダイヤル方法を確認する。詳しくは、「インターネットへ接続する」（97ページ）をご覧ください。

→ **接続先の電話番号を再確認する。**

「ダイヤルしたコンピュータが応答しませんでした」といったメッセージが表示されたときは、接続先の電話番号を再確認してください。

接続先のサーバーが停止している可能性がありますので、時間をおいて再度ダイヤルしなおしてください。

→ 接続中の動作が長く続くとき

接続中の動作が長く続き、接続が完了しないときは、いったん回線を切断してかけ直します。高い通信速度で接続する場合、まれに接続に失敗して、接続確認の動作が終わらなくなることがあります。

→ **ダイヤルアップネットワークやプロトコルの設定を確認する。**

「ダイヤルアップネットワークによる接続を完了できませんでした。」といったメッセージが表示されるときは、下記の手順でプロバイダやネットワークに接続するための設定を確認します。

設定などに問題がなかった場合は、ダイヤルアップ ネットワークとプロトコルを組み込み直してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロール パネル］をクリックする。

2 ［ダイヤルアップ ネットワーク］アイコンをダブルクリックする。

3 接続先のアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする。

4 契約しているプロバイダから提供された資料に従って設定を確認する。

特に、次の点を重点的に確認してください。

- ［全般］タブ
  「接続方法」と「電話番号」の設定
- ［ネットワーク］タブ
  「ダイヤルアップサーバーの種類」の設定で「PPP：インターネット、Windows 2000/NT、Windows Me」が選択されていることと、「使用できるネットワークプロトコル」の「TCP/IP」がチェックされていることを確認してください。また、［TCP/IP設定］ボタンをクリックし、その設定内容も確認してください。

携帯電話を使って接続できない。

→ 所在地情報を確認してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロール パネル］をクリックする。

2 ［モデム］アイコンをダブルクリックする。

探しているアイコンが見つからない場合は、［すべてのコントロール パネルのオプションを表示する。］をクリックしてください。

3 ［ダイヤルのプロパティ］をクリックする。

4 ［所在地情報］タブの「市外局番」に何も入力されていないときは、「000」や「999」など実在しない番号を入力する。

インターネットに接続できない。

→ デスクトップ画面上の［インターネットに接続］アイコンをダブルクリックして設定を確認する。

→ インターネット接続について詳しくは、「インターネットへ接続する」（97ページ）および別冊の「はじめてのインターネット！」をご覧ください。

最高の通信速度で通信できない。

→ 回線が混み合っている場合や回線の品質が悪い場合は、エラーが発生しないよう自動的に通信速度を落とします。

電子メールが送受信できない。

→ お使いになっているメールソフトウェアの設定を確認してください。

液晶ディスプレイ・外部ディスプレイ

液晶ディスプレイに何も表示されない。

→ LCD/Videoスタンバイモードになっている。キーボードのいずれかのキーを押す。

→ 外部ディスプレイに表示が切り替えられている。Fnキーを押しながら、F7キーまたはF8キーを何回か押してください。詳しくは、「Fnキーとの組み合わせ」（74ページ）をご覧ください。
ジョグダイヤルを使ってもこの操作ができます。詳しくは、「「ジョグダイヤルランチャー」画面」（60ページ）をご覧ください。

液晶ディスプレイと外部ディスプレイに動画やDVDビデオ、内蔵カメラ（MOTION EYE）のファインダなどを同時に表示できない。

→ 液晶ディスプレイと外部ディスプレイに動画やDVビデオ、内蔵カメラ（MOTION EYE）のファインダなどを同時に表示することはできません。表示するディスプレイを選択してください。詳しくは、「表示するディスプレイを選ぶ」（193ページ）をご覧ください。

液晶ディスプレイが暗い。

→ Fnキーを押しながら、F5キーを押すと、液晶ディスプレイの明るさを調節できます。詳しくは、「Fnキーとの組み合わせ」（74ページ）をご覧ください。
ジョグダイヤルを使ってもこの操作ができます。詳しくは、「「ジョグダイヤルランチャー」画面」（60ページ）をご覧ください。

→ 本機はエネルギースター規格に基づいて設計されており、工場出荷時の設定では、AC電源でご使用中に30分以上操作をしないと、自動的に本機の液晶ディスプレイが暗くなります。タッチパッドに触れるかキーボードのいずれかのキーを押すと元の状態に戻ります。

外部ディスプレイに何も表示されない。

→ 表示するディスプレイの設定を確認してください。詳しくは、「表示するディスプレイを選ぶ」（193ページ）をご覧ください。

外部ディスプレイの表示サイズ、表示位置がおかしい。

→ ディスプレイの調整つまみで設定する。詳しくは、ディスプレイの取扱説明書をご覧ください。

デスクトップ画面上にウィンドウやアイコンの軌跡が残る。

→ (Windowsロゴ)キーを押しながらDキーを2回押す。

ポインティング・デバイス

スティックに触れていないのに画面上のポインタが動く。

→ キーボードの矢印キーなどを押していないことを確認してください。

→ 通常の操作状態でスティックを使っていないにもかかわらず、ポインタが自然に動くことがあります。これは「ドリフト」と言い、故障ではありません。
しばらくスティックから指を離しておけば、ポインタは止まります。ドリフトは以下の場合に起こることがあります。

- 電源を入れた直後
- スタンバイから通常モードの状態に戻った直後
- スティックを長時間使用し続けたとき
- 温度が急激に変化したとき

スティックをたたくと、左ボタンを押していないのにクリックされる。

→ プレスセレクト機能が有効になっていないか確認する。（工場出荷時の設定は無効になっています。）詳しくは、「プレスセレクト機能を使う」（200ページ）をご覧ください。

画面上のポインタが動かない。

→「バッテリ低下」のメッセージが表示されている場合は、Enterキーを押して、画面を閉じてください。

→ キーを押して「スタート」メニューを表示させ、↑キーを押して［Windowsの終了］を選んでEnterキーを押し、↑キーまたは↓キーを押して［終了］または［再起動］を選び、Enterキーを押してください。

→ 上記の操作で電源が切れないときは、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを2回押し、本機を再起動してください。

→ 以上の操作でも何も起こらないときは、本機の ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

→ CD-ROMを再生しているときなどにポインタが動かなくなってしまった場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、ディスクの再生を強制的に終わらせ、本機を再起動してください。

画面上のすべてのものが動かなくなってしまった。

→ CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを2回押して本機を再起動してください。

キーボード

キーボードを使って正しく入力できない。

→ U、I、O、J、K、L、M、@などの文字が入力できない場合は、Num Lock（ナムロック）が有効になっている場合があります。
(Num Lock) ランプが点灯していないか確認してください。点灯している場合は、Num Lkキーを押してランプを消灯させてから入力してください。

→ 以下の手順で「デバイス マネージャ」画面を表示し、キーボードの項目が「106日本語（A01）キーボード（Ctrl+英数）」に設定されているか確認してください。異なるキーボードタイプに設定していると、入力したい文字と違う文字が表示されることがあります。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2［システム］アイコンをダブルクリックする。

探しているアイコンが見つからない場合は、［すべてのコントロール パネルのオプションを表示する。］をクリックしてください。

3［デバイス マネージャ］タブをクリックする。

→ 市販のUSB機器（キーボードやテンキーなど）を本機に接続したときなどに、本機のキーボードのキーボード配列が101英語キーボードの設定になり、正しくキーボード入力できないことがあります。その場合は下記の手順に従って操作し、日本語キーボードの設定に戻してください。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2［システム］アイコンをダブルクリックする。

探しているアイコンが見つからない場合は、［すべてのコントロール パネルのオプションを表示する。］をクリックしてください。

3［デバイス マネージャ］タブをクリックする。

4「キーボード」の［+］をクリックする。

5 表示される項目から［106日本語（A01）キーボード（Ctrl+英数）］を選んで右クリックし、［プロパティ］をクリックする。

「106日本語（A01）キーボード（Ctrl+英数）のプロパティ」が表示されます。

6［ドライバ］タブをクリックし、［ドライバの更新］をクリックする。

「デバイス ドライバの更新 ウィザード」画面が表示されます。

7「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）」を選択し、「次へ」をクリックする。

8「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を表示し、インストールするドライバを選択する。」を選択し、［次へ］をクリックする。

9「すべてのハードウェアを表示する」を選択する。

「製造元」と「モデル」の一覧が表示されます。

10「製造元」は［(標準キーボード)］を、「モデル」は［106日本語（A01）キーボード（Ctrl+英数)］をそれぞれクリックして選び、［次へ］をクリックする。

11 ドライバの更新警告メッセージが表示されたら、［はい］をクリックする。

「デバイス ドライバの更新ウィザード」画面が表示されます。

12「106日本語（A01）キーボード（Ctrl+英数)」のドライバがインストールされることを確認してから、［次へ］をクリックする。

ドライバのインストールが始まります。インストールが終わると、「ハードウェア デバイス用に選択したドライバがインストールされました」と表示されます。

13［完了］をクリックする。

「システム設定の変更」画面が表示されます。

14［はい］をクリックする。

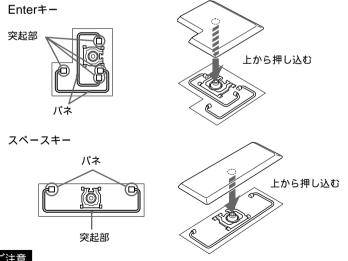
本機が再起動し、キーボードが日本語キーボードの設定に戻ります。

キートップがはずれた

→ Enterキーとスペースキーは以下の図に従って取り付けてください。

その他のキートップがはずれたときは、元の位置に戻して「カチッ」と音がするまで上から押し込んでください。

キートップの取り付けかた

キートップから針金のバネを取りはずして、突起部にひっかけ、キートップの中心を合わせて「カチッ」と音がするまで上から押し込む。

ご注意

- キートップを故意にはずさないでください。故障の原因となります。
- 取り付けるときに無理に力を加えると破損の原因となります。取り扱いには充分ご注意ください。

困ったときは

内蔵カメラ（MOTION EYE）

内蔵カメラ（MOTION EYE）を使って、暗い背景の中で明るい被写体を映すと縦に尾を引いたような画像になる。

→「スミア」という現象で故障ではありません。

「URecSight」ソフトウェアが起動しない、または起動後に内蔵カメラ（MOTION EYE）が正常に動作しない。

→ 本機から「Smart Capture」ソフトウェアをアンインストール（削除）すると、「URecSight」は正常に使用できなくなります。「Smart Capture」をアンインストールしてしまった場合は、付属のアプリケーション リカバリCD-ROMを使って「Smart Capture」を再インストールしてください。

「URecSight」ソフトウェアのファインダに映る画像が粗い。

→ 動きの速い被写体をファインダに表示させると、画面の途中に水平方向に段差のようなものが発生することがありますが、故障ではありません。

内蔵カメラ（MOTION EYE）で取り込んだ静止画、動画の画像が悪い。

→ 取り込んだ画像に暗い部分があるときは、赤や緑のノイズがでることがあります。

→ レンズが汚れていると、きれいに撮影できません。汚れていたらきれいにしてください。詳しくは、「レンズのお手入れ」（291ページ）をご覧ください。

→ ピントが合わない場合は、内蔵カメラ（MOTION EYE）の「フォーカス」の設定を「マニュアル」にして、フォーカスリングでピントを合わせてください。詳しくは、「内蔵カメラ（MOTION EYE）の画質などを設定する」（151ページ）をご覧ください。

動画を取り込むときに、コマ落ちが発生したり、音声が途切れたりする。

→「URecSight」のエフェクトの設定により、コマ落ちが発生することがあります。詳しくは、「URecSight」のヘルプをご覧ください。ヘルプを見るには、（アプリケーション）ボタンを押してメニューを表示させ、ジョグダイヤルで［ヘルプ］を選んでからジョグダイヤルを押します。

内蔵カメラ（MOTION EYE）からの映像が表示されない。

→ 他に内蔵カメラ（MOTION EYE）を使うソフトウェア（Smart Capture、CyberCode Finderなど）が起動しています。それらのソフトウェアを終了してください。

→ 画面モードや色数、その他の使用状況によっては、ビデオメモリが不足するため内蔵カメラ（MOTION EYE）からの映像が表示されない場合があります。その場合は、解像度を下げたり色数を減らしてください。詳しくは、「ディスプレイの設定を変更する」（191ページ）をご覧ください。

→ カメラ設定ユーティリティを起動し、「標準に戻す」を選択してください。詳しくは、「内蔵カメラ(MOTION EYE)の画質などを設定する」(151ページ)をご覧ください。

→ 上記のことをしても、内蔵カメラ(MOTION EYE)からの映像が表示されない場合は、本機を再起動してください。

CyberCodeを内蔵カメラ(MOTION EYE)にかざしても、登録されているソフトウェアが起動しない。

→ 内蔵カメラ(MOTION EYE)からの距離が遠すぎたり、CyberCodeが斜めになっていたり、手ぶれをおこしているとうまく起動しません。しっかりと固定して、まっすぐ内蔵カメラ(MOTION EYE)に映してください。

→ 逆光や反射、暗がりではうまく映りません。適度な明るさの場所で使用してください。

→ ピントが合わない場合は、内蔵カメラ(MOTION EYE)の「フォーカス」の設定を「マニュアル」にして、フォーカスリングでピントを合わせてください。詳しくは、「内蔵カメラ(MOTION EYE)の画質などを設定する」(151ページ)をご覧ください。

「CyberCode Finder」ソフトウェアで正しく画像認識されない。

→ ピントが合わない場合は、内蔵カメラ(MOTION EYE)の「フォーカス」の設定を「マニュアル」にして、フォーカスリングでピントを合わせてください。詳しくは、「内蔵カメラ(MOTION EYE)の画質などを設定する」(151ページ)をご覧ください。

→ カメラ設定ユーティリティを起動し、「標準に戻す」を選択してください。詳しくは、「内蔵カメラ(MOTION EYE)の画質などを設定する」(151ページ)をご覧ください。

ソフトウェア

複数ソフトウェアの連係操作を行うと、メッセージが表示され、本機が正しく動作しない。

→ 「Navin' You」から「Smart Capture」や「PictureGear」を起動するなど、複数ソフトウェアの連係操作を行った場合、次のようなメッセージが表示され、本機が正しく動作しなくなることがあります。
「90パーセント以上のシステムリソースが現在使用されています。使用していないプログラムを終了し、システムリソースを解放しないと、コンピュータが応答しなくなる可能性があります。」
この場合は、以下の操作を行って、システムリソースを充分に確保した上で、ソフトウェアをご使用になることをおすすめします。

次のページにつづく

- 使用しないソフトウェアを終了する。
- アクティブデスクトップを停止する。

  デスクトップ画面上で右クリックし、［アクティブデスクトップ］にポインタを合わせ、「Webページで表示」がチェックされている場合は、チェックをはずします。
- 使用していない常駐ソフトウェアを終了する。

  「VirusScan」ソフトウェアなど、デスクトップ画面右下のタスクトレイに常駐しているソフトウェアを終了します。「VirusScan」を終了するには、タスクトレイにある と をそれぞれ右クリックし、［終了］にポインタを合わせてクリックします。

フロッピーディスク

フロッピーディスクが取り出せない。

→ USBフロッピーディスクドライブを取りはずして、VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

「ディスクがいっぱいです」というメッセージが表示され、ファイルなどをフロッピーディスクに保存できない。

→ フロッピーディスクの容量の空きがない。容量の空きが充分にある別のフロッピーディスクを使って保存し直してください。

「書き込み禁止」というメッセージが表示された。

→ フロッピーディスクが書き込み禁止になっている。タブを動かして書き込み可能にしてください。詳しくは、「フロッピーディスクのデータを誤って消さないようにする」（88ページ）をご覧ください。

「マイ コンピュータ」からフロッピーディスクを選んで初期化しようとしたができない。

→ フロッピーディスクが書き込み禁止になっている。タブを動かして書き込み可能にしてください。詳しくは、「フロッピーディスクのデータを誤って消さないようにする」（88ページ）をご覧ください。

→ フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブにきちんと入っているか確認してください。

→「アプリケーションが使用中です」というメッセージが表示されるときは、フロッピーディスクの内容が画面表示されている。画面表示されているときは初期化できないので、フロッピーディスクのウィンドウを閉じてください。

ハードディスクから起動できない。

→ USBフロッピーディスクドライブに、フロッピーディスクが入っているとハードディスクから起動できません。フロッピーディスクが入っていないか確認してください。

CD-ROM • DVD-ROM

→ CD-ROMドライブから起動できない。

下記のいずれかの専用ドライブ以外のドライブからは、本機を起動できません。

- CD-ROMドライブ PCGA-CD51 Series または PCGA-CD5
- CD-RWドライブ PCGA-CDRW5_ Series
- DVD-ROMドライブ PCGA-DVD51 Series

なお、ドライブをお使いになるときは、各ドライブに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

→ PCGA-DVD51 SeriesでDVDビデオを再生中に音が切れたり、コマ落ちする。

PCGA-DVD51 Seriesに付属のACアダプタを接続してください。詳しくは、PCGA-DVD51 Seriesの取扱説明書をご覧ください。

“ メモリースティック ”

「書き込み禁止」または「書き込み保護されています」というメッセージが表示された。

→ “ メモリースティック ”が書き込み禁止になっている。タブを動かして書き込み可能にしてください。詳しくは、「“ メモリースティック ”のデータを誤って消さないようにする」(93ページ)をご覧ください。

“ メモリースティック ”を取り出したらディスプレイ画面が青くなり、「ドライブS:のディスク読み取りエラー シリアル番号xxxx-xxxxのディスクをドライブS:に入れてください」と表示される。

→ 再度“ メモリースティック ”を差し込み、Enterキーを押す。使用中のアプリケーションの処理が終了するまで待ってから、“ メモリースティック ”を取り出してください。

→ 上記操作中に、「使用中のドライブのEJECT要求を受け取りました。取り出し操作を実行しますか?」というメッセージが表示されたら、[OK] をクリックしてください。

ご注意

“ メモリースティック ”を取り出すときは、(メモリースティック)ランプが点灯していないことを確認してください。

“ メモリースティック ”を挿入すると、「このメディアは使用できません。著作権非対応のメディアか不正なメディアが挿入されています」などのメッセージが表示される。

→ “ メモリースティック ”内に保存されている静止画像などを表示／再生する場合は、下記の手順で「OpenMG Jukebox」ソフトウェアの設定を確認してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックする。

2 ［プログラム］にポインタを合わせ、［OpenMG Jukebox］**から、**［OpenMG Jukebox］**をクリックする。**

3 ［ファイル］メニューから［設定］を選んでクリックする。

4 ［一般］タブをクリックする。

5 「Jukebox Startup**をシステムトレイに追加する」がチェックされていないことを確認する。**

チェックされているときは、クリックしてチェックをはずします。

“ メモリースティック ”が使えない、S:**ドライブにアクセスできない。**

→ 下記の手順で操作してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロール パネル］をクリックする。

2 ［システム］アイコンをダブルクリックする。

探しているアイコンが見つからない場合は、［すべてのコントロール パネルのオプションを表示する。］をクリックしてください。

3 ［更新］をクリックする。

“ メモリースティック ”を挿入しても、画像が表示されない。

→ 工場出荷時の設定では、“ メモリースティック ”を挿入すると自動的に「VisualFlow」が起動するよう設定されています。「VisualFlow」が起動しても、“ メモリースティック ”内の画像が表示されない場合は、“ メモリースティック ”のフォーマット形式が違う可能性があります。この場合は、“ メモリースティック ”内のデータをハードディスクなどにいったんコピーした後、本機に付属の「メモリースティックフォーマッタ」ソフトウェアでフォーマットしなおしてください。

“ メモリースティック ”を挿入してもS:**ドライブにアクセスできない。または、“ メモリースティック ”を挿入すると「**VisualFlow**」が起動するが、“ メモリースティック ”の内容が表示されない。**

→ 省電力動作モードで「スーパースタミナ」モードを選んでいるときは、“ メモリースティック ”は使用できません。「スーパースタミナ」モード以外のプロファイルを選んでください。詳しくは、「本機の動作モードを設定する（プロファイル）」（185ページ）をご覧ください。

DV機器・i.LINK機器

DV機器が使用できない。または、「DV機器が接続されていないか、電源が入っていないので、動作しません。」などのメッセージが表示される。

→ DV機器の電源が入っているか、またはケーブルが正しく接続されているか確認してください。詳しくは、「i.LINK対応機器をつなぐ」（157ページ）をご覧ください。

→ i.LINKでは、複数の機器を接続して動くように設計されていますが、機器との組み合わせによっては、動作が不安定になることがあります。接続されている機器すべての電源をいったん切り、なるべく不要な機器を取りはずして、ケーブルの接続を確認した後、再度電源を入れてください。

→ 省電力動作モードで「スーパースタミナ」モードを選んでいるときは、「DVgate」ソフトウェアを使用して本機にデータを取り込むことはできません。「スーパースタミナ」モード以外のプロファイルを選んでください。詳しくは、「本機の動作モードを設定する（プロファイル）」（185ページ）をご覧ください。

本機と接続したi.LINK対応機器が認識されない。または、「DV機器が接続されていないか、電源が入っていないので、動作しません。」などのメッセージが表示される。

→ いったんi.LINKケーブルを抜き、再度接続し直してください。詳しくは、「i.LINK対応機器をつなぐ」（157ページ）をご覧ください。

→ 省電力動作モードで「スーパースタミナ」モードを選んでいるときは、「DVgate」ソフトウェアを使用して本機にデータを取り込むことはできません。「スーパースタミナ」モード以外のプロファイルを選んでください。詳しくは、「本機の動作モードを設定する（プロファイル）」（185ページ）をご覧ください。

「DVgate」ソフトウェアを使用してテープに録画中、「DV機器への録画に失敗しました。DV機器の電源、接続の状態を確認して操作をやり直してください」というメッセージが表示される。

→ DV機器の電源やケーブルが正しく接続されているかどうか確認してください。また、続けて録画を行っていると、機器が正しく接続されていても、録画できなくなる場合があります。その場合、すべてのソフトウェアを終了してから本機を再起動してください。
さらに快適な環境でご使用いただくためには、メモリの増設をおすすめします。詳しくは、「メモリを増設する」（172ページ）をご覧ください。

「DVgate」ソフトウェアを使用中にフレーム落ちが生じる。

→ 使用状況によってはフレーム落ちが生じることがあります。その場合は、メモリの増設をしてください。詳しくは、「メモリを増設する」（172ページ）をご覧ください。

「DVgate」ソフトウェアを使用して本機にデータを取り込めない。

→ 省電力動作モードで「スーパースタミナ」モードを選んでいるときは、「DVgate」ソフトウェアを使用して本機にデータを取り込むことはできません。「スーパースタミナ」モード以外のプロファイルを選んでください。詳しくは、「本機の動作モードを設定する（プロファイル）」（185ページ）をご覧ください。

プリンタ

プリンタで印刷できない。

→ Windows Me対応でないプリンタドライバではお使いになれません。

→ お使いのプリンタの製造元からWindows Meに対応したドライバを入手してお使いいただくか、プリンタの製造元へお問い合わせください。

PCカード

PCカードが使えない。

→ Windows Me対応でないPCカードは使えないことがあります。

→ 以前使用できたPCカードが使用できなくなった場合は、下記の手順でドライバの更新を行ってください。

1. **［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。**
2. **［システム］アイコンをダブルクリックする。**
   探しているアイコンが見つからない場合は、［すべてのコントロール パネルのオプションを表示する。］をクリックしてください。
3. **［デバイス マネジャ］タブをクリックする。**
4. **動作しないPCカードをダブルクリックして、プロパティ画面を表示する。**
5. **［ドライバ］タブの［ドライバの更新］をクリックする。**

→ 以下の手順で「デバイス マネージャ」を表示し、PCカードに「！」が付いている場合は、ドライバを削除してインストールし直してください。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2［システム］アイコンをダブルクリックする。

探しているアイコンが見つからない場合は、［すべてのコントロール パネルのオプションを表示する。］をクリックしてください。

3［デバイス マネージャ］タブをクリックする。

スピーカー

スピーカーから音が出ない。

→ 本機の内蔵スピーカーが「切」になっている。Fnキーを押しながら、F3キーを押してください。詳しくは、「Fnキーとの組み合わせ」（74ページ）をご覧ください。
ジョグダイヤルを使ってもこの操作ができます。詳しくは、「「ジョグダイヤルランチャー」画面」（60ページ）をご覧ください。

→ 本機の内蔵スピーカーの音量が最小になっている。Fnキーを押しながら、F4キーを押したあと、↑または→キーを押して音量を上げてください。
ジョグダイヤルを使ってもこの操作ができます。詳しくは、「「ジョグダイヤルランチャー」画面」（60ページ）をご覧ください。

→ 再生音量を確認してください。

→ 外部スピーカーをお使いの場合は、本機とスピーカーが正しく接続されているか確認してください。

→ 外部スピーカーの音量が最小になっている。音量つまみで音量を上げてください。詳しくは、スピーカーに付属の取扱説明書をご覧ください。

→ ∩コネクタにケーブルをつないでいるときは、ケーブルをはずしてください。

本機に接続したドライブで音楽CDを再生してもスピーカーから音が出ない。

→ CD-ROMドライブPCGA-CD51 SeriesまたはCD-RWドライブPCGA-CDRW5_ Series、DVD-ROMドライブ PCGA-DVD51 Seriesをお使いの場合は、本機にドライブをつないだ状態で下記の手順で設定を確認してください。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2［システム］アイコンをダブルクリックする。

探しているアイコンが見つからない場合は、［すべてのコントロール パネルのオプションを表示する。］をクリックしてください。

3「デバイス マネージャ」タブの［CD-ROM］をダブルクリックする。

4「CD-ROM」の下に表示されたお使いのドライブ名をダブルクリックする。

5「プロパティ」タブをクリックし、「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽を使用可能にする」のチェックボックスがチェックされていることを確認する。

チェックされていないときは、クリックしてチェックします。

→ CD-ROMドライブ PCGA-CD5をお使いの場合、本機の内蔵スピーカーからは音は出ません。音楽CDを聞くには、ヘッドホンや外部スピーカーなどをCD-ROMドライブにつないでください。また、上記の手順1から4を行い、手順5で「このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする」のチェックボックスをクリックしてチェックをはずします。

Fnキーを押しながらF3キーまたはF4キーを押しても、何も表示されない。

→ 下記の手順で操作してください。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2［システム］アイコンをダブルクリックする。

探しているアイコンが見つからない場合は、［すべてのコントロール パネルのオプションを表示する。］をクリックしてください。

3［デバイス マネージャ］タブをクリックしてから、サウンドデバイスを使用できるように設定する。

「Windows Media Player」ソフトウェアで再生中、音声に雑音が混じる。

→「Media Bar」ソフトウェアで再生してください。

マイク

マイクが使えない。

→ 録音デバイスとしてマイクが選択されていない可能性があります。下記の手順に従って選択してください。

1 デスクトップ画面右下の 🔈 をダブルクリックする。

2 ［オプション］メニューから［プロパティ］を選ぶ。

3「音量の調整」の［録音］と「表示するコントロール」の「Microphone」をチェックし、[OK] をクリックする。

4「Microphone」の「選択」がチェックされていることを確認する。
チェックされていないときは、クリックしてチェックします。

5 スライダを上下に動かして好みの音量に調整する。

→「Media Bar」などの音声を扱うソフトウェアと同時に動かしている場合は、それらのソフトウェアを終了させてください。

→ プラグインパワー方式以外のマイクはお使いになれません。

内蔵ステレオマイクで音声を録音すると雑音が入る。

→ ハードディスクのアクセス音などが録音されてしまうためで、故障ではありません。

音声を扱うソフトウェアでエラーメッセージが表示された。

→ 下記の手順で操作して、マイクエコーを無効にしてください。

1［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2［ヤマハ DS-XG設定］アイコンをダブルクリックする。
探しているアイコンが見つからない場合は、［すべてのコントロール パネルのオプションを表示する。］をクリックしてください。

3［エコー］タブをクリックする。

4［有効］をクリックしてチェックをはずし、[OK] をクリックする。

→ 他の音声を扱うソフトウェアと同時に動かしている場合は、それらのソフトウェアを終了させてください。

パスワード

パスワードを忘れた。

→ パスワードを忘れてしまったときは、修理（有償）が必要となります。
VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

省電力動作モード

設定した省電力動作モードに移行しない。（最初にお読みください）

下記の手順で現在の設定を確認してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［プログラム］にポインタを合わせ、［アクセサリ］を選んで、［システムツール］を選び、［システム情報］をクリックする。

「ヘルプとサポート」画面が表示されます。

2 ［ツール］メニューの［システム設定ユーティリティ］をクリックする。

「システム設定のユーティリティ」画面が表示されます。

3 ［全般］タブの［詳細設定］をクリックする。

「アドバンストラブルシューティングの設定」画面が表示されます。

ここで下記の項目を確認します。

- 「スタンバイ機能は使用可能です」と表示されているか？
  「スタンバイ機能は使用不可です」と表示されていたら［使用可能にする］ボタンをクリックします。
  初期設定では使用可能になっており、［使用可能にする］ボタンは表示されていません。
- 「休止機能は使用可能です」と表示されているか？
  「休止機能は使用不可です」と表示されていたら［使用可能にする］ボタンをクリックします。
  初期設定では使用可能になっており、［使用可能にする］ボタンは表示されていません。

4 設定後［OK］をクリックし、再起動する。

「VAIO Action Setup」で省電力動作モードにならない。

動作しているプログラムやデバイスによっては、省電力動作モードに移行できないことがあります。

バッテリ残量がわずかなのに、休止状態にならない。

使用中のソフトウェアや接続している周辺機器によっては、Windowsからの指示で作業を一時中断することができないため、この機能が正しく働かないことがあります。

休止状態に移行できない。

下記の操作を行ってください。

→ モデム通信、プリンタユーティリティなどが使用中の場合は、終了するか一時的に使用不可にしてください。

→ Fnキーを押しながら F12 を押して休止状態に移行できない場合は、次の手順で「Hotkey Utility」が表示されるか確認してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2 ［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックする。

「Hotkey Utility」が表示されるか確認してください。表示されない場合は、ジョグダイヤルを使って「電源管理（PowerPanel）」の を選択してください。

→ それでも休止状態に移行できない場合は、下記の手順で確認してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2 ［電源の管理］アイコンをダブルクリックする。

探しているアイコンが見つからない場合は、［すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。］をクリックしてください。

3 ［休止状態］タブをクリックし、「休止状態をサポートする」がチェックされているか確認する。

チェックがされていないときは、チェックボックスをクリックしてチェックを付けてください。

ハードディスク

誤ってハードディスクを初期化してしまった。

→ リカバリ CDを使って、本機を再セットアップする必要があります。詳しくは、「リカバリ CDで本機を再セットアップする」（277ページ）をご覧ください。

ハードディスクから起動できない。

→ USBフロッピーディスクドライブに、フロッピーディスクが入っているとハードディスクから起動できません。フロッピーディスクが入っていないか確認してください。

文字入力

日本語が入力できない。

→ 詳しくは、「文字を入力する」（76ページ）をご覧ください。

キーボードを使って正しく入力できない。

→ U、I、O、J、K、L、M、@などの文字が入力できない場合は、Num Lock（ナムロック）が有効になっている場合があります。

(Num Lock) ランプが点灯していないか確認してください。点灯している場合は、Num Lkキーを押してランプを消灯させてから入力してください。

→ 以下の手順で「デバイス マネージャ」画面を表示し、キーボードの項目が「106日本語（A01）キーボード（Ctrl+英数）」に設定されているか確認してください。異なるキーボードタイプに設定していると、入力したい文字と違う文字が表示されることがあります。

1 ［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロールパネル］をクリックする。

2 ［システム］アイコンをダブルクリックする。

探しているアイコンが見つからない場合は、［すべてのコントロール パネルのオプションを表示する。］をクリックしてください。

3 ［デバイス マネージャ］タブをクリックする。

入力した文字が表示されない。

→ 文字を入力したいソフトウェアの画面が前面に出ていない。（デスクトップ画面上では薄い色の画面になります。）画面のどこかをクリックするか、Altキーと Tabキーを同時に押して目的のソフトウェアを前面に出し、使える状態にしてください。

付属ソフトウェア一覧

ここでは、本機に付属しているソフトウェアについて簡単に説明しています。付属ソフトウェアに関する詳細のお知らせにつきましては、それぞれのオンラインマニュアルをご覧いただくか、各お問い合わせ先へ直接ご連絡ください。お問い合わせ先は、各ソフトウェアの説明の下に記載されています。

クリエーション

Adobe PhotoDeluxe for ファミリー 4.0

デジタルスチルカメラなどで撮影した画像を修正したり、加工するためのソフトウェアです。色合いやコントラストを変えて画像を補正したり、他の画像から切り抜いた画像を合成したりできます。
デジタルスチルカメラなどから取り込んだ画像を基にしてカードなどの作品を作るときに便利です。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
アドビ システムズ サポート契約センター

電話番号：(03) 5350-8688
初回コールより90日間の無料サポート。以後は同社による有料サポートメニューが用意されています。

起動するときは	［スタート］→［プログラム］→［Adobe]→［PhotoDeluxe for ファミリー 4.0］→［Adobe PhotoDeluxe for ファミリー 4.0］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	［スタート］→［プログラム］→［Adobe]→［PhotoDeluxe for ファミリー 4.0］→［Adobe PhotoDeluxe for ファミリー テクニカルノート］をクリックして付属のオンラインマニュアルをご覧いただくか、「Adobe PhotoDeluxe for ファミリー」のヘルプメニューをクリックしてヘルプを開きます。

DVgate Version 2.2

i.LINK（IEEE1394）コネクタまたはDV端子を持つデジタルビデオカメラレコーダーなどの機器と映像をやりとりするためのソフトウェアです。DV機器からパソコンに動画や静止画を取り込んだり、パソコンで作成した映像をDV機器で録画したりできます。
また、取り込んだ動画や静止画のカット編集を行うこともできます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク
電話番号：(0466) 30-3000

起動するときは	目的に合わせて、[スタート] → [VAIO] → [DVgate] → [DVgate Assemble]、[DVgate Motion]、[DVgate Still] をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	[スタート] → [VAIO] → [マニュアル] →「DVgateマニュアル」をクリックしてオンラインマニュアルをご覧いただくか、[スタート] → [プログラム] → [DVgate] → [DVgate ヘルプ]、をクリックしてヘルプを開きます。

ご注意

「DVgate」ソフトウェアを使うには、データスペースとしてD:ドライブが必要です。本機は、ハードディスクがC:ドライブとD:ドライブの2つに分かれています（工場出荷時）。付属のリカバリ CD-ROMを使って、パーティションサイズを変更できます。操作のしかたなど詳しくは、「パーティションサイズを変更する」（282ページ）をご覧ください。

Microsoft® Windows® ムービー メーカー

オーディオやビデオの素材を作成して素材ファイルを取り込み、編集や並べ替えを行ってムービーを作成することができるソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

起動するときは	［スタート］→［プログラム］→［アクセサリ］→［Windows ムービー メーカー］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	「Windows ムービー メーカー」のヘルプメニューをクリックしてヘルプを開きます。

MovieShaker Version 1.2

「Smart Capture」などのソフトウェアで取り込んだ動画を手軽に編集し、楽しむためのソフトウェアです。
文字タイトルなどのさまざまな特殊効果を加えるなど、簡単に動画編集ができます。
また、作成したデータをホームページに掲載したり、電子メールに添付して送ることもできます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

起動するときは	［スタート］→［VAIO］→［MovieShaker］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	［スタート］→［VAIO］→［マニュアル］→「MovieShaker マニュアル」をクリックしてオンラインマニュアルをご覧いただくか、MovieShakerの画面右上の ? をクリックしてヘルプを開きます。

PictureGear Version 5.0

いろいろな種類の画像や映像データを一括して表示し、管理するためのソフトウェアです。パノラマ画像やラベル、HTMLアルバムなど画像データを使っていろいろなものを作ることができます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

起動するときは	［スタート］→［VAIO］→［PictureGear 5.0］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	［スタート］→［VAIO］→［マニュアル］→「PictureGear マニュアル」をクリックしてオンラインマニュアルをご覧いただくか、PictureGear Version 5.0のヘルプメニューをクリックしてヘルプを開きます。

PictureToy Version 1.0

写真や地図などの静止画を下敷きとして、そのうえに重ねてお絵描きができるソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

起動するときは	［スタート］→［VAIO］→［PictureToy 1.0］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	PictureToy Version 1.0のヘルプメニューをクリックしてヘルプを開きます。

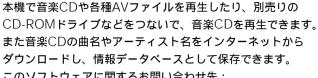
オーディオ&ビジュアル

Beatnik Player Version 2.0

インターネット上で音楽やサウンドをインタラクティブに体験することを可能にする、ウェブブラウザ用のプラグイン・ソフトウェアです。
Beatnik対応のホームページを閲覧すると、アイコンにマウスポインタを合わせただけで音声やジングルが聞こえたり、瞬時に楽曲を試聴したり、音楽を編集して楽しむリミックスを体験することができます。
このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
電子メール：vaiouser@beatnik.com

操作がわからなくなったときは	［スタート］→［プログラム］→［Beatnik Player］→［ドキュメント（オンライン）］をクリックして表示します。インターネットに接続する必要があります。

Media Bar Version 3.2

本機で音楽CDや各種AVファイルを再生したり、別売りのCD-ROMドライブなどをつないで、音楽CDを再生できます。また音楽CDの曲名やアーティスト名をインターネットからダウンロードし、情報データベースとして保存できます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

初めて使うときは	デスクトップ画面上の［AV再生の設定］アイコンをダブルクリックしてセットアップを行います。
起動するときは	目的に合わせて、［スタート］→［VAIO］→［Media Bar］→［Media Bar］、［Media Bar Launcher］、［Music Visualizer］、［VIDEO CD Player］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	［スタート］→［VAIO］→［マニュアル］→「Media Barマニュアル」をクリックしてオンラインマニュアルをご覧いただくか、［スタート］→［プログラム］→［Media Bar］→［Media Bar ヘルプ］をクリックしてヘルプを開きます。

Windows Media™ Player 7

音楽や動画などのファイルを再生するためのソフトウェアです。
このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

起動するときは	デスクトップ画面上の［Windows Media Player］アイコンをダブルクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	「Windows Media Player」のヘルプメニューをクリックしてヘルプを開きます。

OpenMG Jukebox Version 1.3J for VAIO

ソニーの開発した著作権保護技術「OpenMG」を採用し、パソコンのハードディスクに保存したデジタル音楽コンテンツを楽しむためのソフトウェアです。
音楽CDの曲を「OpenMG Jukebox」で扱えるデータ形式に変換して取り込み、パソコン上で再生したり、対応ポータブルプレーヤーに転送（チェックアウト）して持ち出して聞くことができます。
また、インターネットなどを利用した音楽配信サービスから、デジタル音楽コンテンツをダウンロードして再生することもできます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
　　ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

起動するときは	［スタート］→［プログラム］→［OpenMG Jukebox］→［OpenMG Jukebox］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	「OpenMG Jukebox」のヘルプメニューをクリックしてヘルプを開きます。

ご注意

別売りのCD-ROMドライブPCGA-CD5は、「OpenMG Jukebox」での音楽の取り込みにはお使いになれません。

PicoPlayer Version 4.0

「Giga Pocket」ソフトウェア（Version 4.0以降）が搭載されている「バイオ」と組み合わせて使用するソフトウェアです。ご利用にあたっては、本機の他に「Giga Pocket」ソフトウェアが搭載されている「バイオ」が必要です。
「Giga Pocket」ソフトウェアで録画したテレビ番組（MPEG1形式のみ）を再生したり、「Giga Pocket」ソフトウェアが搭載されている「バイオ」へ録画予約を設定することができます。
このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

起動するときは	[スタート] → [プログラム] → [Giga Pocket] → [PicoPlayer] をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	ヘルプメニューをクリックしてヘルプを開きます。

QuickTime 4.1

QuickTimeは、マルチプラットフォーム対応マルチメディア・アーキテクチャの業界標準です。
多くのソフトウェア会社やコンテンツ・クリエータが、グラフィックスや音、映像、文書、音楽を提供するのに利用している技術です。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

起動するときは	目的に合わせて、[スタート] → [プログラム] → [QuickTime] → [QuickTime Player]、[PictureViewer] をクリックして起動します。

RealPlayer 7

インターネットライブなど、インターネットで配信されているストリーミング動画を再生するソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
　リアルネットワークス株式会社　サポートセンター

電話番号：(03) 5466-1458

起動するときは	［スタート］→［プログラム］→［Real］→［RealPlayer 7 Basic］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	［スタート］→［プログラム］→［Real］→［RealPlayer 7 Basic］→［RealPlayer 7 ヘルプ］をクリックしてヘルプを開きます。

エンターテインメント

CyberCode Finder Version 2.4

内蔵カメラ（MOTION EYE）にCyberCodeを認識させることによって登録してあるプログラムを自動的に起動するソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

起動するときは	［スタート］→［VAIO］→［CyberCode Finder］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	「内蔵カメラ（MOTION EYE）でソフトウェアを起動する」（124ページ）をご覧いただくか、［スタート］→［プログラム］→［CyberCode］→［CyberCodeヘルプ］をクリックしてヘルプを開きます。

コミュニケーション

AOL 5.0 for Windows

オンラインサービス「America Online」を利用するための
ソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
AOLジャパン株式会社 AOLサポートセンター

電話番号：（03）5331-7400

初めて使うときは	デスクトップ画面上の［Welcome!］ボタンをクリックするか、［インターネット接続サービス］アイコンをダブルクリックして入会手続きを行います。 手順について詳しくは、「カスタマー登録する／インターネットに接続する」（41ページ）および別冊の「はじめてのインターネット！」をご覧ください。
操作がわからなくなったときは	付属のパンフレットをご覧いただくか、AOL 5.0 for Windows のヘルプメニューをクリックしてヘルプを開きます。

DIONオンラインサインアッププログラム

インターネット接続サービス「DION」に入会するためのソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
KDDIカスタマサービスセンター

内容に関するお問い合わせ
電話番号：（0077）7192（無料）

接続・設定などに関するお問い合わせ
電話番号：（0077）20227（有料、全国一律1分10円）

上記番号につながらない場合は
札幌（011）232-7012／東京（03）5351-9333（有料）

初めて使うときは	デスクトップ画面上の［Welcome!］ボタンをクリックするか、［インターネット接続サービス］アイコンをダブルクリックして入会手続きを行います。 手順について詳しくは、「カスタマー登録する／インターネットに接続する」（41ページ）および別冊の「はじめてのインターネット！」をご覧ください。
操作がわからなくなったときは	付属のパンフレットをご覧ください。

Microsoft® Internet Explorer 5.5

インターネット用のブラウザです。インターネットのさまざまな情報を表示したり、パソコンに保存されているファイルを見ることができます。指定した時刻の自動巡回やインターネットラジオの接続、検索アシスタントを用いた柔軟な検索などの優れた機能を搭載しています。また本機のデスクトップ環境をインターネット対応にする、電子メールの送受信、ネットニュースの購読、ビデオ会議などの機能が統合されています。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

初めて使うときは	［スタート］→［VAIO］→［インターネット］→［Internet Explorer］をクリックしてセットアップを行います。
起動するときは	目的に合わせて、各アプリケーションをクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	Microsoft Internet Explorer 5.5のヘルプメニューをクリックしてヘルプを開きます。

Netscape Communicator 4.73 日本語版

インターネット用のブラウザ「Netscape Navigator」をはじめ、ディスカッション（ニュース）グループの利用、画像を埋め込んだリッチHTML電子メールの作成、ウェブページの作成、編集、オーディオ／ビデオ会議のサポートなど、インターネットに関するさまざまな機能を統合した便利なソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
Netscapeホームページ
http://home.jp.netscape.com/ja/index.html

初めて使うときは	［スタート］→［VAIO］→［インターネット］→［Netscape Communicator］をクリックしてセットアップを行います。
起動するときは	目的に合わせて、各アプリケーションをクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	「Netscape Communicator 4.73 日本語版」のヘルプメニューをクリックしてヘルプを開きます。

ご注意

本機に付属している「Netscape Communicator」のバージョンは、Windows Meでは正式にサポートしていません。VAIOカスタマーリンクではサポートを行っておりませんのでご注意ください。

@niftyでインターネット

インターネット接続サービス「@nifty」に入会するためのソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ニフティ株式会社　@niftyサービスセンター

電話番号：(0120) 816-042 (フリーダイヤル)

受付時間：9時〜21時　年中無休

初めて使うときは	デスクトップ画面上の [Welcome!] ボタンをクリックするか、[インターネット接続サービス] アイコンをダブルクリックして入会手続きを行います。 手順について詳しくは、「カスタマー登録する／インターネットに接続する」(41ページ) および別冊の「はじめてのインターネット！」をご覧ください。
起動するときは	[スタート] → [VAIO] → [インターネット] → [@niftyでインターネット] をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	付属のパンフレットをご覧ください。

ODNスターターキットソフトウェア

日本テレコムのインターネット接続サービス「ODN」へ入会し、パソコンの設定も自動的に行えるソフトウェアです。
ODNダイヤルアップサービスは、アナログ回線やISDN回線を利用したインターネット接続サービスです。あらゆるコミュニケーションで、あなたのネットワーク環境をサポートします。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
日本テレコム株式会社 ODNサポートセンター

電話番号：0088-86 (無料)

初めて使うときは	デスクトップ画面上の [Welcome!] ボタンをクリックするか、[インターネット接続サービス] アイコンをダブルクリックして入会手続きを行います。 手順について詳しくは、「カスタマー登録する／インターネットに接続する」(41ページ) および別冊の「はじめてのインターネット！」をご覧ください。
操作がわからなくなったときは	付属のパンフレットをご覧ください。

Microsoft® Outlook Express 5.5

電子メールを送受信するためのメールソフトです。
このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
　　　　ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

初めて使うときは	［スタート］→［プログラム］→［Outlook Express］をクリックしてセットアップを行います。
起動するときは	［スタート］→［プログラム］→［Outlook Express］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	「Outlook Express」のヘルプメニューをクリックしてヘルプを開きます。

PostPet ver.2.0jp

ペットが電子メールを運ぶ、ユニークなメールソフトです。
テディベアやうさぎなど8種類のペットの中から好きなペットを1匹選び、そのペットを育てます。ペットは、メールを運ぶだけでなく、飼い主や、飼い主の友達に手紙や日記を書いたりもします。
また、ポストペットと連動して開設されている「ポストペットパーク」には、飼い主とそのペット達が参加できるイベントがたくさん用意されています。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
　　　　ポストペットホームページ
　　　　http://www.so-net.ne.jp/postpet/

起動するときは	［スタート］→［プログラム］→［PostPet for Windows ver. 2.0］→［PostPet for Windows ver. 2.0］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	［スタート］→［プログラム］→［PostPet for Windows ver. 2.0］→［PostPet for Windows ver. 2.0の使い方］をクリックしてヘルプを開きます。

ご注意

「ポストペット」はインターネット専用の電子メールソフトです。
電子メールの送受信には、POP3またはAPOPサーバー、およびSMTPサーバーに対応したプロバイダとの契約が必要です。

P'zDialer

ネットワークサービス「ぷらら」を利用するためのソフトウェアです。初心者の方でも簡単にアクセスでき、インターネットの世界をお楽しみいただけます。また、ぷらら独自のオンラインショッピングやコンテンツサービスも豊富で、よりネットワークをお楽しみいただけます。

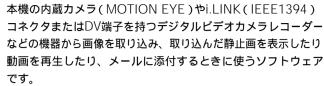
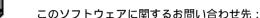
このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
株式会社ぷららネットワークス「ぷららダイアル」

電話番号：(03) 5954-5330

初めて使うときは	デスクトップ画面上の［Welcome!］ボタンをクリックするか、［インターネット接続サービス］アイコンをダブルクリックして入会手続きを行います。 手順について詳しくは、「カスタマー登録する／インターネットに接続する」(41ページ) および別冊の「はじめてのインターネット！」をご覧ください。
起動するときは	［スタート］→［VAIO］→［インターネット］→［P'zDialer］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	［スタート］→［プログラム］→［P'zPub］→［ぷらら入会案内］をクリックするか、付属のパンフレットをご覧ください。

Smart Capture Version 4.1

本機の内蔵カメラ（MOTION EYE）やi.LINK（IEEE1394）コネクタまたはDV端子を持つデジタルビデオカメラレコーダーなどの機器から画像を取り込み、取り込んだ静止画を表示したり動画を再生したり、メールに添付するときに使うソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：

ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

起動するときは	目的に合わせて、［スタート］→［VAIO］→［Smart Capture］→［Movie Player］、［Smart Capture］、［Still Viewer］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	［スタート］→［VAIO］→［マニュアル］→「Smart Capture マニュアル」をクリックしてオンラインマニュアルをご覧いただくか、［スタート］→［プログラム］→［Smart Capture］→［Smart Capture ヘルプ］をクリックしてヘルプを開きます。

Smart Publisher Version 1.4

Smart Writeで作成したデータをHTML形式で出力し、FTPや電子メールなどを使ってインターネットに送信するときに使うソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：

ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

起動するときは	［スタート］→［VAIO］→［ステーショナリ］→［Smart Publisher］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	［スタート］→［プログラム］→［Smart ユーティリティ］→［Smart Publisher Online Help］をクリックしてヘルプを開きます。

So-net オンラインサインアップソフトウェア

インターネットサービスプロバイダ「So-net」に入会するためのソフトウェアです。画面に表示された指示に従って操作するだけで、誰でも簡単にSo-netに入会できます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
So-netインフォメーションデスク

電話番号：（0570）00-1414（全国共通）
携帯・PHSからおかけになる場合は、こちらへおかけください。
東京（03）3446-7555／名古屋（052）819-1300
大阪（06）6577-4000／札幌（011）711-3765
仙台（022）256-2221／広島（082）286-1286
福岡（092）624-3910
受付時間：10時～21時　年中無休

ご入会方法、サービス内容のお問い合わせ、各種会員情報の変更方法や課金状況の確認などのお問い合わせは、上記の電話番号のほか、ファックスや電子メールでも承ります。

ファックス番号：（03）3446-7557
電子メール：info@so-net.ne.jp

初めて使うときは	デスクトップ画面上の［Welcome!］ボタンをクリックするか、［インターネット接続サービス］アイコンをダブルクリックして入会手続きを行います。 手順について詳しくは、「カスタマー登録する／インターネットに接続する」（41ページ）および別冊の「はじめてのインターネット！」をご覧ください。
操作がわからなくなったときは	［スタート］→［プログラム］→［So-net］→［So-netについて］をクリックします。

URecSight

内蔵カメラ（MOTION EYE）を使って静止画や動画を撮影して取り込んだり、取り込んだ画像をインターネット上の「ImageStation」サービスにアップロードして保管したり、「PercasTV」サービスを利用して、ネット上に撮影している動画を配信するときに使うソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

• PC**スタイルで起動するときは**	[スタート] → [VAIO] → [URecSight] → [URecSight － ライブ／CastaDrive] または [URecSight － 撮影／ImageStation] をクリックして起動します。
• **カメラシューティングスタイルで起動するときは**	MENUボタンを押してシステムメニューを表示させ、ジョグダイヤルで [URecSight 撮影/ImageStation] または [URecSight ライブ/CastaDrive] を選んで、ジョグダイヤルを押して起動します。
• PC**スタイルで操作がわからなくなったときは**	[スタート] → [プログラム] → [URecSight] → [URecSight オンライン ヘルプ] をクリックしてヘルプを開きます。
• **カメラシューティングスタイルで操作がわからなくなったときは**	（アプリケーション）ボタンを押してメニューを表示させ、ジョグダイヤルで [ヘルプ] を選んでから、ジョグダイヤルを押してヘルプを開きます。

ZEROサインアップ

インターネット接続サービス「ZERO」に入会するためのソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ゼロ株式会社

電話番号：(0120) 522-555（フリーダイヤル）

ファックス番号：(03) 5381-4511

電子メール：support@zero.ad.jp

受付時間：10時〜21時　(土・日・祝日を除く)

初めて使うときは	デスクトップ画面上の［Welcome!］ボタンをクリックするか、［インターネット接続サービス］アイコンをダブルクリックして入会手続きを行います。 手順について詳しくは、「カスタマー登録する／インターネットに接続する」（41ページ）および別冊の「はじめてのインターネット！」をご覧ください。

さぱり ミレニアム

「さぱり」はインターネット上の仮想空間です。「さぱり」の「公園」や「コースト」などを訪れる人は、「アバター」と呼ばれる動物や住人に身を変え、歩いたり、話したりすることができます。

「さぱり」には次のコンテンツがあります。

• ガーデン •コースト • 温泉 • 下町横丁
• 公園 • 山の手 • 本所時代村

コンテンツについて詳しくは、[スタート] → [プログラム] → [さぱり ミレニアム] → [あそびかた] をご覧ください。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

起動するときは	目的に合わせて、[スタート] → [VAIO] → [さぱり ミレニアム] → [GO ガーデン]、[GO コースト]、[GO 温泉]、[GO 下町横丁]、[GO 公園]、[GO 山の手]、[GO 本所時代村] をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	[スタート] → [プログラム] → [さぱり ミレニアム] → [マニュアル] または [あそびかた] をクリックしてリファレンスマニュアルを開きます。

ご注意

「さぱり ミレニアム」は従来の「さぱり」と同じ名称のコンテンツであっても、違う仮想空間（ワールド）へ入ります。あらかじめご了承ください。
最新情報はさぱりホームページ（http://pc.sony.co.jp/sapari/）をご覧ください。

バイオネットワークサービスオンラインサインアップ

VAIOカスタマー専用のインターネット接続サービス「バイオネットワークサービス」に入会するためのソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニースタイルドットコム・ジャパン（株）
バイオネットワークサービスセンター

電話番号：(03) 5783-1133

初めて使うときは	デスクトップ画面上の［Welcome!］ボタンをクリックするか、［インターネット接続サービス］アイコンをダブルクリックして入会手続きを行います。 手順について詳しくは、「カスタマー登録する／インターネットに接続する」（41ページ）および別冊の「はじめてのインターネット！」をご覧ください。
操作がわからなくなったときは	［スタート］→［プログラム］→［VAIOネットワークサービス］→［ヘルプ］をクリックしてヘルプを開きます。

リファレンスツール

Adobe Acrobat Reader 4.0

PDF（Portable Document Format）形式の書類を画面上で読むためのソフトウェアです。読むだけでなく、書類中の単語を検索したり、書類を印刷したりできます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
　　　　ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

初めて使うときは	［スタート］→［プログラム］→［Adobe Acrobat 4.0］→［Acrobat Reader 4.0］をクリックすると、「ソフトウェア使用許諾契約書」が表示されるので、画面の指示に従って操作してください。
起動するときは	［スタート］→［プログラム］→［Adobe Acrobat 4.0］→［Acrobat Reader 4.0］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	Acrobat Reader 4.0のヘルプメニューをクリックしてヘルプを開きます。

Navin' You Version 4.6

本機で地図を見たり、インターネットから店舗情報を検索したり、地図上で路線の探索などが行えるソフトウェアです。
株式会社ゼンリンの「Navin' You専用マップ」シリーズ、または、株式会社アルプス社の「プロアトラス」シリーズの地図CD-ROMを表示することができます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

起動するときは	［スタート］→［VAIO］→［Navin' You 4.6］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	［スタート］→［VAIO］→［マニュアル］→［Navin' You マニュアル］をクリックしてオンラインマニュアルをご覧いただくか、［スタート］→［プログラム］→［Navin' You 4.6］→［Navin' You Help］をクリックしてヘルプを開きます。

ご注意

お使いになる地図によっては、機能の制限があります。

Navin' You専用マップサンプル版

Navin' You専用マップサンプル版は、東京23区／名古屋市／大阪市エリアの機能限定版です。
Navin' You Version 4.6を使って見ることができます。
このサンプル版では機能の制限があります。詳しくは、Navin' Youのオンラインマニュアルをご覧ください。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
株式会社ゼンリン　お客様ご相談窓口

電話番号：(03) 5259-5077

受付時間：10時～12時／13時～17時　月～金（祝日は除く）

Roboword Version 4.0 for VAIO

訳したい英単語の上にポインタを置くだけで、その単語の意味が表示されます。ワープロなどで作った書類上に表示される英単語だけでなく、メニューの文字やヘルプ画面の英単語、またホームページ上の英単語なども和訳されます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
株式会社テクノクラフト Robowordユーザーサポート

電話番号：（03）5821-1830

起動するときは	［スタート］→［プログラム］→［瞬間翻訳 ロボワード Ver 4.0］→［ロボワード Ver4.0］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	［スタート］→［プログラム］→［瞬間翻訳 ロボワード Ver 4.0］→［ヘルプ］をクリックしてヘルプを開きます。

ハイパーダイヤ

時刻表、経路および運賃を検索できるソフトウェアです。発着駅および出発、到着時刻を設定するだけで、乗車日を考慮した3万本を超える列車時刻表データベースの中から最適な乗り継ぎ経路と時刻、運賃を自動検索します。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
（株）日立情報システムズ
ハイパーダイヤ ユーザーサポートセンター

電話番号：（03）3464-7844

起動するときは	［スタート］→［プログラム］→［ハイパーダイヤ］→［ハイパーダイヤ］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	［スタート］→［プログラム］→［ハイパーダイヤ］→［ハイパーダイヤ取扱説明書］をクリックします。

郵便番号検索ツール

郵便番号から住所を検索したり、住所から郵便番号を検索するソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

起動するときは	［スタート］→［VAIO］→［ステーショナリ］→［郵便番号検索ツール］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	郵便番号検索ツールのヘルプメニューをクリックしてヘルプを開きます。

ステーショナリ

Smart Write

文字や音声、画像を組み合わせて、ドキュメントを手軽に編集し、データを作成できるソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

起動するときは	[スタート] → [VAIO] → [ステーショナリ] → [Smart Write] をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	[スタート] → [プログラム] → [Smart ユーティリティ] → [Smart Write Online Help] をクリックしてヘルプを開きます。

ユーティリティ

CyberSupport 2.3 for VAIO

本機を使っていて困ったことや疑問があった場合に使用するソフトウェアです。
本機に付属の取扱説明書を閲覧したり、VAIOカスタマーリンクに寄せられた、よくあるお問い合わせの中から回答を検索することができます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク
電話番号：（0466）30-3000

起動するときは	デスクトップ画面上の［CyberSupport 2.3 for VAIO］アイコン をダブルクリックするか、［スタート］→［VAIO］→［CyberSupport 2.3 for VAIO］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	画面左下の［使い方］をクリックして表示される説明をご覧ください。

VAIOカスタマーリンクのホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）にアクセスし、「CyberSupport 2.3 for VAIO」ソフトウェアで検索できる情報を更新してください。
更新するには、インターネットに接続した状態で、画面左下の［最新のデータに更新］をクリックします。自動的に、情報が更新されます。
最初に更新するときは数十分時間がかかることがありますので、ご注意ください。
操作について詳しくは、別冊の「VAIOサービス・サポートのご案内」をご覧ください。
また、この機能を使うには、あらかじめインターネットに接続していることが必要です。インターネット接続について詳しくは、「カスタマー登録する／インターネットに接続する」（41ページ）、「インターネットへ接続する」（97ページ）および別冊の「はじめてのインターネット！」をご覧ください。

PowerPanel

バッテリの消費電力を調整したり、本機の動作モードを切り替えるためのソフトウェアです。
また、バッテリの残量を確認したり、あらかじめ設定した残量になると警告が表示されるように設定することもできます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

操作がわからなくなったときは	「バッテリの消費電力を節約する」(184ページ) をご覧いただくか、[スタート] → [プログラム] → [PowerPanel] → [ヘルプ] をクリックしてヘルプを開きます。

「PowerPanel」は本機の電源を入れると自動的に起動します。

Sony Notebook Setup

本機をご使用になる環境や好みに合わせた動作環境をつくるためのソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

起動するときは	[スタート] → [VAIO] → [ノートブック ユーティリティ] → [Sony Notebook Setup] をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	「本機の使用環境を設定する」(178ページ) をご覧いただくか、[スタート] → [プログラム] → [Sony Notebook Setup] → [Sony Notebook Setup Online Help] をクリックしてヘルプを開きます。

UI Design Selector

ソニー製ソフトウェアのインターフェイスデザインを好みに合わせて変更するためのソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

起動するときは	［スタート］→［設定］→［コントロール パネル］→［UI Design Selector］アイコンをダブルクリックして起動します。 探しているアイコンが見つからない場合は、［すべてのコントロール パネルのオプションを表示する。］をクリックしてください。
操作がわからなくなったときは	「ウィンドウのデザインを変更する」（198ページ）をご覧ください。

VAIO Action Setup

本機のジョグダイヤルの働きを設定するためのソフトウェアです。タイマー設定や“メモリースティック”などの設定をすることもできます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

起動するときは	ジョグダイヤルウィンドウ右下の［Setup］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	「「VAIO Action Setup」で好みのソフトウェアを自動的に起動する」（111ページ）および「ジョグダイヤルにソフトウェアを登録する」（103ページ）をご覧いただくか、「VAIO Action Setup」の［ヘルプ］をクリックしてヘルプを開きます。

VirusScan

本機のファイルを検索してウィルスを発見し、除去するためのソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
日本ネットワークアソシエイツ株式会社
テクニカルサポート

電話番号：(03) 5428-1101

起動するときは	[スタート] → [プログラム] → [McAfee VirusScan] → [McAfee VirusScan セットアップ] をクリックして、インストールを行います。 インストールについて詳しくは、「コンピュータウイルスについて」(272ページ) をご覧ください。
操作がわからなくなったときは	McAfee VirusScanのヘルプメニューをクリックしてヘルプを開きます。

VisualFlow Version 2.0

“メモリースティック”に保存されている静止画像、動画、音声ファイルを表示し、選択したファイルを他のソフトウェアで表示／再生することができます。ハードディスクやMOディスクなど、他のメディアでも同じことができます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

起動するときは	[スタート] → [プログラム] → [VisualFlow 2.0] → [VisualFlow 2.0] をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	画面下にあるツールバーの右端にポインタを移動し、表示されるサブツールバーにある をクリックしてヘルプを開きます。

“メモリースティック”を挿入したときに、自動的に「VisualFlow」ソフトウェアが起動します。「VisualFlow」以外のソフトウェアが起動するように設定したいときは、「VAIO Action Setup」ソフトウェアを使います。詳しくは、「メモリースティックランチャーの設定を変更する」(117ページ) をご覧ください。

カメラ設定ユーティリティ

内蔵カメラ（MOTION EYE）の画質やモードに関する設定をするためのソフトウェアです。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

起動するときは	［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］→［MOTION EYE］アイコンをダブルクリックして起動します。 探しているアイコンが見つからない場合は、［すべてのコントロール パネルのオプションを表示する。］をクリックしてください。
操作がわからなくなったときは	「内蔵カメラ（MOTION EYE）の画質などを設定する」（151ページ）をご覧いただくか、カメラ設定ユーティリティの［ヘルプ］ボタンをクリックしてヘルプを開きます。

ジョグダイヤルウィンドウ

本機のジョグダイヤルを使ってできる操作のガイドを表示します。「VAIO Action Setup」ソフトウェアを起動して、ジョグダイヤルの働きを設定することもできます。
また、ジョグダイヤルを使ってさまざまなソフトウェアも操作できます。詳しくは、「ジョグダイヤルを使う」（59ページ）をご覧ください。

これらのソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

操作がわからなくなったときは	「ジョグダイヤルを使う」（59ページ）および「ジョグダイヤルでスクリーンセーバーを操作する」（108ページ）をご覧ください。 また、「VAIO Action Setup」のヘルプもあわせてご覧ください。

メモリースティックフォーマッタ

“ メモリースティック ”をフォーマットするための専用ソフトウェアです。Windows上で再フォーマットするときには、必ずこのソフトウェアを使用してください。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：(0466) 30-3000

起動するときは	［スタート］→［プログラム］→［Memory Stick Utility］→［Memory Stick Formatter］をクリックして起動します。
操作がわからなくなったときは	［スタート］→［プログラム］→［Memory Stick Utility］→［Memory Stick Formatter Help］をクリックしてヘルプを開きます。

VAIOオンラインカスタマー登録

本機のカスタマー登録をするためのソフトウェアです。画面の指示に従って必要事項を記入するだけで、簡単にカスタマー登録していただくことができます。また、登録情報に変更が生じた際はこのソフトウェアで変更することもできます。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマー専用デスク

電話番号：（03）3584-6651

起動するときは	デスクトップ画面上の［Welcome!］ボタンをクリックするか、［スタート］→［VAIO］→［VAIOオンラインカスタマー登録］をクリックして登録を行います。手順について詳しくは、「カスタマー登録する／インターネットに接続する」（41ページ）をご覧ください。

リカバリ CD-ROM

本機の操作中に誤ってハードディスクを初期化してしまったり、システムファイルを消してしまった場合に、ハードディスクの内容を工場出荷時の状態に戻すためのCD-ROMです。
詳しくは、「リカバリ CDで本機を再セットアップする」（277ページ）をご覧ください。

このソフトウェアに関するお問い合わせ先：
ソニー株式会社　VAIOカスタマーリンク

電話番号：（0466）30-3000

その他

コンピュータウイルスについて

コンピュータウイルスとは、コンピュータの中のファイルやプログラムに悪影響を与えるプログラムのことです。ほとんどがいたずら半分で作成されたものですが、下記の「コンピュータウイルスに侵入されると…」に見られるような被害が起きてしまいます。
コンピュータウイルスは他のプログラムと異なり、それ自体が増殖し、データのコピーなどを通じて他のコンピュータにも悪影響を及ぼしていきます。

コンピュータウイルスに侵入されると…

- 意味不明なメッセージや、ウイルスが侵入したことを知らせるメッセージが画面上に表示される。
- ファイルが勝手に消去される。
- ハードディスク上の情報が意味のないものに書き換えられる。
- 画面上に意味のないものが表示される。
- ハードディスク上の空き容量が急に小さくなる。

本機には、コンピュータウイルス検査・ウイルス除去用ソフトウェアとして「VirusScan」が用意されています。コンピュータウイルスから守るため、定期的なウイルスチェックをおすすめします。
本機で「VirusScan」を初めてお使いになるときは、次の手順に従ってインストール作業を行ってください。また、「「VirusScan」をご使用になる際のご注意」（276ページ）もあわせてご覧ください。
なお、「VirusScan」について詳しくは「VirusScan」のヘルプをご覧になるか、下記にお問い合わせください。
日本ネットワークアソシエイツ株式会社　テクニカルサポート
電話番号：(03) 5428-1101

1 ［スタート］ボタンをクリックして［プログラム］にポインタを合わせ、［McAfee VirusScan］から［McAfee VirusScan セットアップ］をクリックする。

「VirusScan 5.02J セットアップ」画面が表示されます。

2 ［次へ］をクリックする。

「使用許諾契約書」画面が表示されます。

3 内容を確認後、「使用許諾契約書の条項に同意します」をクリックしてチェックし、[次へ]をクリックする。

「セットアップ方法」画面が表示されます。

次のページにつづく

4 ［すべて］を選択して［次へ］をクリックする。

「設定のセットアップ」画面が表示されます。

5 「ウィークリーのスキャンを設定します」と「スタートアップ時にスキャンします」をそれぞれクリックしてチェックをはずし、［次へ］をクリックする。

「プログラムのインストール準備ができました」画面が表示されます。

6 ［インストール］をクリックする。

インストールが始まります。

7 「設定のセットアップ」画面が表示されたら、セットアップ方法を選択して［次へ］をクリックする。

どちらのセットアップ方法も、インストール手順が終了してからでも行うことができます。その場合は、それぞれのチェックをはずしてください。

ご注意

- 「VirusScan アップデートを実行します」を選択すると、インターネットへ接続してVirusScanのアップデートを行います。インターネットへ接続するための設定をしていない場合は、ここではチェックをはずしてください。インストール終了後にアップデートすることもできます。
  また、インターネット接続について詳しくは、別冊の「はじめてのインターネット！」をご覧ください。
- レスキューディスクを作成するには、別売りのUSBフロッピーディスクドライブPCGA-UFD5が必要です。

8 「Readmeの表示」画面が表示されたら、「セットアップ完了時にVirusScanのReadmeファイルを表示する」がチェックされていることを確認してから［次へ］をクリックする。

インストールが終了すると、Readmeファイルが表示されます。

9 ［完了］をクリックする。

これでインストールは完了です。

「VirusScan」をご使用になる際のご注意

- インストールを行うと、次回起動時から「McAfee VShield」がデスクトップ画面右下のタスクトレイに常駐し、ウイルスの自動監視を行います。メモリに常駐するため、Windowsのシステムリソースを消費します。また、Windowsの起動時間が長くなる場合があります。
  以下の方法でアンインストールを行えば、工場出荷時の状態に戻すことができます。
  1 **［スタート］ボタンをクリックして［設定］にポインタを合わせ、［コントロール パネル］をクリックする。**
  2 **［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックする。**
  3 **「インストールと削除」タブのプログラム一覧から**［VirusScan 5.02J］**を選択し、［追加と削除］をクリックする。**
  4 **「**VirusScan 5.02J **セットアップ」画面が表示されたら、［次へ］をクリックする。**
  5 **「プログラムの削除」画面が表示されたら、［削除］をクリックする。**
  アンインストール作業が始まります。
  6 **「**VirusScan 5.02J **セットアップウィザード完了」画面が表示されたら、［完了］をクリックする。**
  これで、アンインストールは終了です。
- 新種のウイルスに対応するため、ウイルスに関するデータファイルは常に更新することをおすすめします。インターネット上で、下記のURLより最新データファイルを入手できます。
  http://www.nai.com/japan/
- ウイルスデータファイルの更新や「VirusScan」ソフトウェアの使いかたについて詳しくは、「VirusScan」のヘルプをご覧ください。

リカバリ CDで本機を再セットアップする

ここでは、下記のいずれかの専用ドライブと付属のリカバリ CDを使って、本機を再セットアップする方法を説明します。お使いになるドライブに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

- CD-ROMドライブ PCGA-CD51 Series または PCGA-CD5
- CD-RWドライブ PCGA-CDRW5_ Series
- DVD-ROMドライブ PCGA-DVD51 Series

リカバリ CDとは

付属のリカバリ CDには「システム リカバリ CD-ROM」と「アプリケーション リカバリ CD-ROM」の2種類あり、出荷時のハードディスク内のすべてのファイルが保存されています。誤ってハードディスクを初期化してしまったり、あらかじめインストールされているソフトウェアを消してしまった場合には、「システム リカバリ CD-ROM」と「アプリケーション リカバリ CD-ROM」の両方のリカバリ CDを使って本機を再セットアップすることで、ハードディスクの内容を出荷時の状態に戻すことができます。

リカバリ CDを使うと、次のことができます

- ハードディスクを初期化したうえで、すべてのファイルを復元する。
- ハードディスクのパーティションサイズを変更する。詳しくは、「パーティションサイズを変更する」（282ページ）をご覧ください。

ご注意

- 付属のリカバリ CDは本機でのみ使用できます。他の製品では動作しません。
- リカバリ CDで再セットアップできるのは、本機に標準で付属されているソフトウェアのみです。ご自分でインストールしたソフトウェアや、作成したデータを復元することはできません。またWindows Meだけを復元することもできません。
- ご自分で変更された設定は、再セットアップ後はすべて初期値に戻ります。再セットアップ後に、もう1度設定し直してください。
- 再セットアップする際は、必ず「システム リカバリ CD-ROM」と「アプリケーション リカバリ CD-ROM」の両方のリカバリ CDを使って行ってください。

再セットアップする前に

本機を再セットアップする前に、大切なデータは必ずバックアップをとってください。

バックアップをとるには、次の方法があります。

- フロッピーディスクにコピーする。
- CD-RW/CD-Rにコピーする。
- D:ドライブにデータを残して、再セットアップする。
  本機のハードディスクは、C:ドライブとD:ドライブの2つのパーティションに分かれています。「本機を再セットアップするには」の手順6（280ページ）で「フォーマットしてリカバリ」を選んだ場合、C:ドライブのファイルはすべて消えてしまいますが、D:ドライブにあるファイルは残ります。

ご注意

「本機を再セットアップするには」の手順6（280ページ）で「パーティションサイズを変更してリカバリ」または「出荷時の状態へリカバリ」を選んだ場合は、それ以前にハードディスク上にあったファイルは、C:ドライブだけでなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。

本機を再セットアップするには

すべての周辺機器をはずし、ACアダプタと本機専用ドライブのみを接続してから、作業を行ってください。

本機を再セットアップするには、下記のいずれかの専用ドライブが必要です。ドライブをお使いになるときは、各ドライブに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

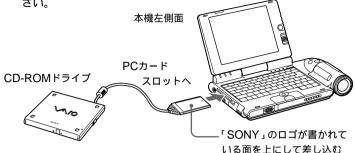
- CD-ROMドライブ PCGA-CD51 Series または PCGA-CD5
- CD-RWドライブ PCGA-CDRW5_ Series
- DVD-ROMドライブ PCGA-DVD51 Series

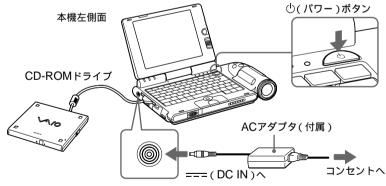
パーティションサイズを変更するときは、「パーティションサイズを変更する」（282ページ）をご覧ください。

ご注意

再セットアップした場合、それ以前にハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいます。再セットアップを行う前に、大切なデータはCD-RW/CD-Rに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

1 **ドライブを本機に取り付ける。**

詳しくは、「CD-ROMドライブを取り付ける」（95ページ）をご覧ください。

- PCGA-CD5をお使いのときは
  PCGA-CD5に付属のACアダプタを取り付け、ドライブの電源を入れてください。
- PCGA-CDRW5_ Seriesをお使いのときは
  ドライブ底面にある切り替えスイッチを「Recovery」に合わせます。
- PCGA-DVD51 Seriesをお使いのときは
  PCGA-DVD51 Seriesに付属のACアダプタは取り付けないでください。

2 **本機をACアダプタにつなぎ、電源を入れる。**

3 **付属の「システム リカバリ CD-ROM Vol.1 of 2」をドライブに入れてから、[スタート] ボタンをクリックし、[Windowsの終了] をクリックする。**

4 **[終了] を選択し、[OK] をクリックする。**

本機の電源が切れます。

その他

5 本機の電源を入れる。

「システム リカバリ CD-ROM リストアユーティリティ」画面が表示されます。

6 画面の指示に従って操作する。

操作を続けるかどうか表示されたときは、Yキーを押してからEnterキーを押してください。

画面の指示に従って操作をしていくと、メニュー画面が表示されます。再セットアップの方法を選び、引き続き画面の指示に従って操作してください。通常は「フォーマットしてリカバリ」を選ぶことをおすすめします。

再セットアップを中止するときは「4」を選び、Enterキーを押します。

7 「2枚目のディスクを入れてください。」というメッセージが表示されたら、付属の「システム リカバリ CD-ROM Vol.2 of 2」をドライブに入れ、いずれかのキーを押す。

再セットアップの続きが始まります。

8 「システム リカバリ CD-ROM」のセットアップが終わると、「再起動後に、BIOSの設定値を初期化してもよろしいですか(Yes/No)?」とメッセージが表示されるので、Yキーを押してから、Enterキーを押す。

9 画面の指示に従って、「システム リカバリ CD-ROM」を取り出してから何かキーを押し、本機を再起動する。

10 「新しいハードウェアの設定を完了するには、コンピュータを再起動してください。今すぐ再起動しますか?」というメッセージが表示されたら、そのまま長時間放置せずに[はい]をクリックして本機を再起動する。

11 「Windows Meを準備する」(35ページ)の手順1～8に従って、Windows Meのセットアップを行う。

12 Windowsのセットアップが終了したら、付属の「アプリケーションリカバリ CD-ROM」をドライブに入れる。

自動的にアプリケーションソフトウェアのセットアップが始まります。アプリケーションソフトウェアのセットアップが終わるとメッセージが表示されるので、[OK]をクリックして本機を再起動してください。

13 「VAIO 初期設定マネージャ」が表示されたら、［OK］をクリックする。

システムの初期設定が始まります。
設定が終わると「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。今すぐ再起動しますか？」というメッセージが表示されるので、［はい］をクリックして本機を再起動してください。

ご注意

- 手順13で［キャンセル］をクリックしてシステムの初期設定を行わない場合は、VAIOの独自のジョグダイヤル機能や、電源管理ツール、便利なポインティング・デバイスのスクロール機能、Fnキーと組み合わせたキーボードショートカット機能など、ハードウェア機能の一部が使用できなくなります。
- 別売りのCD-ROMドライブ PCGA-CD5を使って本機を再セットアップする場合、再セットアップ作業が途中で中断されることがあります。この場合は、CD-ROMドライブの電源をいったん切り、再度電源を入れ直すと作業が再開されます。

パーティションサイズを変更する

本機のハードディスクはC:ドライブとD:ドライブの2つのパーティションに分かれており、D:ドライブは、「DVgate」ソフトウェアなどで取り込んだ動画などの容量が大きいデータを保存したり、操作したりするための領域（データスペース）として使えるように設定されています（工場出荷時）。付属のリカバリ CDを使ってパーティションサイズを変更できます。
動画の取り込みや書き出しを行う場合は大容量のデータを高速で読み書きするため、ハードディスクの断片化が起こり、フレーム落ちの原因となります。そのためデータスペースとしてお使いになるパーティションは、ハードディスクの空き容量が常に連続になるよう、最適化（デフラグ）またはフォーマットを行ってください。
パーティションを区切ると、Windows MeはC:ドライブにインストールされます。
C:ドライブを最適化するには非常に時間がかかる場合がありますので、D:ドライブをデータスペースとしてお使いになることをおすすめします。

ご注意

ハードディスクのパーティションサイズを変更すると、それ以前にハードディスク上にあったファイルは、C:ドライブだけではなく、D:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。パーティションサイズを変更する前に、大切なデータはCD-RW/CD-Rに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

1 「本機を再セットアップするには」（278ページ）の手順1～6を行う。

2 メニュー画面が表示されたら、「2. パーティションサイズの変更...」を選び、Enterキーを押す。
パーティションサイズの選択画面が表示されます。
Escキーを押すと、現在のパーティションサイズを確認できます。

3 パーティションサイズを選び、Enterキーを押す。
サイズ変更を中止する場合は、Nキーを押してからEnterキーを押すと手順2の画面に戻ります。

4 画面の指示に従って操作をする。
操作を続けるかどうか表示されたときは、Yキーを押してからEnterキーを押してください。
パーティションサイズが変更され、自動的に本機が再起動します。
再起動後、各ドライブが初期化され、再セットアップが始まります。

5 **「2枚目のディスクを入れてください。」というメッセージが表示されたら、付属の「システム リカバリ CD-ROM Vol.2 of 2」をドライブに入れ、いずれかのキーを押す。**

再セットアップの続きが始まります。

6 **「システム リカバリ CD-ROM」のセットアップが終わると、「再起動後に、BIOSの設定値を初期化してもよろしいですか(Yes/No)?」とメッセージが表示されるので、Yキーを押してから、Enterキーを押す。**

7 **画面の指示に従って、「システム リカバリ CD-ROM」を取り出してから何かキーを押し、本機を再起動する。**

8 **「新しいハードウェアの設定を完了するには、コンピュータを再起動してください。今すぐ再起動しますか?」というメッセージが表示されたら、そのまま長時間放置せずに[はい]をクリックして本機を再起動する。**

9 **「Windows Meを準備する」(35ページ)の手順1～8に従って、Windows Meのセットアップを行う。**

10 **Windowsのセットアップが終了したら、付属の「アプリケーションリカバリ CD-ROM」をドライブに入れる。**

自動的にアプリケーションソフトウェアのセットアップが始まります。アプリケーションソフトウェアのセットアップが終わるとメッセージが表示されるので、[OK]をクリックして本機を再起動してください。

11 **「VAIO 初期設定マネージャ」が表示されたら、[OK]をクリックする。**

システムの初期設定が始まります。

設定が終わると「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。今すぐ再起動しますか?」というメッセージが表示されるので、[はい]をクリックして本機を再起動してください。

ご注意

- 手順11で[キャンセル]をクリックしてシステムの初期設定を行わない場合は、VAIOの独自のジョグダイヤル機能や、電源管理ツール、便利なポインティング・デバイスのスクロール機能、Fnキーと組み合わせたキーボードショートカット機能など、ハードウェア機能の一部が使用できなくなります。
- 別売りのCD-ROMドライブ PCGA-CD5を使って本機を再セットアップする場合、再セットアップ作業が途中で中断されることがあります。この場合は、CD-ROMドライブの電源をいったん切り、再度電源を入れ直すと作業が再開されます

電話回線のコンセントの種類

電話回線のコンセントは以下の4種類があります。ご自宅、外出先のコンセントに合った方法で接続してください。

コンセントの型	接続に必要なソニーの別売りアクセサリ
モジュラ型	不要（そのままつなぐことができます）
3ピンジャック型	テレホンモジュラーアダプターTL-30
直付け型ローゼット[1)	モジュラーローゼットTL-32CRなど
埋め込み型[2)	テレホンモジュラージャックコンセントTL-31

[1) 直付けタイプからモジュラジャックへの交換工事が必要です。NTT（局番なしの116番）へご依頼ください。

[2) 電話工事担任者による取り付け工事が必要です。NTT（局番なしの116番）へご依頼ください。

ご注意

ビジネスホン、ホームテレホンなどの電話機やドアホン付きの電話機をお使いのときは、工事が必要となる場合があります。電話機を取り付けた業者にご相談ください。

使用上のご注意

本機の取り扱いについて

- 本体に手やひじをつくなどして力を加えないでください。本機の液晶ディスプレイはガラスでできています。力を加えると、ガラスが割れてしまいます。
- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。記録したデータが消失したり、本機の故障の原因となります。
- 炎天下や窓をしめきった自動車内など、異常な高温になる場所には置かないでください。本機が変形し、故障の原因となることがあります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 内蔵カメラ（MOTION EYE）のレンズに触らないでください。
- 電源の入／切にかかわらず、内蔵カメラ（MOTION EYE）を太陽に向けないでください。内蔵カメラ（MOTION EYE）の故障の原因となります。
- カメラ部分を持って、本機を移動させないでください。本機の故障の原因となります。
- ディスプレイ部分を持って、本機を移動させないでください。本機の故障の原因となります。

結露について

結露とは本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときなどに、本機の表面や内部に水滴がつくことで、
そのままご使用になると故障の原因となります。
結露が起きたときは、電源を入れずに約1時間放置してください。

液晶ディスプレイについて

- 液晶ディスプレイの表面をぬれたもので拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- 液晶ディスプレイに物をのせたり、落としたりしないでください。
また、手やひじをついて体重をかけないでください。
- 本機を戸外など寒冷な場所から室内へ持ち込むと、液晶ディスプレイに結露が生じることがあります。結露が生じたら、水滴をよく拭き取ってからご使用ください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。液晶面が室温に暖まるまでお待ちください。
- 画面上に常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や滅点がある場合があります。液晶パネルは非常に精密な技術で作られておりますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。また、見る角度によってすじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。

ハードディスクの取り扱いについて

ハードディスクは、フロッピーディスクに比べて記憶密度が高く、データの書き込みや読み出しに要する時間も短いという特長があります。その一方、衝撃や振動、ほこりに弱い装置でもあります。また、フロッピーディスク同様に磁気を帯びた物に近い場所での使用は避けなければなりません。
ハードディスクには衝撃や振動、ほこりからデータを守るための安全機構が組み込まれていますが、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

- 衝撃を与えないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化（毎時10 °C以上の変化）のある場所では使用しないでください。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合、データの修復はできませんのでご注意ください。

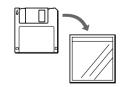
ハードディスクのバックアップをとる

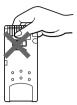
ハードディスクは非常に多くのデータを保存することができますが、その反面、ひとたび事故で故障すると多量のデータが失われ、取り返しのつかないことになります。万一のためにも、ハードディスクの内容は定期的にバックアップを取ることをおすすめします。ソフトウェアはオリジナルがCD-ROMやフロッピーディスクにありますので、バックアップが必要なのはデータなどです。ハードディスクのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、Windowsのヘルプをお読みください。
データの損失については、一切責任を負いかねます。

フロッピーディスクの取り扱いについて

フロッピーディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。フロッピーディスクに記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。フロッピーディスクの表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。

- フロッピーディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、フロッピーディスクはフロッピーディスクドライブから取り出して、必ずケースなどに入れて保管してください。

"メモリースティック"の取り扱いについて

- 端子部には手や金属で触れないでください。

- ラベル貼り付け部には専用ラベル以外は貼らないでください。
- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部からはみ出さないように貼ってください。
- 持ち運びや保管の際は、"メモリースティック"に付属の収納ケースに入れてください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所

ディスクの取り扱いについて

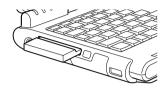
ディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 紙などを貼ったり、傷つけたりしないでください。

- 文字の書かれていない面（再生面）に触れないようにして持ちます。

- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房器具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- ディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、ディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。

PCカード使用時のご注意

PCカードスロットからはみ出すPCカード（ワイヤレスLANカードなど）を挿入してお使いの場合は、以下の点にご注意ください。

- PCカードを挿入した状態で、本機を移動しないでください。
移動時にPCカードに強い衝撃を与えると、本機が破損するおそれがあります。
- PCカード部分も持って本機を持ち上げるなど、PCカードに力を加えると、本機が破損するおそれがあります。

ACアダプタについて

- ACアダプタをつながない状態で本機の電源を入れたままバッテリを取りはずすと、作業中のデータが失われます。
- 本機には、付属のACアダプタをご使用ください。指定以外のACアダプタを使用すると、故障の原因になることがあります。
- ACアダプタを海外旅行者用の電子式変圧器などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- ケーブルが断線したアダプタは危険ですので、そのまま使用しないでください。

内蔵カメラ（MOTION EYE）について

- 内蔵カメラ（MOTION EYE）のレンズに触らないでください。
- レンズが汚れている場合は、やわらかい布などで汚れを拭き取ってください。汚れたままだと、取り込む画像が劣化します。
- 電源の入／切にかかわらず、内蔵カメラ（MOTION EYE）を太陽に向けないでください。カメラの故障の原因となります。
- 内蔵カメラ（MOTION EYE）は取りはずせません。
- 「URecSight」ソフトウェアは、内蔵カメラ（MOTION EYE）を使う他のソフトウェア（Smart Capture、CyberCode Finderなど）と同時に使用することはできません。「URecSight」を使うときは、内蔵カメラ（MOTION EYE）を使用する他のソフトウェアを終了してください。
- S400（i.LINK）コネクタにi.LINK対応機器をつなぎ、動画や静止画を取り込むときは、内蔵カメラ（MOTION EYE）から取り込むことはできません。
- 内蔵カメラ（MOTION EYE）を使わないときは、レンズキャップを取り付けてください。
- 内蔵カメラ（MOTION EYE）にコンバージョンレンズを取り付けないでください。取り付けた状態でカメラ部分に力が加わると、本機が破損するおそれがあります。

コンピュータウイルスについて

コンピュータウイルスとは、コンピュータの中のファイルやプログラムに悪影響を与えるプログラムのことです。ほとんどがいたずら半分で作成されたものですが、下記の「コンピュータウイルスに侵入されると…」に見られるような被害が起きてしまいます。コンピュータウイルスは他のプログラムと異なり、それ自体が増殖し、データのコピーなどを通じて他のコンピュータにも悪影響を及ぼしていきます。

コンピュータウイルスに侵入されると…

- 意味不明なメッセージや、ウイルスが侵入したことを知らせるメッセージが画面上に表示される。
- ファイルがかってに消去される。
- ハードディスク上の情報が意味のないものに書き換えられる。
- 画面上に意味のないものが表示される。
- ハードディスク上の空き容量が急に小さくなる。

コンピュータウイルスを侵入させないために

- 見知らぬ人から送られてきた、またはネットワーク経由で入手した文書やプログラムなどのデータは必ずウイルスチェックをする。

- 本機にはコンピュータウイルス検査・ウイルス除去用ソフトウェアとして、「VirusScan」ソフトウェアが用意されています。コンピュータウイルスから守るため、定期的なウイルスチェックをおすすめします。
  本機で「VirusScan」をはじめてお使いになるときは、「コンピュータウイルスについて」(272ページ)の手順に従ってインストール作業を行ってください。
- コンピュータウイルスはフロッピーディスクなどを介して広がることがありますので、他人のフロッピーディスクなどを使うときはご注意ください。フロッピーディスクなどのデータを共有する場合は、共有する人を限定してください。
- 新種のウイルスに対応するため、ウイルスに関するデータファイルは常に更新することをおすすめします。インターネット上で、下記のURLより最新のデータファイルを入手できます。
  http://www.nai.com/japan/
- ウイルスデータファイルの更新や「VirusScan」ソフトウェアの使いかたについて詳しくは、「VirusScan」のヘルプをご覧ください。

ウイルスが侵入して被害を受けてしまったときに備えて、日頃から作成した文書のバックアップをとる習慣をつけましょう。

ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。
また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは禁じられています。ソフトウェアの使用許諾書をよくお読みのうえ、お使いください。

ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的にWindows Me用、DOS/V用などを表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。
市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。また、本機に付属のOS以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。

お手入れ

- 本機についたゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- 液晶ディスプレイは、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れてきたと思ったら、こまめに拭くように心がけてください。

ご注意

- ぬれたもので液晶ディスプレイを拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- アルコールやシンナーなど揮発性のものは、表面の仕上げを傷めますので使わないでください。
  化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書きに従ってください。

ディスクのお手入れ

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読みとりエラーの原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。

- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

レンズのお手入れ

内蔵カメラ（MOTION EYE）のレンズ表面のほこりは、ブロワーブラシか、柔らかい刷毛でとります。汚れがひどいときは、市販のレンズクリーニングクロスなどで拭き取ってください。

その他

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より3か月間です。ユーザー登録していただいたお客様は1年間になります。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはVAIOカスタマーリンクへご連絡ください

VAIOカスタマーリンクについては、別冊の「VAIOサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
ただし、故障の原因が不当な分解や改造であると判明した場合は、保証期間内であっても、有償修理とさせていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社ではノートブックコンピュータの修理は引取修理を行っています。
当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りにうかがい、修理完了後にお届けします。詳しくは別冊の「VAIOサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

データのバックアップのお願い

修理に出すまえに、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様にてバックアップされますようお願いいたします。当社の修理により、ハードディスク内のプログラムおよびデータが万一消去あるいは変更された場合に関しても、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
なお、ハードディスクなどの記録媒体そのものの故障の場合には、プログラムおよびデータの修復はできません。

部品の保有期間について

当社ではノートブック コンピュータの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。
この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、VAIOカスタマーリンク修理窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- **型名：IDラベル（24ページ）または保証書に記載されています**
- **製造番号：本体底面または保証書に記載されています**
- **故障の状態：できるだけ詳しく**
- **購入年月日：**

部品の交換について

この製品は修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。
その際、交換した部品は回収させていただきます。

主な仕様

プロセッサ

Crusoe™ プロセッサ
TM5600 600 MHz

キャッシュ（プロセッサに内蔵）
1次：128 Kバイト
2次：512 Kバイト

メインメモリ

128 Mバイト（SDRAM）[1]
最大192 Mバイトまで拡張可能
[1] 16 Mバイトはシステムで使用

メモリバスクロック
100 MHz

メモリスロット

専用メモリスロット（1）

グラフィックアクセラレータ

デュアルディスプレイ対応
3D グラフィックスアクセラレーション対応
ATI Technologies社製 RAGE™ Mobility-M1 PCI接続

ビデオメモリ

8.0 Mバイト（ビデオチップ内蔵）

液晶ディスプレイ

6.4 型、XGA対応、TFTカラー液晶

液晶ディスプレイ表示モード

1024 × 768 ドット（約1,677万色[2]）
800 × 600 ドット（約1,677万色[2]）
640 × 480 ドット（約1,677万色[2]）
[2] グラフィックアクセラレータのディザリングにより実現

外部ディスプレイ表示モード[3]

1,600 × 1,200 ドット（約1,677万色）
1,280 × 1,024 ドット（約1,677万色）
1024 × 768 ドット（約1,677万色）
800 × 600 ドット（約1,677万色）
640 × 480 ドット（約1,677万色）
[3] 外部ディスプレイによっては、使えない表示モードがあります。

ハードディスクドライブ

約20.0 Gバイト[4]
[4] C：ドライブ　16.0 Gバイト
D：ドライブ　4.0 Gバイト
（工場出荷時）
（1 Gバイト=10億 バイトで算出）

外部接続端子

i.LINK（IEEE1394）**コネクタ**
S400 4ピン（1）　S400=400 Mbps

USB**コネクタ**
USB 4ピン（1）

マイク／ライン入力コネクタ
モノラル／ステレオ兼用ミニジャック（1）
プラグインパワー対応

ヘッドホン出力コネクタ
ステレオミニジャック（1）

モデムコネクタ
モジュラジャック（1）

AV OUT**コネクタ**
NTSC／PAL対応、ミニジャック（1）

外部モニタ
専用コネクタ

インジケータ

（パワー）ランプ
（バッテリ）ランプ
（ハードディスク）ランプ
（メモリースティック）ランプ
（Num Lock）ランプ
（Caps Lock）ランプ
（Scroll Lock）ランプ

PCカードスロット

Type I／II ×1、16 bit/Cardbus対応

メモリースティックスロット

メモリースティックスロット（1）

オーディオ機能

ハードウェアMIDI音源（XG/GM互換、YAMAHA YMF754）、内蔵ステレオスピーカー、内蔵ステレオマイク
ステレオマイク入力（プラグインパワー方式）
ステレオライン入力
メガベース（低音増幅機能）対応ヘッドホン出力

内蔵モデム

V.90およびk56flex対応
データ受信時最大　56 Kbps
データ送信時最大　33.6 Kbps
ファックス送信時最大　14.4 Kbps

入力デバイス

スクロール機能対応スティック式ポインティング・デバイス、ジョグダイヤル

内蔵カメラ（MOTION EYE）／ビデオキャプチャ

撮像素子

1/4 型68万画素CCD

レンズ

10倍（光学）、40倍（デジタル）
焦点距離 f=3.3〜33 mm
（35 mm カメラ換算では42〜420mm）
F=1.7〜2.2

ホワイトバランス

オート／屋内／屋外／ホールド

ビデオキャプチャ形式／サイズ

YUY2／RGB 24 ビット
80 × 60、160 × 120、320 × 240、640 × 480
モーション JPEG
320 × 240、640 × 480

表示フレーム数

最大30フレーム／秒（オーバーレイ表示）

キャプチャフレーム数

最大30フレーム／秒
（320 × 240 モーション JPEG）
最大15フレーム／秒
（640 × 480 モーション JPEG）

電源・その他

電源

ACアダプタまたはバッテリ

DC端子入力

DC16V 4A

バッテリ駆動時間

標準タイプ（PCGA-BP51A）　：約2〜5時間[5)]
大容量タイプ（PCGA-BP52A）：約4〜10時間[5)]
大容量タイプ（PCGA-BP54）　：約7〜17時間[5)]

5)：「スーパースタミナ」モードとオーディオドライバの省電力動作モード併用時、および内蔵カメラ（MOTION EYE）を使うソフトウェア未使用時。

外形寸法

約241 × 44.8 × 155.5 mm
（幅／高さ／奥行き）

質量

約1.1 kg（標準タイプバッテリ装着時）

ACアダプタ

電源

AC 100〜240 V、50/60 Hz
（付属電源コードはAC 100 V用）
その他の仕様については、ACアダプタのラベルをご覧ください。

バッテリ

出力電圧・容量

11.1 V、1,800 mAh

付属品

「付属品を確かめる」（15ページ）をご覧ください。

別売り品

ACアダプター
PCGA-AC16V1

リチャージャブルバッテリーパック
PCGA-BP51A（標準タイプ）
PCGA-BP52A、PCGA-BP54（大容量タイプ）

USBフロッピーディスクドライブ
PCGA-UFD5

CD-ROMドライブ
PCGA-CD51/A

CD-RWドライブ
PCGA-CDRW52

DVD-ROMドライブ
PCGA-DVD51/A

増設メモリーモジュール
PCGA-MM164（64 Mバイト）

USBマウス
PCGA-UMS1/A

バッテリーチャージャー
PCGA-BC5

ディスプレイアダプター
PCGA-DA1S

ジョグリモートコントローラー
PCGA-JR1

キャリングバック
PCGA-MBGT1

動作・保存環境

動作温度
5 ℃～35 ℃（温度勾配10 ℃／時以下）

動作湿度
20 %～80 %（結露のないこと）
ただし35 ℃における湿度は65 %以下
（湿球温度29 ℃以下）

保存温度
–20 ℃～60 ℃（温度勾配10 ℃／時以下）

保存湿度
10 %～90 %（結露のないこと）
ただし60 ℃における湿度は20 %以下（湿球温度35 ℃以下）

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

五十音順

ア行

カ行

サ行

次のページにつづく

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

その他

アルファベット順

S

U

V

W

Z

その他

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象商品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっております。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

お願い

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：

社団法人電池工業会　TEL:03-3434-0261
ホームページ:http://www.baj.or.jp

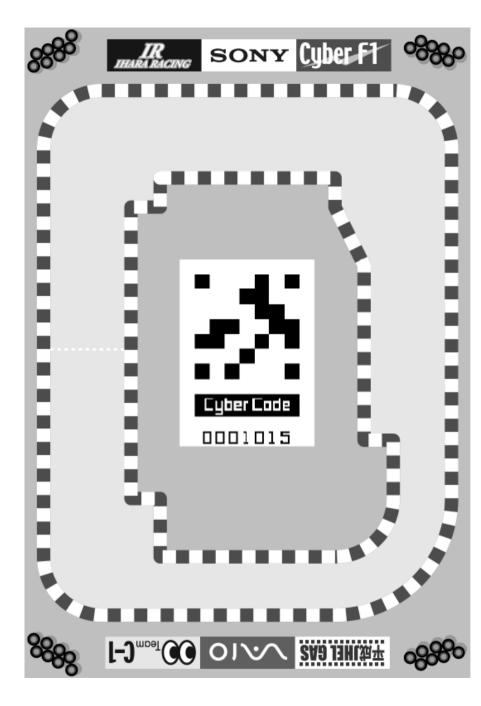
商標について

- VAIO はソニー株式会社の商標です。
- "MemoryStick"（"メモリースティック"）および 、OpenMG、OpenMG はソニー株式会社の商標です。
- 「CyberCode」、CyberCodeロゴおよびCyberCodeマークはソニー株式会社の商標です。
- So-net、ソネットおよびSo-netロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- 「CastaDrive」、およびCastaDriveロゴはソニー株式会社の商標です。
- 「PercasTV」、および はソニー株式会社の商標です。
- i.LINKは、IEEE1394-1995およびその拡張仕様を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ" "は商標です。
- Adobe® 、Adobe® PhotoDeluxe® および Adobe® Acrobat® はAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。
- Beatnik PlayerはBeatnik, Incの登録商標です。
- Transmeta, the Transmeta logo, Crusoe, the Crusoe logo, Code Morphing™ Software, LongRun™ Power Management and combinations thereof are trademarks of Transmeta Corporation in the USA and other countries. Other product names and brands used in this document are for identification purposes only, and are the property of their respective owners.
- QuickTime and the QuickTime logo are trademarks used under license. QuickTime is registered in the U.S. and other countries.
- 「RealPlayer」は、米国または諸各国において、米国RealNetworks, Inc.社の登録商標あるいは登録申請中の商標です。
- 2000 AMERICA ONLINE INC. All Rights Reserved.
- DIONは第二電電株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Media、Outlook、Bookshelfは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標および商標です。
- Netscape、Netscape NavigatorおよびNetscapeのNロゴは、米国およびその他の諸国のNetscape Communications Corporation社の登録商標です。Netscapeのロゴ、Netscape Communicatorおよびその他の製品名とサービス名は、Netscape Communications Corporation社の商標です。（一部の国では、登録商標となっています。）Netscape Navigatorの著作権は、Netscape Communications社に帰属します。
- ODNは日本テレコム株式会社の商標です。
- 「ぷらら」は株式会社ぷららネットワークスの商標です。
- PostPet、ポストペットおよびPostPetロゴはソニーコミュニケーションネットワーク株式会社の登録商標です。
- @niftyはニフティ株式会社の商標です。
- プロアトラスは株式会社アルプス社の商標です。
- ロボワードのロゴおよびロボワード、Robowordは、株式会社テクノクラフトの登録商標です。
- ハイパーダイヤは（株）日立情報システムズの登録商標です。
- PowerPanelは米国フェニックス テクノロジーズ社の商標です。

- VirusScanは日本ネットワークアソシエイツ株式会社の商標です。
- K56flexはConexant Systems, Inc.とLucent Technologies社の商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

ソフトウェアをお使いになる前に、必ずお買い上げのパソコンに添付のソフトウェア使用許諾契約書をご覧ください。

この説明書は再生紙を使用しています。

IR
IHARA RACING
SONY
Cyber F1
CyberCode
0001015

CyberCode**カード**

ご注意

- カードが斜めになったり、ぶれたりしないように、カードをしっかりと固定して持ち、まっすぐカメラに向けて映してください。
- 逆光や反射でCyberCodeがファインダに正しく映らない場合は、起動しにくいことがあります。

CyberCode 3Dカード

この面をCyberCode Finderに映すと、キャラクターが飛び出してきて、あなたにメッセージをお話しします。カードの角度を変えると、キャラクターをいろいろな角度から見られます。

CyberCode 3Dカード

この面をCyberCode Finderに映すと、キャラクターが飛び出してきて、パフォーマンスをします。カードの角度を変えると、キャラクターをいろいろな角度から見られます。